

埼玉昆虫談話会

寄世蛾記 No. 89

特集：埼玉県嵐山町における甲虫相の研究（1998）
豊田 浩二



1998.Oct.31.

「寄せ蛾記」89号 表紙の説明

◆オオズハイイロハネカクシ

クサアリモドキの巣の前でしばらく待っていると、突然大きなハネカクシが現れた。「何故アリの巣の近くにこんなやつがいるんだ？」と思いながら数頭採って帰った。

じつはこれが埼玉県で最初に得られたオオズハイイロハネカクシであり、いまでも嵐山町鎌形の塩山麓にあるこの巣ではよく得られる。本来珍しい種のように、この巣では他にも好蟻性の甲虫類が多く見つかっている。

豊田 浩二

図 : 豊田 浩二

デザイン : 小堀 文彦

埼玉県嵐山町における甲虫相の研究

豊田浩二

1. はじめに

埼玉県嵐山町は県のほぼ中央、秩父山系に連なる比企丘陵地域に位置し、東西約5 km、南北約12 kmの縦に長い町である。町内には都幾川、市野川、滑川等の河川が流れ、溜め池も多く高温な場所である。また山側の西部地域を中心に雑木林やスギ、ヒノキ林が広がり、生物の生息域としては良好である。

甲虫類は生態系において、適応放散により最も多くのニッチを獲得した昆虫類であろう。多くの場合微弱な環境の変化に伴って生息する種類も多少異なり、環境の多様度が大きいほど種類数も多くなるものと考えられる。標高による植生の違いによっても当然の事ながら甲虫相の種類構成に違いが見られる。嵐山町のように山地と平野部の境目にあたる地域の甲虫相は、それぞれの環境が微妙に入り交じることから双方の種が混在するといった特徴を備えている。しかし各環境の占める体積がそれぞれの場所に比べて小さいため、各種類の個体数は少ない場合が多い。また山地や平野部のみならず、丘陵地にも見られる甲虫も存在する。水辺環境の有無も種類構成に大きく影響するが、嵐山町は前述の通り複数の河川と豊富な湧水からなる溜め池、湿地が存在するため、水辺にのみ見られる甲虫類も豊富である。こうしたことから嵐山町では極めて多様性に富んだ甲虫相が存在するものと思われる。

嵐山町の甲虫相を調査した過去の報告は、特定の種もしくは種群を対象とした断片的な報告がいくつか見られる。総合的な調査は町教育委員会による「博物誌」の動物相調査が現在も実施されており、1998年3月に発行された調査報告では豊田により1996年から翌'97年までの調査で得られた 52科219種の甲虫類が記録されている。

今回筆者が記録するものはこの調査以前に採集した甲虫類であり、内容としては筆者の卒業論文作成のために行った1994年から翌'95年の同町菅谷地区における調査データが主体となる。なお'96年中に行なった博物誌動物類予備調査で得られたものも一部含めさせていただいた。全科を対象としており膨大な記録のため、筆者自身も全容を把握しきれていないのが実状である。

2. 謝 辞

本調査研究をまとめるにあたり多くの方々には御指導、御協力を頂いた。以下に記して感謝申し上げる。東京農業大学昆虫学研究室の岡島秀治先生には本研究を始めるにあたり調査方法等について御指導いただいた。

新井志保（東京農業大学昆虫学研究室）・石川 忠（東京農大、以下同様に略称）・石蔵 拓（東京都北区）・内田正吉（埼玉県寄居町）・江村 薫（埼玉県久喜市）・小田 博（埼玉県富士見市）・黒須詩子（東京農大）・杉田正之（嵐山町）・関根浩史（嵐山町）・南部敏明（寄居町）・新津修平（東京都三鷹市）・野澤雅美（寄居町）・橋村正雄（足立区）・難倉正人（文京区）・松本浩一（東京農大）・松本慶一（東京農大）・吉崎真紀（東京農大）の各氏及び嵐山町博物誌の関係諸氏には調査及びまとめにあたっていろいろお世話になった。

奥島雄一（岡山県倉敷市立自然史博物館、ジョウカイボン）・小野田 繁（鹿児島県鹿児島市、アリヅカムシ）・苅部幸世（神奈川県小田原市、ハナノミ等）・苅部治紀（神奈川県立生命の星・地球博物館、カミキリムシ）・岸本年郎（東京農大、ハネカクシ、雑甲虫類）・佐藤陽路樹（世田谷区、ゴミムシ）・高桑正敏（神奈川県立生命の星・地球博物館、カミキリムシ）・直海俊一郎（千葉県立中央博物館、メダカハネカクシ）・野村周平（国立科学博物館、アリヅカムシ）・森田誠司（港区、ゴミムシ）・吉武 啓（東京農大、ゾウムシ）・渡辺泰明（東京農大、ハネカクシ）の各氏には専門分野の種類について同定していただき、学名等の指導を頂いた。

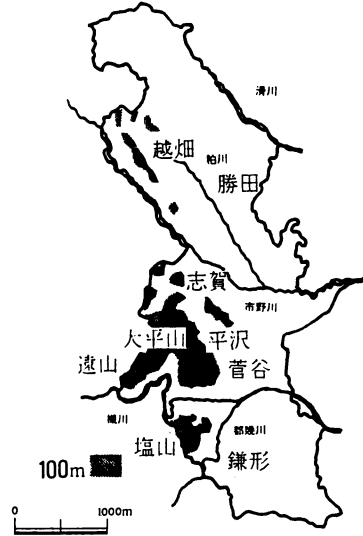


図1. 嵐山町の水系と標高100m以上の低山地の分布図

3. 調査方法

本研究で重視すべき点のひとつに調査方法にこだわった事が挙げられる。特別なものではなく、あくまでも手軽に実施できてしかも効果の大きい方法を探った。また特定の時期にのみ実施するのではなく、四季を通じての徹底した調査を心がけた。さらに各種の好む環境の把握を重視し、長期調査のため採集圧による個体数の減少にも気を配るようにした。以下に調査方法の概要を述べるが、各種類ごとの記録にも得られた状況を付記するのでここでは実際の方法についてのみ、その要点を紹介する

(1) 春から秋にかけての採集

甲虫類は外気温の高い春から秋にかけて活動する種が多く、また特定の時期にのみ出現する種類も多いことから様々な採集方法が考えられる。

1) 屋間の採集

a. 樹林での採集

嵐山町では落葉（コナラ、クヌギ等の雑木）、照葉（シイ、カシ等）、針葉（スギ、ヒノキ、マツ等）各種の森林やそれらの混生林が見られるが、採集の基本はどの樹林にもほぼ共通していると言えよう。ここでは主観的に大別した環境ごとに採集方法を述べる。

・葉、枝、花

手の届く範囲での採集はルッキングによる任意採集（素手、もしくは捕虫網を使用）の他に、捕虫網やビーティング・ネットを利用してこれらの場所に隠れている虫を採集する（ビーティング、スィーピング）。手の届かない範囲での採集は7m程の長竿網を利用しスィーピング、網を下からかぶせてたたき、振るなどして採集する。林縁では虫も多く採集しやすい。また日当りの善し悪しによっても虫の種類や数が変わるようである。

・幹

ルッキングによる採集の他、樹皮はがしや樹液の出ている部分での採集があるが、手の届かない箇所は長竿を利用したり木登りで採集を行う。

・地面、下草

落葉をかき分けたり地面を掘る、また下草のスィーピングなどを行う。リター（落葉落枝層）採集については別に分けて説明した。また林内に限らず道脇の側溝は虫の格好のすみかになっている場合が多いので落葉などをどけて採集する。

・倒木、薪

これらの場所ではカミキリ、タマムシ等の甲虫が産卵のために集まる。また他の小動物を捕食しに集まるものもある。待ち伏せてネットで採ったりルッキングにより採集するが、下にビーティングネットを置くと落ちても見逃しにくい。

・キノコ、菌類

屋間では余り多くの虫は見られないが、梅雨や秋期にはその限りではない。また壊して中を見ると潜んでいることが多い。腐敗したものには、また別の種類がみられる。

b. 草地、湿地での採集

これらの場所では樹林とは違った種類がみられる。特にアシ（ヨシ）原のような湿地は葉の隙間や地表部に多くの虫が見られる。

・草本、花

草原での採集は広い面積での採集が容易なスィーピングがよく行われるが、ネットに入る虫は極一部で落ちてしまうものが多いので、ルッキングも並行して行うことが必要である。またコガネムシ類等にはある時期にのみ飛び回るような種もいるので注意する。

・地面

根ぎわをかき分けて落葉や石をめくると多くの昆虫類がみられる。また地面を掘ってみるのも一つの手段である。グランドの様な草のまばらな場所にはハンミョウ類が見られることもある。

湿地とは、湿度の高い草地から水でひたひたの場所まで様々であるが、地面の状態（砂、泥等）によってみられる種類もことなる。したがってできるだけ多くの場所での採集が必要であろう。こういったときにはトラップ等が有効である（トラップの箇所参照）。

c. 河川、沼沢地での採集

水辺は甲虫類が非常に多い環境である。種類構成は周囲の植生に影響される部分が大きいので採集の際に注意を要する。

・池、沼

沼などの周辺には先に述べたような湿地があることが多く、水辺を好む種類も多い。こうした場所では水面や水中の落葉の中、倒木の周辺等で多くの水棲甲虫類がみられる。水網ですくい採るか、腐肉などのトラップで呼び寄せて採集する。

・河川、沢

河原は水の流れによっては水没することも多く、草が生えにくい場所もある。水際の石の下には特有の種類が見られ石おこしでの採集が主となる。水中には止水域とは別の水棲甲虫類もみられるので水網等を利用して採集する。

2) 夕方・夜間の採集

夕方になると昼間採集しにくい夜行性のものが活動をはじめ。キノコ、菌類等が集まる仲間は夜行性のものが多く、これらはライトで照らしながら採集する。昼間で示したようなそれぞれの場所には夜行性の種が活動している(林床、草地、湿地、河原等)。これらは各種トラップで採集することもできるが、ライトで照らしながらの採集ではトラップで採れにくい種類も採集することができる。薪なども昼間奥に隠れていたものがでてきていて採集しやすい。

a. ライトトラップ

街灯などの光に集まる甲虫は多く、ライトトラップは一箇所で多くの虫を採集できることから能率のよい採集方法であるが、細かな生息場所がわからないといった欠点もある。光の波長によって集まる種類が変わるようで、そのためライトの種類を幾つか用意する。本調査で使用するものは白色蛍光灯とブラックライト、水銀灯である。天気具合、気温や場所(林床、林縁、河川敷等)によっても飛来する種類が異なるので何ヶ所かで行うようにする。また周辺の街灯に飛来する虫についても同様に採集する。

光に集まる虫は時間帯によって飛来する種類がかわる傾向があり、なかには夕方のみには飛翔するようなものや、朝方に多く飛来する仲間もいるので一晩中見て回るのが理想であるが少々無理があるので2～3時間置きに見て回るようにする。

3) 腐食物等にも集まるものの採集

先にも述べたが甲虫の中には樹液やキノコ等にも集まるものがある。また動物の死骸や廃棄物、腐った植物質等にも多く集まる。これらは腐食の状態(時間の経過による変化)や周辺の環境によってあつまる種類も変わってくるようである。こういったものに野外で出会うのはそう年中あることではないが、トラップとして人為的に設置し採集することもできる。

a. ベイトトラップ

ベイトには様々な種類、方法があるが、手軽に設置でき効果も大きいということでピットホールトラップを主に用いた。誘因用の餌は市販の乳酸菌飲料にお酢もしくは寿司用の粉末酢を加えたもので、地面に埋め込んだカップにこれを少量注ぐ。またホ乳類等他の動物による被害を防ぐためトウガラシを加える。これを2、3日放置し、回収はカップをぬいて穴を埋めるだけで手間もかからず長期の調査には便利である。しかし採集したものの洗浄が大変なことなど欠点もある。カップの数については、環境調査では1ヶ所に10個が通例である。よって今回も定点ベイトでは10個を用いた。水中のベイトには豚肉等をタコ糸でしばり、上からつるして集める。

(2) 冬季採集

甲虫類の多くは冬季には休眠状態(越冬)に入るが、なかには冬季に採集しやすい、もしくは冬季にのみ採れるものもある。越冬場所としては土中や朽ち木の内部、樹皮の内側など様々であるが基本的には外敵から身を守れて体の乾燥を防げれば良いようである。

1) 土中に越冬する虫の採集

甲虫類の多くは土中に越冬し、オサムシ類に代表される崖堀り(オサ堀りとも言う)は種類も豊富で採集しやすいこともあり調査方法としては効率がよい。この崖とはいわゆる崖から斜面のようなところまで様々な状態を指す。こうした場所で植物の根が飛び出しているような箇所では、根の下に多くの虫が越冬している。また崖の日当たり具合によっても種類が違うようで、日当たりの良好な崖ではひびの入った部分を剥すと多くの虫が越冬している。河川敷の日当たりの悪い湿った崖にはヒメマイマイカブリ等の大型種もみられ、こういった崖を掘るには根堀りや手ぐわを使用する。

2) 朽ち木での採集

林内等に横たわる朽ち木には土中同様多くの虫が見られる。樹皮が残っている場合にはその内側に越冬していることも多い。一本の朽ち木にも硬い部分からやわらかい部分まで腐朽の状態は様々で、柔らかい場所には外部から越冬のために潜り込んだ種類が多く、また固い部分には朽木内で成長した種類等が見られる。はびこっている菌の種類によっても越冬する種類に好みがあるようである。地面に接している場所に多い種もいる。木の種類やまわりの環境によっても種類は変わることから、実際に採集してみないとわからないことも多いので、できるだけ多くの朽ち木を見るようにする。

3) 生木での採集

ケヤキなどの樹皮がめくり上がっているものやスギなどの針葉樹には樹皮下に多くの虫が越冬しており、越冬時の方が採集しやすいものもある。樹皮剥しでは虫が下に落ちることも多いのでビーティング・ネット等を下に当てがうとよい。また生きている木の樹皮を剥ぐわけであるので剥し過ぎには要注意。

4) その他の採集

冬季採集では前述の様なものが主となるが、他にも暖かい日に飛び回るものをネットで採集したり常緑樹の葉をスィーピングしたりすることで多くの種が採集できる。

(3) リター採集

樹林の林床など落葉がたまりやすい場所では厚い落葉落枝層(リター)がみられる。この中からは好土壌性の甲虫類が採集できる。地域ファウナを明らかにするため行われている同様の調査では、甲虫採集のための土壌調査は実施されていない場合が多いが、これらの種類を調べることは森林の一つの特徴づけにつながることや甲虫相全般を調査するといった目的から各樹林のリター調査が必要である。

方法としては落葉のたまりやすい所(林内の凹部、斜面の下等)の表面の落葉を取り去り、その下のリターを地面がかたくなっている所との間から採取し、ふるい(網目が10ミリメートルのものを使用、市販のキッチン用かごでも代用可)にかけて採集する。1ヶ所から乾燥重量にして約150グラムのリターをあつめ、ひとつの調査地点に5つ(合計750グラム)の割合で採取する。これをツルグレン装置にかけ、AGA固定液(70%アルコールでも可)の入ったビンの中に虫が落ちるようにする。

以上、活動期と越冬期の採集および年間を通じたリター採集について、実際に嵐山町の調査で実施した方法を述べた。他にもマレーズトラップやフェロモントラップ等による採集、カミキリ類で良く行われる侵入材を室内に持ち込んで羽化脱出させる方法など様々な調査方法が考えられるが、既に述べた方法のみでも十分な成果が得られよう。

4. 調査結果と考察

(1) 嵐山町で得られた甲虫類について 一種類数による他の地域との比較

今回報告できた嵐山町の甲虫類は78科925種である。この中で最も多かったのはオサムシ科の158種である(約17%)。これらは食肉性の種がほぼ全体を占め、食餌となる生物のいる所には大抵見られるが、どちらかという好湿性の種が多いようである。次に多かったのはハムシ科で次いでゾウムシ科、ハネカクシ科などの順となる。しかし実際には相当数の未同定ハネカクシが得られており、これらを含めるとハムシ科よりも上回るものと思われる。今回の記録に豊田(1998-A)で報告されている嵐山町産甲虫類の記録を含めると78科957種で、その他の記録や未発表のものも含めて約1,000~1,100種くらいであろう。今現在でも毎月のように未記録種が追加されており、筆者の見解では最低でも1,500種類くらいは記録されると思うので、調査の不十分な山沿いや北部地域を中心に今後も調査を進めて行く必要があろう。

同様の調査での種類数比較は、良く調査されているものとして荒川の下流域で関東の平野部に当たる東京都板橋区での1986年の昆虫類調査が71科653種の甲虫類を記録しているが、単純に比較してみても嵐山町の方が種数においてはるかに上回っている。これは既に都心部における甲虫類の生息環境が、宅地化等でかなり限定されてしまっていることも理由のひとつであるが、平地の甲虫相が丘陵地のそれよりも貧弱であることが大きな原因であろうと思われる。同地ではこの後調査報告が追加で出ているようだが今回は種数については確認できなかった。また同じ埼玉県内で大宮台地にあり比較的調査が進んでいる北本市では、1995年までにまとめられた甲虫類が74科626種であるが、大きな河川と周辺の谷津田、雑木林が豊富にあるにもかかわらず、やはり嵐山町の方が種数において上回るのは背後に控える山地の有無が大きく影響していると言えよう。県内の他の地域での甲虫相調査は不十分なものも多く、一般にはせいぜい400から500種類前後のものが多い。これらの地域は調査精度の違いから、甲虫相を比較することに多少の無理があるので今後の調査によりさらなる解明が求められる。県外の周辺地域での大きな規模の調査としては、1997年に神奈川県がまとめた丹沢大山地区の調査報告があるが、114科2,555種の甲虫類を記録し脅威的な内容となっている。これは山地帯の甲虫相がいかに多様に富むものかを伺い知れるが、緻密な調査により多大な記録を出された関係諸氏の努力が大きであろう。面積において大きな違いはあるが、嵐山町と比較すると2.6倍の種類が生息している事になる。

埼玉県内で記録された甲虫類は、埼玉県昆虫誌Ⅲに掲載されたものが107科2,736種である。その後も各調査報告や単報により数種が記録されているので2,750種程度であろうか。今回記録した嵐山町産甲虫類のうち、県内でこれまで記録されていない甲虫類は27科54種(埼玉県昆虫誌未記録種は62種)である(ただし、クロボシヒラタシデムシは目撃例があるが、標本が得られたのが初めてという事で初記録種に含めた)。したがって、現在までに記録された埼玉県産甲虫類はだいたい2,800種ぐらいとい

うことになるが、本文が印刷されるまでにはさらに大幅な追加記録があるかもしれない。どちらにせよ、埼玉県既知甲虫相が 3,000種の大台に乗る日は近いであろう。

嵐山町周辺地域の調査は、種類も豊富で魅力的な山と宅地化の波により危機的状況にある平地の間にあったことから、いわば完全に「見落とされた」状態となり1970年代の埼玉県動物誌の調査等でもほとんど調査されなかった。このことが今回の調査で、丘陵地がいかに多様性に富む場所であるかを浮き立たせる結果につながったことは間違いない。また、丘陵地に特有の種類が意外に多いのではないかとすることも想像できる。以上、大まかではあるが種類数による比較が示す嵐山町の甲虫相の多様度がお解りいただけたかと思う。

(2) リター調査と甲虫類

土壌性甲虫、もしくは土壌中より得られる甲虫類はツルグレン装置といった特殊な器具を用いた調査方法により得られる。調査方法の項でも述べたが、一般の調査では実施されにくいものでもある。今回実施したリター調査の期間は1994年4月から1995年3月までの1年間で、コナラ、クヌギ等の落葉広葉樹を中心にした雑木林とアラカシが中心の照葉樹林のそれぞれに1ヶ所づつ、定点調査ポイントを設けて行った。各地点より採取されたリターはその日のうちにツルグレン装置にかけられ、まる2日間の抽出で得られたものを種類、場所(環境)、時期によって整理し特徴について見ていった。

今回のリター採集で得られた甲虫類はハネカクシ科やヒラタムシ上科の種を中心に 105種類もの種数が得られた。このうちリターのみで採集されたのは68種類で、今回記録された甲虫類全体の約7%を占める。この数値を見る限りではかなりの種数が落葉下に生息することになる。こうした落葉下の生物相を調べることがいかに大事であり、全体的な環境を把握する上で欠かせないかが理解いただけたであろう。しかし、この方法には大きな欠点もある。すなわち、定点で多量のリターを定期的に採取して行くことによる乾燥化、生息環境の破壊である。たとえ抽出後の落ち葉を基に戻したとしても、自然状態で長い時間をかけて積み重なり分解された落葉落枝層は復元するまでにそれなりの時間が必要なのである。実際、定点ポイントを広範囲に設定したおかげで年間を通しての採取は出来たものの、次の年には乾燥化が進み生物が減少している様子が見られた。現在は、筆者が落ち葉を掃き集めたり朽ち木を運び込んだりしたかいもあってか一応もとの林床に戻りつつある。こんな苦勞をしなければならぬ程採集する必要は決して無く、ただ生物相把握の手段として様々な場所のリター採集を行うことが必要であろう。

リター採集で得られた種類のうち、発生状況に特徴が良く現れているものはいくつかあるが、ここでは落葉、照葉のそれぞれで発生時期が同じであるクロズホナシゴミムシ、落葉樹林のみから得られるムクゲキノコムシ科の一種(注：未同定種であり目録には掲載していない)、どちらかというと落葉に多いが、個体数の多い時期には照葉にも見られるマメダルマコガネ、照葉樹林でのみ得られるクチカクシゾウムシ亜科の一種の4種類をグラフにした(図5)。これらはある程度個体数が得られ季節消長が読みとれるものである。しかし、こうしたデータが得られる種類は極一部であるので、やはり種類確認のために実施するのが好ましいであろう。

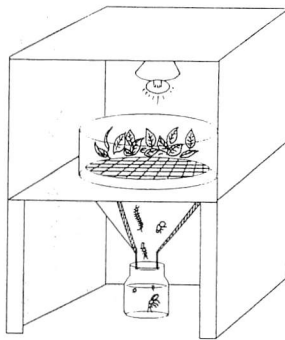


図2. リター採集に用いるフルイとツルグレン装置(注：フルイは種類が多く、目的に応じて使用)

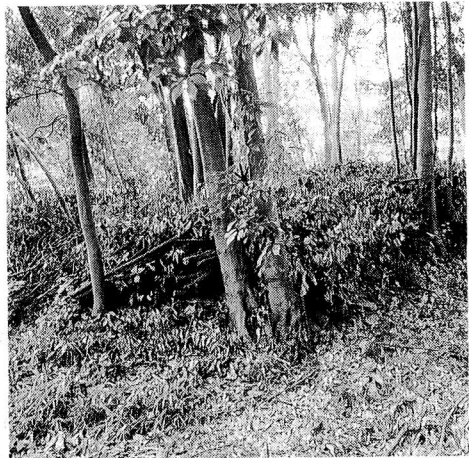
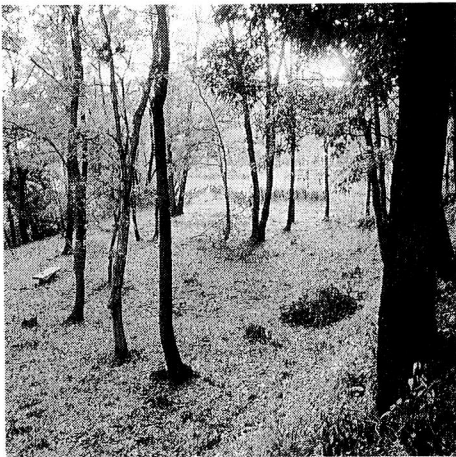


図3. 菅谷館跡周辺のリター調査地点
(落葉: 落葉広葉樹を中心とした雑木林. 照葉: アラカシなどの照葉樹で構成される林)

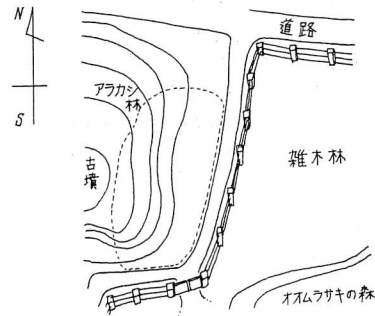
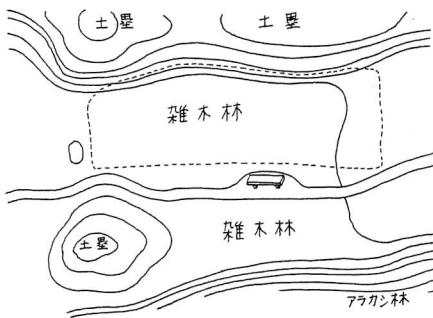


図4. 各調査地点の周辺図(左: 落葉樹林, 右: 照葉樹林)

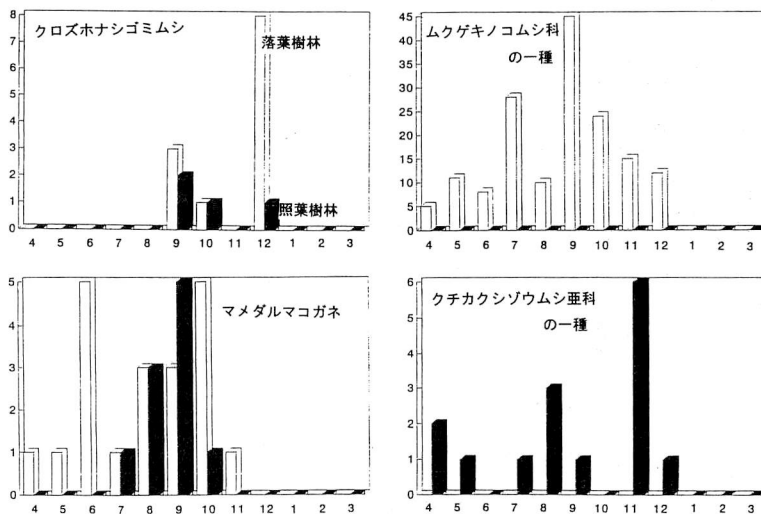


図5. リター採集で得られた甲虫類 (クロズホナシゴミムシ・ムクゲキノコムシ科の一種・マメダルマコガネ・クチカクシゾウムシ亜科の一種)の例. 縦軸は個体数, 横軸は1994年4月から翌1995年3月までの各月である. 棒グラフの白は落葉樹林, 黒は照葉樹林で得られた個体数をそれぞれ示す.

(3) 甲虫相の種類構成からみた嵐山町の自然環境の特徴

今回の調査で得られた甲虫類はその多くがいわゆる「低地性の種」である。これらの中には平地で個体数が多く見られるものの、決して山地に存在しないわけではない種も含まれるので一概に「平地性」とは言い切れない部分がある。山地性の種と平地性の種の割合を出してその地域の特性を判断するのは悪くはないが、判断の基準も主観に頼らざるを得ないような状況で安易に環境判断を下すのはどうかと思う。ここでは嵐山町で得られた甲虫類の中から地域特性が容易に読みとれるような種について、その生息環境とともに述べることにする。甲虫相の全体的な内容については触れられないが部分的な特性についてはある程度解明できるであろう。

まず最初に筆者が気がついたのは、アオオサムシとエサキオサムシの生息場所がある程度分かれているということである。雑木林や河川敷の草地にはアオオサムシが普通に見られる。また、外秩父山地の末端にあたる大平山・塩山地域ではエサキオサムシがかなりの個体数見ることが出来る。エサキオサムシの採集地点を地図に落としてみると、いわゆる八王子―高崎構造線が走る地点より完全に山地側（西側）でのみ得られている。本種の分布については埼玉県昆虫誌Ⅲの吉越(1998)でも述べられているが、土地開発等により分布境界が不明瞭になっているなかで嵐山町のこうした状況は今後重要となるに違いない。また、アオオサムシはエサキオサムシとは同所的に得られることはほとんど無く、例えば遠山地区では平坦な田んぼのある場所ではアオオサムシが、山よりの林ではエサキオサムシが見られる。

大平山・塩山地域では山地に多く見られる種類が幾つか得られている。オオヒラタエンムシ、ヒメツチハンミョウ、ドロハマキチョッキリなどがこれにあたると思われ、個体数は決して多くないが嵐山町の甲虫相をみる上でこれらの存在は重要である。また、町南東部にあたる根岸・将軍沢地域（岩殿丘陵の一部）でもやはりこうした種が得られているが、これは当地の植生に同様の種が存在する事と合わせて重要である。植物ではイチリンソウ、カタクリ、カンアオイ、イワタバコ等の種が見られ、平野部に隣接する場所としては異色の様相を呈している。甲虫類ではトゲマゴソコガネ、ズグロキハムシ、アカクビナガオトシブミなどが得られている。特に前2種は普通はブナ帯でお目にかかる種類であり存在自体が脅威的である。氷期の冷涼化に伴い分布を拡大した種類群の名残を見ることが出来ると言うことで、岩殿丘陵の生物相を特徴づけるものであろう。

河川においては既に改修で失われた部分が多いが、それでもなお嵐山町の甲虫相をみる上では最も面白い場所であろう。都幾川と槻川が合流する二瀬あたりでは、現在は芝生になってしまったが、この調査を実施している時にはまだ丘陵地特有のススキ、アシを中心としたすばらしい河川敷が広がっていた。特に鎌形から菅谷にかけてはヒメマイマイカブリ、コガシラアオゴミムシ、アオヘリホソゴミムシ等の歩行虫類が豊富にみられた他、チョウセンゴモクムシ、クビナガヨツボシゴミムシ、ヒメヒラタシデムシ、オニヒラタシデムシ、アラメホソツツタムシ等の希少種とされるものが少なからず得られた。ちょうど栃木県の渡良瀬川流域で得られる種類と似通った部分があり貴重な場所であった事は間違いない。残念である。しかし、都幾川流域では下流の東松山市にまだすばらしい環境が残っているようで、現在筆者とその仲間が調査中である。

嵐山町は大平山と塩山の間を流れる槻川流域に「武蔵嵐山（むさしらんざん）」といわれる溪谷が存在し、景勝地として有名である。この嵐山溪谷は甲虫相も大変面白く、微小種を中心に興味深いものが得られている。オオマルクビゴミムシは岩畳の水際にわずかにみられる石の下に生息し、町内ではこの流域でのみ見られる種である。クロヒゲアオゴミムシも岩畳の落ち葉中に見られ、やはり町内ではここでのみ見られる。また水面に接する岩の表面には県内では嵐山で初めて得られたマスタチビヒラタドロムシ、ツヤチビホソアリモドキや清流に見られるチビヒゲナガハナノミが生息し、ダルマガミシの大型種（未同定）も得られている。低標高地で渓流性の種が存在する県内では数少ない場所として重要である。

流水性の水棲甲虫類ではモンキマメゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウといった清流を好む種が都幾川・槻川で豊富に見られ、めずらしいオナガミズスマシも得られている。また、田んぼではシマゲンゴロウも得られる。筆者が小学生の頃(1980年代)まではゲンゴロウも生息していたが、いまでもどこかにいるのであろうか。

環境の指標として良く用いられるシデムシ類は11種類が記録されているが、このなかで山地性のクロボシヒラタシデムシが県内では初めて得られた。ほかにもクロシデムシ、マエモンシデムシ、ベッコウヒラタシデムシ等が菅谷地区では多く見られ、他にもヒメコブスジコガネやチビシデムシ類4種が記録されるなど、餌となる大型哺乳類、鳥類が豊富である事が伺える。広葉樹林の落葉層ではすでに述べたが、未同定種も含めて10種ものアリヅカムシが記録出来た。この中には本邦初記録の種が2種類も含まれており貴重である。これ以外にも多くの県内初記録甲虫類が得られており、嵐山町に豊富な森林環境が存在する証明となろう。遠山地区には分布北限とされるスダジイの原生林が残されており現在調査中であることから、これからも多くの貴重な種が落葉層より得られるものと思われる。

こうした種以外に、明らかに未記載種と思われるものがいくつか得られており、日本の甲虫相そのものを解明する上で嵐山町周辺の丘陵地が重要な地域であることが確認できた。

(4) 今後の調査で実施してゆきたいこと

今回の調査は極簡単に出来る方法を中心に実施したが、今後はマレーゼトラップやフェロモントラップ、誘因物と設置場所の組み合わせでどんな種でも捕獲できるというパーフェクトトラップなど様々なトラップ類を活用するつもりである。また周辺地域で得られていて生息の可能性が大きい種や特殊な採集法により得られるため未調査であったものなども集中して調べて行きたい、現在集中的に実施している好蟻性甲虫の調査ではすでに多大な成果が挙がっているので今後も広く進めて行きたいもののひとつである。ハチ類に寄生するツチハンミョウ類やオオハナノミ類も採集の難しいものであろう。また山地よりの岩盤が露出している場所での地中性甲虫類の採集やコケ類の中に潜むもの、湧水付近にのみ見られるもの、穀物害虫や家畜に依存する種、猛禽類の巣にみられるものやモグラの坑道内にある溜め糞にあつまるものなど調べなければならないものは山積み状態である。

調査範囲としては北部地域の調査が希薄であることから、より精力的に実施しなければならないところである。また山地ではかなりの種類数が期待できるにも関わらずあまり成果が挙がっていない。細かい環境の認識と共にさらなる調査が必要である。

(5) 嵐山町産甲虫類の目録について

最後に、今回の長期間に渡る調査で得られた記録を目録とする。目録作成にあたっては以下に示す凡例に従った。

【目録内容】

- ・本目録は埼玉県比企郡嵐山町において、1990年より1996年の途中までの約6年間に実施された調査により得られた甲虫類の目録である。なお、1980年代の記録についても一部含まれていることを付記しておく。
- ・記録は筆者（豊田）が調査したものが主である。ほかに筆者以外が嵐山町内で採集した未発表の標本についてもいくつか含まれている。

【凡例】

- ・記録は種類ごとにおこない、種類は各分類群ごとに列記した。最初に科名を示し、亜科の取り扱いをされている分類群については亜科名も示した。
- ・各種類は学名（属名、種名、記載者名）、和名（カタカナ）の順で種名を挙げた。
- ・記録は採集地名（嵐山町内の大字名、もしくは山河の名称）、頭数（雌雄の判別をしたものについては♂♀の記号を使用、他は頭を使用）、採集年月日（日、月、年の順）の順番で示し、同所で得られたものについては場所ごとに記録をまとめてある。
- ・データのあとに各種類の特徴、得られた状況などその種に関する情報を盛り込むよう心がけた。これによりある程度嵐山町の甲虫相を把握できるものと思われる。
- ・各種の学名は基本的には日本産昆虫総目録(1989)に従い、できるだけ最新の分類体系を取り入れるようにした。科によっては古い分類体系、もしくは学名を使用している場合もあるが ご了承願いたい。
- ・埼玉県初記録（埼玉県でこれまでに記録がないと思われる種）については、データの頭に「※」印を付した。
- ・アリヅカムシ科とその他一部の種については筆者の都合により未同定種も記録してある。その他の未同定種については今回は省いてある。

(6) 嵐山町の甲虫類目録

Cupedidae ナガヒラタムシ科

1. *Tenomerga mucida* (CHEVROLAT) ナガヒラタムシ

菅谷: 1頭, 15. VI. 1995.

県内の記録は山地に多いようである。菅谷では多孔菌の密生したコナラの切り株に飛来したところを採集した。町内では他に志賀地区でも得られている。

Cicindelidae ハンミョウ科

1. *Cicindela elisae elisae* MOTSCHULSKY エリザハンミョウ

菅谷: 1♂, 31. VII. '92; 7♂♂4♀♀, 6. VI. '94. 他

6月下旬から7月にかけて、都幾川河川敷にあった二瀬グラウンドの隅などで見られたが、ホタルの里造成に伴いグラウンドの大半が埋め立てられ、以後姿を見ない。

2. *C. kalea yedoensis* KANO トウキョウヒメハンミョウ

菅谷: 1♂, 2. VII. '87 (M. Sugita leg.); 1♀, 28. VII. '95. 杉山: 1♀, 25. VII. '96.

塩山: 1♀, 2. VIII. '96.

人家の庭先や雑木林の周辺に多い。平沢地区でも雑木林の林縁部で目撃している。

3. *C. specularis* CHAEVROLAT コハンミョウ

菅谷: 1♂1♀, 27. VI. '93; 1♂, 10. VIII. '95. 他

田んぼの周りやグランドの隅, 人家の庭先に多い。

なお, このほかに *C. japona* ニワハンミョウ を鎌形地区千騎沢橋付近のススキ原で目撃 (31. III. '96) しており, *C. japonica* ハンミョウも昭和中期頃まで生息していたという。今後の調査あるいは採集されるかも知れない。

Carabidae オサムシ科

Carabinae オサムシ亜科

1. *Calosoma maximowiczii* (MORAWITZ) クロカタビロオサムシ

菅谷: 1♀, 27. VI. '91; 1♀, 24. VII. '95.

広葉樹の葉上やクヌギなどの樹液周辺に見られ, 蛾の幼虫等を捕食する。県内の記録はあまり多くない。菅谷の個体はいずれも夜間, 樹液に飛来したものである。

2. *Campalita chinense* (KIRBY) エゾカタビロオサムシ

菅谷: 1♂1♀, 5. VII. '94; 1♂, 13. X. '94. 杉山: 1♂, 25. VII. '96.

一年中見られるが, 特に初夏の頃に多い。荒地地に見られ, 夜間のライトに集る。

3. *Carabus albrechti esakianus* (NAKANE) エサキオサムシ

鎌形: 1♀, 6. V. '95. 塩山: 8♀♀, 27. V. '96. 大平山: 1♂1♀, 29. IV. '95.

遠山: 1♂, 13. VII. '96; 2頭, 27. Oct. '96 (死骸, K. Machida leg.). 他

平地にはほとんど見られず, 山地に広く分布する。大平山や塩山には非常に多い。通常の体色は赤銅色だが, 青みがかった金緑色の個体も稀に見られる。

4. *C. insulicola insulicola* CHAUDOIR アオオサムシ

菅谷: 4♂♂1♀, 9. VI. '87 (M. Sugita leg.); 1♂, 19. XI. '94. 他 大蔵: 1♂, 17. I. '94.

根岸: 1♀, 26. I. '96. 遠山: 4頭, 27. X. '96 (死骸, K. Machida leg.).

前種とは対照的で平地に多く, 雑木林の林床などに見られる。冬季採集では道脇の崖のような場所 (特に根っこがむき出しの様な箇所) から多く見出される。

5. *Leptcarabus procelus procelus* (CHAUDOIR) クロナガオサムシ

菅谷: 1♀, 9. VI. '87 (M. Sugita leg.); 1♀, 17. XI. '94. 他

様々な林の林床に見られ, ペイトトラップで得られる他, 松の朽ち木中によく越冬している個体が見受けられる。

6. *Damaster blaptoides oxuroides* (SCHAUM) ヒメマイマイカブリ

菅谷: 1♂, 1. II. '93; 1♂1♀, 19. XI. '94. 他 鎌形: 3♂♂, 30. XII. '93.

千手堂: 1頭, 2. VI. '95 (幼虫). 遠山: 2頭, 27. X. '96 (死骸, K. Machida leg.).

河川敷の草地や雑木林の周りで見られる。

Nebriinae マルクビゴミムシ亜科

1. *Nebria lewisi* BATES カワチマルクビゴミムシ

菅谷: 3♀♀, 2. XI. '93; 1♀, 24. XII. '94. 他 鎌形: 2♀♀, 27. X. '95.

遠山: 1♂3♀♀, 13. X. '95.

河原に見られ, 水際の大きめの石の下に多い。

2. *N. macrogona* BATES オオマルクビゴミムシ

千手堂: 1♂1♀, 11. XI. '95. 遠山: 5♂♂2♀♀, 13. X. '95.

町内では, 槻川の嵐山溪谷より上流の水際の石の下に見られ, あまり多くない。

Scaritinae ヒョウタンゴミムシ亜科

1. *Clivina niponensis* BATES ヒメヒョウタンゴミムシ

菅谷: 10頭, 18. VIII. '94; 1頭, 11. IX. '94.

池の周りの枯れ木の下などに見られる。

2. *C. castanea* WESTWOOD ツヤヒメヒョウタンゴミムシ

菅谷: 1頭, 2. V. '95.

3. *Dyschirius ordinatus* BATES チビヒョウタンゴミムシ

菅谷: 1頭, 15. VII. '94; 1頭, 1. VIII. '95.

4. *Scarites terriicola pacificus* BATES ナガヒョウタンゴミムシ

菅谷: 1♀, 14. VII. '94.

荒れた草地や芝生の地中にトンネルを掘って生活する。

Trechinae チビゴミムシ亜科

1. *Perileptus japonicus* BATES ホソチビゴミムシ
菅谷: 1頭, 1. II. '93; 1頭, 18. VIII. '94. 他 鎌形: 1頭, 12. IX. '95.
遠山: 1頭, 25. IV. '96.

河川等の水際に見られる普通種。

2. *Lasiotrechus discus* (FABRICIUS) フタホシチビゴミムシ
菅谷: 1♂, 13. IX. '94.

池の水際で得られた。県内では平野部の河川敷で、土がむき出しになっているような箇所に見られる。

3. *Trechus ephippiatus* BATES ヒラタキイロチビゴミムシ
菅谷: 1頭, 30. V. '94(照葉リター); 2頭, 16. VI. '94(落葉ベイト)。他
広葉樹林の林床等に見られる。

Bembidiinae ミズギワゴミムシ亜科

1. *Asaphidion semilucidum* (MOTSCHULSKY) メダカチビカワゴミムシ
菅谷: 19頭, 4. XI. '92; 2頭, 16. VII. '94. 塩山: 1頭, 5. VI. '96. 他
2. *Bembidion chloreum* BATES アオミズギワゴミムシ
菅谷: 2頭, 29. V. '93; 6頭, 18. II. '94. 他 鎌形: 2頭, 27. X. '95.

河原の石の下に多く見られる普通種。

3. *B. lissonotum* BATES オオアオミズギワゴミムシ
菅谷: 1♀, 6. V. '95.
4. *B. niloticum batesi* PUTZEYS アトモンミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 18. XI. '94; 1頭, 30. VI. '95. 鎌形: 2頭, 27. X. '95.
5. *B. cnemidotum* BATES ウスモンミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 29. V. '93; 1♂2♀, 11. XI. '95. 他
6. *B. lucillum* BATES ハコネミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 19. V. '94. 鎌形: 1頭, 12. IX. '95.
7. *B. hiogoense* BATES ヒョウゴミズギワゴミムシ
菅谷: 2頭, 19. V. '94; 3頭, 15. III. '95.
8. *B. morawitzi* CSIKI ヨツボシミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 1頭, 8. VIII. '94. 他 平沢: 4頭, 1. VI. '95.
鎌形: 1頭, 27. X. '95.

河原等に普通に見られる種。水際の石の下に多い。

9. *B. oxyglymma* BATES クロミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 19. V. '94.
10. *B. semilunium* (NETOLITZKY) フタモンミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 23. X. '93; 1♂1♀, 19. V. '94. 他 塩山: 1♂, 23. V. '96.

本種は近年森田誠司氏によって分類学的整理がなされた。*B. yanoi* ニセツマキミズギワゴミムシは本種の同物異名(シノニム)とされ、この学名は現在使用されていない。また、以前ツマキミズギワゴミムシの和名で整理されていたものから、平地の大きな河川に生息する種が*B. bandotaro* MORITA オオフタモンミズギワゴミムシとして記載された。フタモンはこの種とは触角及び腿節基部の色彩が暗色ということで容易に区別できる。

11. *Paratachys sericans* (BATES) ウスオビコミズギワゴミムシ
将軍沢: 1頭, 16. X. '96.
12. *Tachyura fuscicauda* (BATES) ウスモンコミズギワゴミムシ
菅谷: 2頭, 30. V. '94(落葉リター); 1頭, 15. VII. '94(落葉リター)。他
鎌形: 1頭, 27. X. '95.

雑木林の林床等に普通に見られる。ツルグレン装置による落葉採集で得られる。

13. *T. laetifica* (BATES) ヨツモンコミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 3. IV. '93; 1頭, 11. IX. '94. 他
14. *T. fumicata* (MOTSCHULSKY) クリイロコミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 19. V. '94; 1頭, 16. IV. '95. 鎌形: 1頭, 5. IV. '96.
15. *T. exarata* (BATES) ヒラタコミズギワゴミムシ
菅谷: 1頭, 25. VI. '94; 6頭, 18. VIII. '94.

Patrobinae ヌレチゴミムシ亜科

1. *Diplous caligatus* BATES カワチゴミムシ
菅谷: 1♂, 4. IX. '92; 1♂1♀, 9. V. '95. 他 鎌形: 1♂, 27. X. '95.
遠山: 1♂3♀ (内1♀は黒色型 f. *atratus*), 13. X. '95.
河原の石の下, 草地などに見られる.
2. *Patrobus flavipes* MOTSCHULSKY キアシヌレチゴミムシ
菅谷: 1♀, 19. V. '91; 1♀, 2. IX. '93. 他
河原の水際に見られ, 冬季の崖掘りで普通に得られる.

Pterostichinae ナガゴミムシ亜科

1. *Lesticus magnus* (MOTSCHULSKY) オオゴミムシ
菅谷: 1♂, 28. VIII. '93; 1♂1♀, 15. XI. '93. 他 平沢: 1♂, 12. VIII. '95.
雑木林の周りや草地に多い. 菅谷館跡では, 夜間, 歩道上に多く見られる.
2. *Pterostichus haptodeides japonensis* LUTSHNIK トックリナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 4. XI. '92; 2♂♂, 7. VII. '95. 他 根岸: 2♂♂1♀, 26. I. '96.
3. *P. microcephalus* (MOTSCHULSKY) コガシラナガゴミムシ
菅谷: 10頭, 4. XI. '92; 1♂2♀♀, 7. VII. '95. 他 根岸: 1♂, 23. IV. '96.
4. *P. planicollis* (MOTSCHULSKY) キンナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 26. IX. '92; 1♂, 7. VII. '95. 他 杉山: 1♂, 25. VII. '96.
5. *P. samurai* (LUTSHNIK) オオキンナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 24. VIII. '95.
都幾川二瀬橋付近の河川敷にわずかに残るアシ原より得られた. 県内では少ない.
6. *P. polygenus* BATES ニッコウヒメナガゴミムシ
菅谷: 1♀, 20. XI. '94(照葉ベイト); 1♂, 29. IV. '95. 他 遠山: 2♂♂, 27. X. '96.
平沢: 4♂♂7♀♀, 3. XII. '95.
本種は埼玉県昆虫誌では未記録の種であるが, 豊田 (1998) の寄せ蛾きNo. 86にて寄居町釜伏山より記録されている. 林床に見られ, 特に低山地の尾根付近に多い.
7. *P. takaosanus* HABU タカオヒメナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 4. XI. '92; 1♂, 19. V. '94(照葉ベイト). 他 遠山: 1♀, 27. X. '96.
平沢: 12♂♂13♀♀, 3. XII. '95. 根岸: 1♀, 24. IV. '96.
前種と同じような場所に見られ, 冬季採集では尾根付近の石下から得られている.
8. *P. yoritomus* BATES ヨリトモナガゴミムシ
菅谷: 4♂♂2♀♀, 4. XI. '92; 1♀, 25. VII. '95. 他 平沢: 1♀, 3. XII. '95.
根岸: 1♂, 23. IV. '96.
林床に多く見られる. 低地から標高1,000m以上の山地にまで生息する.
9. *P. sulcitaris* MOTSCHULSKY アシミソナガゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 18. V. '94.
10. *P. rotundangulus* MORAWITZ ヒメホソナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 8. VII. '92.
湿地に見られる.
11. *Trigonognatha cuprescens* MOTSCHULSKY アカガネオオゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 9. VI. '87(M. Sugita leg.); 1♀, 29. XI. '92. 他
菅谷では, 雑木林の林床に比較的多く見られる.
12. *T. coreana* TSCHITSCHERINE ムラサキオオゴミムシ
塩山: 1♀, 30. VII. '92.
林道を這っている個体を採集した. 県内での記録は極めて少ない.
13. *Trigonotoma lewisii* BATES ルイスナガゴミムシ
菅谷: 1♂, 16. VI. '94; 1♀, 24. VIII. '94. 他
林床の石の下などに見られる. 西日本に多い種で, 町内での個体数は少ない.
14. *Agonum leucopus* (BATES) タンゴヒラタゴミムシ
菅谷: 3♂♂5♀♀, 29. XI. '92; 1♀, 2. XII. '94. 他
河川敷に生息する. 冬季採集の崖掘りで非常に多く見られた.
15. *A. chalpodes lampros* BATES アオグロヒラタゴミムシ
菅谷: 1♂, 6. XI. '88(M. Sugita leg.); 3♀♀, 3. II. '96.
河原の石下に多い種.

16. *Colpodes atricomus* BATES クロモリヒラタゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 10. IV. '94; 2♀♀, 2. XII. '94. 他
林内の朽ち木の樹皮下などに見られる。冬季は乾燥した崖のひび割れた場所で、集団で越冬している。
17. *C. buehanani* HOPE オオアオモリヒラタゴミムシ
塩山: 1♀, 2. VIII. '96.
沢沿いの林床で、低木のスイーピングにより得られた。
18. *C. sylphis stichai* JEDLIČKA キンモリヒラタゴミムシ
菅谷: 1♀, 8. VIII. '95. 鎌形: 1♀, 26. V. '95. 千手堂: 1♀, 4. VII. '96.
根岸: 1♀, 23. IV. '96.
19. *Dolichus halensis* (SCHALLER) セアカヒラタゴミムシ
菅谷: 1♂, 11. VII. '91; 1♀; 29. IX. '94. 他
20. *Platynus magnus* (BATES) オオヒラタゴミムシ
菅谷: 1♀, 13. X. '94; 1♀, 11. XI. '95. 他 鎌形: 3♂♂1♀, 27. X. '95.
根岸: 1♂, 25. VII. '96. 他
21. *P. suavissimus* (BATES) ヒメセボシヒラタゴミムシ
菅谷: 1♂, 15. VII. '94.
22. *Dicranoncus femoralis* CHAUDOIR ルリヒラタゴミムシ
菅谷: 1頭, 4. V. '94. 鎌形: 1頭, 5. IV. '96.
低山地に多い種。沢沿いの葉の上などに見られ、良く飛ぶ。
23. *Synuchus congruus* (MORAWITZ) ヒメクロツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 2♀♀, 19. V. '94 (照葉へ付)。
24. *S. arcuaticollis* (MOTSCHULSKY) マルガタツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 7♂♂, 4. XI. '92; 2♀♀, 18. X. '95. 他
秋季に非常に多く、林床の落ち葉の下から得られる。
25. *S. callitheres callitheres* (BATES) キアシツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 19. V. '94 (照葉へ付); 1♂, 11. XI. '95. 他 平沢: 1♂, 2. VI. '95.
林床に多く見られ、夜間、苔蒸した舗道上にて観察される。
26. *S. dulcigradus* (BATES) ヒメツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 1♀, 30. V. '94 (照葉リター); 4♂♂, 20. XI. '94 (照葉へ付). 他
照葉樹林の林床に多いようである。
27. *S. cycloderus* (BATES) クロツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 1♀, 13. X. '94 (照葉へ付); 1♂1♀, 11. XI. '95. 他 遠山: 1♂, 27. X. '96.
28. *S. nitidus* (MOTSCHULSKY) オオクロツヤヒラタゴミムシ
菅谷: 6♂♂18♀♀, 4. XI. '92; 1♀, 7. VII. '95. 他
林床のベイトトラップで前種と共に得られる。

Zarbiniae マルガタゴミムシ亜科

1. *Amara ampliata* (BATES) キアシマルガタゴミムシ
菅谷: 1♀, 2. XI. '93.
雑木林の周辺で得られるが、極めて少ない。県内では他に3例知られるのみ。
2. *A. chalcites* DEJAN マルガタゴミムシ
菅谷: 1♂, 23. IV. '94; 1♂, 29. IV. '95. 他
3. *A. congrua* MOTSCHULSKY ニセマルガタゴミムシ
菅谷: 1♂, 23. IV. '93; 1♂, 18. XI. '94. 他
・ *Amara* sp. (♀)
マルガタとニセマルガタの♀が混ざっている。両種ともほぼ同じ環境に生息するようで、正確な同定は♀個体では困難である。したがって、♀については上記のような種名表現とした。
菅谷: 1♀, 4. XI. '92; 4♀♀, 20. IV. '95. 他
4. *A. obscuripes* BATES ツヤマルガタゴミムシ
菅谷: 1♂, 9. V. '95.
県内での他の記録は児玉町金屋の1例のみである。町内でもその後得られていない。
5. *A. chalcophaea* BATES コアオマルガタゴミムシ
菅谷: 1♂, 4. XI. '92; 1♂, 1. II. '93. 他
6. *A. gigantea* (MOTSCHULSKY) オオマルガタゴミムシ
菅谷: 1♀, 21. XI. '92; 1♂1♀, 3. IX. '94. 他

河川沿いのアシ原などに見られるが、町内では多くはない。

7. *A. macronota ovalipennis* JEDLICKA ナガマルガタゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 24. V. '93; 1♀, 18. X. '95. 他 根岸: 26. I. '96.
鎌形: 3♂♂2♀♀, 5. IV. '96.

8. *A. macros* (BATES) イグチマルガタゴミムシ
菅谷: 2♀♀, 4. XI. '92; 1♂, 2. XI. '93.

河川敷のススキ等が生い茂る荒地に見られる。県内では浦和市田島ヶ原の荒川付近と日高市の高麗川にて得られているのみである。本種の生息環境は、肥沃な土壌をたえた自然度の高い河原であり、過去において大規模な改修がされていないような場所に限られる。クビナガヨツボシゴミムシやチョウセンゴモクムシなどの稀種とされるものも同様の環境に生息するようである。しかしながら、こうした環境は近年の大規模河川改修により急激に減少しており、嵐山町分にあたる都幾川の産地もほぼ壊滅状態となってしまった。

9. *A. simplicidens* MORAWITZ コマルガタゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 4. XI. '92; 1♂, 27. IV. '95. 他 平沢: 1♀, 2. VI. '95.
鎌形: 7♂♂8♀♀, 27. X. '95.

Harpalinae ゴモクムシ亜科

1. *Anisodactylus punctatipennis* MORAWITZ ホシボシゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 2. XI. '93; 1♀, 8. V. '95. 他

林の林床や河原、荒地など至る所に生息し、普通に見られる。

2. *A. sadoensis* SCHAUBERGER オオホシボシゴミムシ
菅谷: 1♂, 26. VIII. '93; 4♀♀, 25. VII. '95. 他
3. *A. signatus* (PANZER) ゴミムシ
菅谷: 2♂♂1♀, 10. III. '94; 1♀, 25. VII. '95. 他 鎌形: 1♂, 27. X. '95.
杉山: 1♂1♀, 25. VII. '96.

至る所に見られるが特に草地に多く、春先の日中飛び回るのが観察される。

4. *A. tricuspidatus* MORAWITZ ヒメゴミムシ
塩山: 1♂, 27. V. '96.
5. *Harpalus capito* MORAWITZ オオゴモクムシ
菅谷: 1♀, 26. VI. '94; 1♂1♀, 12. IX. '95. 他 鎌形: 1♂, 27. X. '95.

河原や草地で見られる。大きな石やゴミの下などに多い。

6. *H. eous* TSCHITSCHERINE オオズケゴモクムシ
菅谷: 1♂, 8. VII. '92.
7. *H. corporosus* (MOTSCHULSKY) ヒロゴモクムシ
菅谷: 1♀, 19. VIII. '94(落葉へ付).
8. *H. crates* BATES チョウセンゴモクムシ
菅谷: 1♀, 4. XI. '92; 1♂, 18. V. '94. 鎌形: 1♂, 4. IV. '96.

記録の少ない種である。河原の土が多い部分に見られた。現在は河川改修により全く見られなくなった種である。都幾川下流域では現在も産地が残っている。

9. *H. griseus* (PANZER) ケウスゴモクムシ
菅谷: 1♀, 5. XI. '94.
10. *H. jureceki* (JEDLICKA) ヒメケゴモクムシ
菅谷: 1♂, 18. IX. '93; 1♂, 19. XI. '95. 他
11. *H. niigatanus* SCHAUBERGER クロゴモクムシ
菅谷: 1♂, 26. IX. '93; 1♂, 17. VI. '95. 他

県内の記録は割合に少ない。河川から雑木林に続く草地で得られた。

12. *H. pseudophonoides* SCHAUBERGER ニセケゴモクムシ
菅谷: 1♂1♀, 17. VIII. '94; 3♂♂, 11. IX. '94. 他
13. *H. simplicidens* SCHAUBERGER ニセクロゴモクムシ
菅谷: 1♀, 1. V. '94; 1♂, 11. XI. '95. 他
14. *H. sinicus* HOPE ウスアカクロゴモクムシ
菅谷: 1♀, 18. IX. '93; 3♂♂2♀♀, 17. VI. '95. 他
15. *H. vicarius* HAROLD ケゴモクムシ
菅谷: 1♀, 26. IX. '93; 1♂, 13. X. '94.
16. *H. tinctulus* BATES アカアシマルガタゴモクムシ
菅谷: 2♂♂, 4. XI. '92; 1♂, 17. VII. '95. 他 鎌形: 1♂, 5. IV. '96.

17. *H. tridens* MORAWITZ コゴモクムシ
菅谷: 1♂, 4. XI. '92; 1♂, 20. IX. '95. 他
18. *H. discrepans* MORAWITZ ハコダテゴモクムシ
菅谷: 1♀, 26. IX. '93; 1♀, 1. V. '95. 他
乾燥した荒れ地の石の下などに多い。
19. *H. bungii* CHAUDOIR マルガタゴモクムシ
菅谷: 1♀, 14. IV. '95; 1♂, 29. IV. '95.
20. *Platymetopus flavilabris* (FABRICIUS) カラカネゴモクムシ
菅谷: 1♀, 30. V. '92.
本邦では西南地域に多い種で、関東での記録は少ない。スナゴミムシダマシ類の生息するような乾燥した荒れ地に生息する。
21. *Oxycentrus argutoroides* (BATES) クビナガゴモクムシ
菅谷: 1♂, 20. IV. '94; 1♀, 16. VIII. '94(照葉リター). 他
22. *Trichotichnus longitarsis* MORAWITZ クビアカツヤゴモクムシ
千手堂: 1♂, 11. XI. '95. 根岸: 1♀, 26. I. '96.
23. *T. vespertinus* (HABU) キュウシュウツヤゴモクムシ
菅谷: 2♂♂, 15. VIII. '95; 1♂, 15. IX. '95.
24. *T. congruus* (MOTSCHULSKY) ヒメツヤゴモクムシ
大平山: 1♂1♀, 11. XI. '95.
25. *Anoplogenius cyanescens* (HOPE) キベリゴモクムシ
菅谷: 1♂, 15. VII. '94; 1♂, 2. XII. '94. 他 鎌形: 1♂, 26. V. '95; 1♂, 5. IV. '96.
将軍沢: 1♀, 31. VII. '95.
26. *Bradycellus fimbriatus* BATES マルヒメゴモクムシ
菅谷: 2♂♂, 6. VI. '94; 2♂♂1♀, 14. VI. '94.
27. *B. grandiceps* (BATES) オオズヒメゴモクムシ
根岸: 1♂, 26. I. '96.
28. *B. subditus* (LEWIS) コクロヒメゴモクムシ
※菅谷: 1♂, 2. XII. '94.
*Bradycellus*属の上記2種は雄交尾器陰茎内部の形質での同定が必要である。とりあえず上記の種として記録しておく。
29. *Acupalpus inornatus* BATES キイロチビゴモクムシ
菅谷: 2♀♀, 16. VI. '94; 2♂♂7♀♀, 16. VII. '94. 他
30. *Dicheirotichus tenuimanus* (BATES) キベリチビゴモクムシ
菅谷: 1♀, 19. XI. '94.
31. *Stenolophus difficilis* (HOPE) ミドリマメゴモクムシ
菅谷: 1♂, 30. V. '94(落葉リター); 1♀, 15. XI. '94(落葉リター). 他
32. *S. fulvicornis* BATES マメゴモクムシ
菅谷: 1♀, 6. VI. '94; 1♀, 23. VII. '94. 他 鎌形: 1♂, 25. VII. '95.
33. *S. iridicolor* REDTENBACHER ツヤマメゴモクムシ
菅谷: 1♀, 18. II. '94; 1♂, 4. VII. '94.
34. *S. propinquus* MORAWITZ ムネアカマメゴモクムシ
菅谷: 3♀♀, 15. VII. '94. 鎌形: 1♀, 6. V. '95.
河川敷等の草地や湿地で多く見られる。
35. *S. quinquepustulatus* (WIEDMANN) イツホシマメゴモクムシ
菅谷: 1♀, 25. VII. '96.
本邦では西南地域に多い種で、八重山諸島等では普通種であるが関東地方では非常に少ない。荒れた草地等に見られる。
36. *S. agonooides* BATES ナガマメゴモクムシ
将軍沢: 1♂, 16. X. '96.
スゲ類の生える湿地に見られる。

Licininae スナハラゴミムシ亜科

1. *Diplocheila zeelandica* (REDTENBACHER) オオスナハラゴミムシ
菅谷: 4♂♂, 19. VI. '95; 1♂1♀, 26. VII. '95. 他 遠山: 1♀, 13. VII. '96.
雑木林の林床等で、湿度の高い場所に多く見られる。
2. *Badister nakayamai* MORITA チビカタキバゴミムシ

※鎌形: 1♀, 31. V. '96.

河川敷の草地で石の下より得られた。最初 *Badister marginellus* BATES キベリカタキバゴミムシと同定したが、体長が 4.2mm と♀個体にしては小さく (ただしタイプは 3.54~4.04mm), 全体的に色彩が暗いことやその他の各部分の特徴が原記載と一致することから本種とみなした。♀個体であるため今後詳細の検討を要するが、残念ながらこの個体が得られた場所は河川改修によりすっかり変わってしまった。再び記録できるかどうかは怪しいものである。

Panagaeinae ヨツボシゴミムシ亜科

1. *Peronomerus auripilis* BATES イグチケブカゴミムシ

菅谷: 1♀, 26. VIII. '94.

河川敷の草の多い水際や湿地で見られる種。都幾川二瀬橋付近の河川敷にわずかに残るアシ原より得られた。

2. *Tinoderus singularis* (BATES) クビナガヨツボシゴミムシ

菅谷: 1♀, 5. VII. '94; 2♀♀, 14. VII. '94. 他

鎌形: 2♂♂, 31. III. '96; 1♂1♀, 6. IV. '96. 他

全国的に記録の少ない種。冬季採集でまとまって得られることもあるが、生息環境はだいぶ限られているようである。河川敷の乾燥した草地で、ススキの根本や石の下に見られる他、夜間のライトにも集まる。なお、鎌形地区の都幾川河川敷には本種が比較的多く見られる場所が存在したが、近年の近自然工法と称した大規模河川改修により環境が大幅に変化し、その後の再三に渡る調査でも得られていない。

3. *Panagaeus japonicus* CHAUDOIR ヨツボシゴミムシ

菅谷: 1♀, 11. IX. '95. 鎌形: 1♂, 8. III. '95; 1♀, 5. IV. '96.

前種に比べ、幾分か湿度の高い所を好む。河川敷に見られる種。

Callistinae アオゴミムシ亜科

1. *Chlaenius circumdatus* BRULLE コキベリアオゴミムシ

菅谷: 1♂, 1. X. '94; 1♂, 20. VI. '96. 平沢: 6♂♂2♀♀, 27. VII. '95.

將軍沢: 1♀, 31. VII. '95; 1♀, 19. VI. '96. 他

田んぼのあぜや湿地に多い。本種の色彩に関しては、産地や個体によってはかなり金属光沢の強いものが見られ、しばしばツヤキベリアオゴミムシに近い色彩のものが出現するが、前胸背板の形態等で識別は容易である。

2. *C. deliciolus* BATES ヒトツメアオゴミムシ

菅谷: 2♂, 26. VIII. '94.

東日本では記録の少ない種。林縁の夜間見回りで得られたが、個体数は多くないようである。県内では浦和市、東松山市 (未発表)、寄居町、児玉町で得られている。

3. *C. bioculatus* MOTSCHULSKY キベリアオゴミムシ

平沢: 2♂♂3♀♀, 27. VII. '95; 1♀, 10. VIII. '95. 將軍沢: 1♂, 5. VIII. '95.

田んぼのあぜや湿地に見られる。他のアオゴミムシ類に比べるとやや少ないようである。平沢では、田んぼのあぜに設置されている黒いビニールの枠をめくことで、多数の個体を確認することが出来た。

4. *C. inops* CHAUDOIR ヒメキベリアオゴミムシ

菅谷: 2♂♂1♀, 2. XII. '94; 1♀, 7. VII. '95. 平沢: 12♂♂1♀, 27. VII. '95.

鎌形: 1♂, 12. IX. '95. 將軍沢: 1♂, 31. VII. '95; 1♀, 19. VI. '96.

湿地や河川敷に普通。冬は生息地の付近にある崖に越冬個体が多数見られる。

5. *C. micans* (FABRICIUS) オオアトボシアオゴミムシ

菅谷: 1♂, 27. VI. '91; 1♂, 7. VII. '95. 平沢: 2♂♂1♀, 27. VII. '95. 他

雑木林の林床や草地に多い。

6. *C. sericimicans* CHAUDOIR ムナビロアオゴミムシ

菅谷: 1♂, 18. IX. '94; 1♀, 7. VII. '95. 將軍沢: 2♂♂, 19. VI. '96. 他

水浸しの湿地に見られ、平地に多い種。

7. *C. variicornis* MORAWITZ コガシラアオゴミムシ

菅谷: 4♂♂, 5. XII. '92; 1♀, 2. XII. '94. 他

湿った場所に見られ、河川敷に特に多い。次種とは生息環境の違いにより容易に識別できるが、標本での同定は雄交尾器の形態が重要である。

8. *C. kurosawai* KASAHARA ニセコガシラアオゴミムシ

菅谷: 1♂, 10. V. '95; 2♀♀, 25. VII. '95. 他 將軍沢: 1♂, 19. VI. '96.

湿度の高い草地から湿地に多く見られ、ムナビロアオゴミムシよりもやや乾燥ぎみの箇所を好む。前胸背板は緑色味を強く帯びた金緑色である。

9. *C. ocreatus* BATES クロヒゲアオゴミムシ
遠山: 2♂♂, 16. VI. '95.
山地に多く見られる種で、沢沿いに生息する。嵐山溪谷(槻川)では片岩系の岩畳上にて得られる。
10. *C. naeviger* MORAWITZ アトボシアオゴミムシ
菅谷: 2♀♀, 18. IX. '93; 1♀, 7. VII. '95. 他 塩山: 2♂♂, 27. V. '96.
林の林床や休耕田など湿度の高い場所に多く見られる。嵐山溪谷では、昼間林道沿いにあるカラムシの葉上で静止する個体が多数観察できる。
11. *C. posticalis* MOTSCHULSKY キボシアオゴミムシ
菅谷: 1♀, 25. VI. '94; 1♀, 18. IX. '94. 他
前種に良く似るが、前胸背板に毛が無いことで容易に識別できる。林床に見られ、あまり多くはない。
12. *C. pallipes* GEBLER アオゴミムシ
菅谷: 8♂♂11♀♀, 4. XI. '92; 1♂5♀♀, 25. VII. '95. 他
13. *C. virgulifer* CHAUDOIR アトワアオゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 25. VI. '94; 1♀, 18. IX. '94. 他 広野: 1♂, 2. VI. '95. 千手堂: 1♀, 11. VI. '95.
14. *C. noguchii* (BATES) ノグチアオゴミムシ
菅谷: 3♂♂4♀♀, 18. IX. '92; 4♂♂6♀♀, 9. V. '95. 他 千手堂: 1♂, 12. IX. '95.
鎌形: 2♂♂1♀, 12. IX. '95; 1♀, 27. X. '95. 遠山: 1♂, 13. X. '95.
河原の水際に近い石の下に生息する。本種の分類学的扱いについては、学者によって様々であるが、本稿では森田(1993)にならい *Chlaenius* 属として扱った。
15. *Epomis nigricans* (WIEDEMANN) オオキベリアオゴミムシ
菅谷: 1♂, 25. VI. '94; 1♂, 5. VII. '94. 遠山: 1♀, 13. Jul. '96.
幼虫はアマガエルに外部寄生するということであるが、松本慶一氏の私信によればアオゴミムシ類は他の種類の幼虫もカエルに限らず様々な生物にしがみついて体液を吸っているとのことであり、必ずしもアマガエルでなければならぬわけでは無いものと思われる。南に多い種で、町内では少ない。
16. *Haplochlaenius costiger* (CHAUDOIR) スジアオゴミムシ
菅谷: 1♂1♀, 26. VI. '94; 1♀, 5. IX. '94. 他 將軍沢: 1♀, 31. VII. '95.
17. *Oodes helopioides tokyoensis* HABU ニセトックリゴミムシ
菅谷: 1♀, 31. VII. '95. 平沢: 1♂3♀♀, 10. VIII. '95.
関東地方では特に多い種で、足で踏むと水がしみ出るような湿地に生息する。

Perigoninae ホナシゴミムシ亜科

1. *Perigona nigriceps* (DEJEAN) クロズホナシゴミムシ
菅谷: 2頭, 15. IX. '94(照葉リター); 1頭, 1. II. '95(照葉リター). 他
広葉樹林の林床の落葉下に多い。ツルグレン装置による採集で得られる。季節消長についてはリター採集の部分の表1を参照のこと。

Odacanthinae クビナガゴミムシ亜科

1. *Odacantha aegrota* (BATES) チャバネクビナガゴミムシ
平沢: 3頭, 12. VIII. '95. 將軍沢: 5頭, 16. X. '96.
湿地に生息し、ガマ・アシ等の葉の隙間や地面に見られる。比較的良好な状態の湿地では、本種の好む環境よりもやや湿った場所で *O. puziloi* ナカグロキバネクビナガゴミムシや *O. hagai* ハガクビナガゴミムシが見られるが、嵐山町ではこうした環境がほぼ失われており、*O. hagai* については現在町内では得られていない。
2. *Archicolliuris bimaculata nipponica* HABU フタモンクビナガゴミムシ
菅谷: 1頭, 2. XII. '94.
平地の湿地や河川の水際に多い。町内の記録は冬季採集で崖から掘り出したものだけである。

Pentagonicinae ツブゴミムシ亜科

1. *Pentagonica subcordicollis* BATES クロツブゴミムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94(落葉リター); 1頭, 26. XII. '94(照葉リター). 他
本種は埼玉県昆虫誌では未記録の種であるが、アセス資料によれば児玉町にて2例の報告が

ある。落葉下に生息し、ツルグレン装置を使った採集で得られる。

2. *P. angulosa* BATES カドツブゴミムシ

鎌形: 1頭, 6. V. '95.

Lebiinae アトキリゴミムシ亜科

1. *Apristus grandis* ANDREWES スジミズアトキリゴミムシ

菅谷: 10頭, 15. XII. '93; 1頭, 18. VIII. '94. 他

河原の水辺の砂地, 石の下等に生息する普通種。

2. *Calleida onoha* BATES アオアトキリゴミムシ

菅谷: 9頭, 26. XII. '92; 3頭, 10. V. '95. 他

スギなどの針葉樹やケヤキの生木の樹皮下に越冬個体が見られる。広葉樹のピーティングでも得られる。

3. *Coptodera subapicalis* PUTZEYS ハギキノコゴミムシ

菅谷: 21頭, 14. VI. '94; 1頭, 30. VI. '95. 他 鎌形: 1頭, 26. VI. '95.

梅雨の時期, 雑木林の薪上に多く見られる。

4. *Demetrius marginicollis* BATES ミズギワアトキリゴミムシ

菅谷: 5頭, 13. X. '94; 1頭, 8. VIII. '95. 鎌形: 4頭, 21. VI. '96 (他多数目撃)。

將軍沢: 2頭, 16. X. '96.

河川敷でススキの葉間に見られる。

5. *Dolichoctis luctuosus* (PUTZEYS) ヤセアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 25. VII. '92; 4頭, 18. VIII. '94. 他

朽ちた薪の樹皮下に良く見られる。

6. *D. striatus striatus* SCHMIDT-GOBEL コヨツボシアトキリゴミムシ

菅谷: 2頭, 25. VI. '94; 1頭, 28. VII. '95. 他

雑木林の林床にて, 菌がはびこったような薪に多く見られる。

7. *Dromius batesi* HABU ベーツホソアトキリゴミムシ

菅谷: 2頭, 21. IV. '94. 平沢: 7頭, 30. XII. '95.

8. *D. prolixus* BATES ホソアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 25. XII. '92.

9. *D. quadraticollis* MORAWITZ イクビホソアトキリゴミムシ

菅谷: 2頭, 26. XII. '92; 1頭, 11. I. '97. 他

スギの樹皮下でたまに越冬個体が見られる。

10. *D. crassipalpis* BATES フトヒゲホソアトキリゴミムシ

平沢: 1頭, 30. XII. '95.

平沢の沢沿いにある大ケヤキの樹皮下より, ベーツホソアトキリゴミムシと共に得られた。

県内では秩父市の橋立川でも同様の状況で採集しているが, 全国的にみても記録は少ない種である。

11. *Lachnolebia cribricollis* (MORAWITZ) キクピアオアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 24. III. '93; 1頭, 5. VII. '94 (H. Sato leg.). 他

鎌形: 2頭, 31. III. '96; 1頭, 5. IV. '96.

開けた草地に見られ, 街中でも得られている。

12. *Lebia bifenestrata* MORAWITZ フタホシアトキリゴミムシ

菅谷: 6頭, 18. IV. '94; 1頭, 2. VIII. '95. 他

春先から初夏にかけて多く, チョウ目の幼虫 (蛾) が巣くっている所や, カエデなどの花に集まる。冬季採集でもまれに樹皮下より得られる。

13. *L. duplex* BATES ハネビロアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 15. VII. '94. 遠山: 1頭, 30. I. '96.

14. *L. hikosana* HABU ヒコサンジュウジアトキリゴミムシ

※菅谷: 1♂, 4. V. '94.

埼玉県初記録種で, 全国でも記録が非常に少ない。コナラの樹上より得られた。

15. *L. retrofasciata* MOTSCHULSKY ジュウジアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 6. VIII. '92; 4頭, 4. V. '94. 他

雑木林の樹上に見られるが, まとまって得られることは少ないようである。

16. *L. viridis* SAY コルリアトキリゴミムシ

菅谷: 1頭, 18. X. '92; 9頭, 22. X. '93. 他

北米原産の移入種で, 関東の各地から記録されている。県内での記録も少なからずみられ,

各地で普通種となりつつある。秋にセイタカアワダチソウの花に飛来する個体が多い。ハムシ類の幼虫を捕食する。

17. *L. calycophora* SCHMIDT-GOEBEL ホシハネビロアトキリゴミムシ
塩山: 1頭, 5. VI. '96.
18. *Lebidia octoguttata* MORAWITZ ヤホシアトキリゴミムシ
菅谷: 2頭, 20. IV. '94; 1頭, 24. XII. '94. 他
樹葉上に見られ, 乾燥した崖で越冬する。
19. *Orinella lewisii* (BATES) メダカアトキリゴミムシ
菅谷: 1頭, 16. VI. '94.
筆者の自宅にて, ベランダに設置したブラックライトに飛来したものである。
20. *Parena cavipennis* HABU ヒラタアトキリゴミムシ
菅谷: 1頭, 26. VI. '92; 2頭, 8. VIII. '95.
街路樹のプラタナスの葉上で, アメリカシロヒトリの幼虫を摂食している。
21. *P. latecincta* (BATES) アオヘリアトキリゴミムシ
菅谷: 1頭, 11. VII. '91.
22. *P. nigrolineata nipponensis* HABU クロヘリアトキリゴミムシ
菅谷: 3頭, 30. V. '91; 2頭, 15. Jul. '94. 他
樹葉上に見られ, ライトにも飛来する。
23. *Anomotarus stigmula* (CHAUDOIR) キボシアトキリゴミムシ
塩山: 1頭, 21. VI. '96; 1頭, 2. VIII. '96 (Kei. Matsumoto leg.).
林床の落ち葉中より得られる。

Zuphiinae スジバネゴミムシ亜科

1. *Planetes puncticeps* ANDREWES フタホシスジバネゴミムシ
菅谷: 2♀♀, 26. VI. '94; 3♀♀, 5. IX. '94. 他
林の林床にて, 夜間歩行中の個体が採集される。

Dryptinae ホソゴミムシ亜科

1. *Drypta japonica* BATES アオヘリホソゴミムシ
菅谷: 22頭, 29. XI. '92; 1頭, 5. VII. '94. 他 鎌形: 4頭, 5. IV. '96.
河川敷の草地から水際にかけて多く, 冬季採集では湿った崖から得られる。溜め池周辺にもまれに見られる。ウンカ類の幼虫を捕食する。

Brachinidae ホソクビゴミムシ科

1. *Pheropsophus jessoensis* MORAWITZ ミイデラゴミムシ
古里: 1♀, 15. VII. '95.
田んぼのあぜや湿地に生息し, 幼虫はケラの卵を食べて育つため, 生息地にはケラが多い。嵐山町では北半分の七郷地区に多いようである。
2. *Brachinus scotomedes* REDTENBACHER オオホソクビゴミムシ
菅谷: 2♀♀, 26. VI. '94; 1♀, 11. IX. '94.
湿地や湿度の高い林の林床に見られる。

Gyrinidae ミズスマシ科

Orectochilinae オナガミズスマシ亜科

1. *Orectochilus regimbarti* SHARP オナガミズスマシ
菅谷: 3頭, 7. VI. '95. 鎌形: 1頭, 10. VI. '95.
清流を好む流水性の種で, 都幾川では水中に草が垂れているような所で見られる。ちなみに二瀬周辺の河川改修後, 本種は全く見られなくなった。
2. *O. punctipennis* SHARP コオナガミズスマシ
菅谷: 15頭, 7. VI. '95; 1頭, 17. VI. '95. 鎌形: 9頭, 10. VI. '95.
前種とほぼ同様の場所に生息し, 個体数は本種の方が多い。都幾川二瀬付近では6月中旬頃に多く見られる。

Gyrininae ミズスマシ亜科

1. *Gyrinus japonicus* SHARP ミズスマシ
菅谷: 1頭, 8. V. '95; 3頭, 7. VI. '95. 他 大平山: 1頭, 14. IV. '95.

止水性のミズスマシで、ため池や水たまりの水面をぐるぐる回る姿が見られる。

Dytiscidae ゲンゴロウ科

Hydroporinae ケシゲンゴロウ亜科

1. *Guignotus japonicus* (SHARP) チビゲンゴロウ

菅谷: 29頭, 15. VII. '94; 1頭, 4. IX. '94. 他

Colymbetinae ヒメゲンゴロウ亜科

1. *Copelatus weymarni* BALFOUR-BROWNE ホソセスジゲンゴロウ

菅谷: 1♂, 1. VIII. '95.

2. *Agabus japonicus* SHARP マメゲンゴロウ

菅谷: 2♀♀, 17. VIII. '94; 1♀, 18. XI. '94. 他

3. *Platambus pictipennis* (SHARP) モンキマメゲンゴロウ

菅谷: 2♂♂3♀♀, 24. XII. '94; 1♂, 7. VI. '95. 他

鎌形: 1♀, 10. VI. '95; 2♀♀, 27. X. '95.

清流に棲む種で、水中の落ち葉の中や水草の間に見られる。

4. *P. fimbriatus* (SHARP) キベリマメゲンゴロウ

菅谷: 1頭, 30. V. '95; 13頭, 7. VI. '95. 遠山: 1頭, 13. X. '95 (死骸).

前種と同様の場所で見られる。

5. *Rhantus pulverosus* (STEPHENS) ヒメゲンゴロウ

菅谷: 1♀, 25. IX. '93; 1♀, 17. VI. '95. 他

Dytiscinae ゲンゴロウ亜科

1. *Eretes sticticus* (LINNAEUS) ハイイロゲンゴロウ

菅谷: 2♂♂5♀♀, 15. IX. '93; 2♂♂, 4. VII. '94. 他

ため池に多く、夕方活発に活動する。

2. *Hydaticus bowringi* CLARK シマゲンゴロウ

菅谷: 1♂, 24. VIII. '94. 将軍沢: 1♂, 5. VIII. '95.

県内で最近の記録は少ない。本種のようなゲンゴロウが残っているのは、都幾川周辺の水田等が昔ながらの水辺環境を保っている証拠となろう。

3. *H. grammicus* (GERMAR) コシマゲンゴロウ

菅谷: 4♀♀, 25. IX. '93; 1♀, 6. VI. '94. 他

Hydrophiloidea ガムシ上科

Histeridae エンマムシ科

Onthophilinae セセスジエンマムシ亜科

1. *Onthophilus niponensis* LEWIS コセスジエンマムシ

菅谷: 3頭, 18. II. '94; 2頭, 10. IV. '94. 他

獣糞に集まる。

2. *O. ostreatus* LEWIS オオセスジエンマムシ

菅谷: 1頭, 18. II. '94; 10頭, 10. III. '94. 他

獣糞に集まり、春先に個体数が多い。

3. *O. silvae* LEWIS シナノセスジエンマムシ

※塩山: 1頭, 21. VI. '96; 1頭, 2. VIII. '96.

大原(1996)によれば本州では長野と神奈川の各県で記録があるが、埼玉県では初である。クサアリモドキ *Lasius spathopus* の巣から採集された。大変珍しく、特定の巣でしか得られないようである。

4. *O. flavicornis* LEWIS キノセスジエンマムシ

菅谷: 1頭, 21. III. '95; 3頭, 26. XII. '94 (照葉リター). 他

植物の腐ったものや土壌中に見られる。雑木林の林床に普通。

Saprininae ドウガネエンマムシ亜科

1. *Saprinus niponicus* DAHLGREN ニセドウガネエンマムシ

菅谷: 1頭, 11. VI. '95.

河川敷のアメリカザリガニの死骸に飛来していた。

Histerinae エンマムシ亜科

1. *Notodoma fungorum* LEWIS キノコアカマルエンマムシ
菅谷: 1頭, 30. V. '92; 12頭, 26. VII. '96. 他
カワラタケ等の多孔菌類に集まり, 夜間よく活動する. 県内では記録が少ないようであるが, 普通種なので採集の仕方次第でもっと記録が増えるであろう.
2. *Hister japonicus* MARSEUL ヤマトエンマムシ
菅谷: 1頭, 16. VII. '94; 1頭, 15. VI. '95. 他
3. *H. simplicisternus* LEWIS ヒメツヤエンマムシ
菅谷: 1頭, 23. IV. '94.
4. *Margarinotus niponicus* (LEWIS) コエンマムシ
菅谷: 3頭, 10. IV. '94; 1頭, 2. VIII. '95. 他
5. *M. boleti* (LEWIS) キノコエンマムシ
菅谷: 3頭, 10. IV. '94; 1頭, 30. VI. '95. 他
6. *Atholus depistor* (MARSEUL) ムナクボエンマムシ
菅谷: 6頭, 11. VI. '95; 1頭, 15. VI. '95. 他
7. *Hololepta amurensis* REITTER オオヒラタエンマムシ
塩山: 1頭, 23. V. '96.
低標高地の記録は少ない. 塩山の沢沿いで日当たりの良い場所にて, カラムシの葉上に静止しているものが得られた. 嵐山町では大平山でも得られている.
8. *Platysoma celatum* LEWIS ヒメナガエンマムシ
菅谷: 2頭, 4. V. '94; 1頭, 15. VI. '95. 他
広葉樹の朽ち木の樹皮下に多い.
9. *P. rasile* LEWIS ニセヒメナガエンマムシ
菅谷: 1頭, 26. XII. '94; 1頭, 15. VI. '95. 他
町内では前種に比べ少ないようである. サルノコシカケの付け根にも見られる.

Hydrophilidae ガムシ科

Sphaeridiinae ハバビロガムシ亜科

1. *Cercyon laminatus* SHARP ウスモンケシガムシ
菅谷: 1頭, 4. IX. '94; 1頭, 5. IX. '94.
2. *C. olivaceus* SHARP アカケシガムシ
菅谷: 1♂1♀, 11. IX. '94.
地面に落ちた腐果実や動物の糞に多数集まる.
3. *C. quisquilius* (LINNAEUS) キバネケシガムシ
菅谷: 5頭, 10. IV. '94; 1頭, 4. IX. '94.
発酵したドロドロの牛糞に良く集まる.
4. *C. ustus* SHARP ケシガムシ
菅谷: 2♀♀, 12. III. '94; 1♂, 18. IV. '94.
他にも *Cercyon* sp. が複数種得られているが, 未同定であり種数の確認も出来ていないので今回は省いた.
5. *Pachysternum haemorrhoum* MOTSCHULSKY マグソガムシ
菅谷: 8頭, 10. IV. '94; 1頭, 30. VI. '95.

Hydrobiinae マルガムシ亜科

1. *Crenitis japonicus* (NAKANE) コマルガムシ
※菅谷: 1頭, 26. IX. '93.
1. *Enochrus haroldi* (SHARP) オオヒラタガムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 2頭, 5. IX. '94. 他
日陰で落ち葉がたまっているような溜め池にて, 落ち葉の下に多数見られる.
2. *E. japonicus* (SHARP) キベリヒラタガムシ
菅谷: 1頭, 17. V. '94; 4頭, 23. VII. '94. 他
3. *Laccobius bedeli* SHARP シジミガムシ
菅谷: 14頭, 15. VII. '94; 1頭, 3. IX. '94. 他

Hydrophilinae ガムシ亜科

1. *Sternolophus rufipes* (FABRICIUS) ヒメガムシ
菅谷: 1頭, 9. V. '95.
2. *Hydrochara affinis* (SHARP) コガムシ
菅谷: 2♂♂1♀, 8. VIII. '94; 3♀♀, 3. IX. '94. 他
比較的大型のガムシで都幾川周辺に多い。

Berosiinae ゴマフガムシ亜科

1. *Berosus signaticollis punctipennis* HAROLD ゴマフガムシ
菅谷: 1頭, 25. VI. '94; 4頭, 11. IX. '94. 他

Staphylinioidea ハネカクシ上科

Ptiliidae ムクゲキノコムシ科

1. *Camptodius adustipenne* MOTSCHULSKY ヒサコムクゲキノコムシ
※菅谷: 1頭, 16. VIII. '94(落葉リター).
他に未同定の種が数種得られている。

Leiodidae タマキノコムシ科

Leiodinae タマキノコムシ亜科

1. *Colenis terrena* HISAMATSU オチバヒメタマキノコムシ
※菅谷: 8頭, 30. V. '94(落葉リター); 62頭, 26. XII. '94(落葉リター). 他
林床の落葉下に生息し、ツルグレン装置をつかった採集で多く得られる。

Anisotominae スジアシタマキノコムシ亜科

1. *Anisotoma didymata* (PORTEVIN) オビスジタマキノコムシ
平沢: 2♀♀, 30. XII. '95.
沢沿いのケヤキの樹皮下より越冬個体が得られた。山地に多い種。

Catopinae チビシデムシ亜科

1. *Ptomaphagus kuntzeni* SOKOLOWSKI ハギニセチビシデムシ
菅谷: 8頭, 23. IV. '94(腐肉へイト).
本種は埼玉県昆虫誌では未記録の種であるが、アセス資料で鳩山町熊井よりより記録されている。やや乾燥した腐肉に多く集まる。
2. *Prionochaeta harmandi harmandi* PORTEVIN オオクロチビシデムシ
※菅谷: 1♀, 10. IV. '94(腐肉へイト).
3. *Catops hilleri* KRAATZ ヒレルチビシデムシ
菅谷: 9♂♂9♀♀, 16. V. '95(腐肉へイト).
湿度の高い林床の腐肉トラップで得られた。
4. *Mesocatops japonicus* (JEANNEL) ホソムネコチビシデムシ
菅谷: 7頭, 23. IV. '94(腐肉へイト).
本種は埼玉県昆虫誌では未記録の種であるが、豊田 (1998) の寄せ蛾きNo. 86にて寄居町釜伏山より、また、アセス資料でも日高市梅原より記録されている。

Coloninae ヒゲブトチビシデムシ亜科

1. *Colon hiraii* NAKANE オオヒゲブトチビシデムシ
※菅谷: 1頭, 5. VII. '94.
四国から新種として記載された種で、東日本での記録は今回が初めてのようである。

Staphylinidae ハネカクシ科

Omaliinae ヨツメハネカクシ亜科

1. *Omalius japonicus* SHARP セミゾヨツメハネカクシ
菅谷: 6頭, 12. IV. '94; 3頭, 18. XI. '94. 他
2. *Olophrum subsolanum* WATANABE
菅谷: 1頭, 18. XI. '94.

Proteininae ハバビロハネカクシ亜科

1. *Megarthus japonicus* SHARP ハバビロハネカクシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94.

Pselaphinae アリヅカムシ亜科

1. *Lasinus* sp.
菅谷: 2頭, 16. VIII. '94(落葉リター); 1頭, 26. XII. '94(落葉リター). 他
2. *Tmesiphorus crossicornis* SHARP ヒゲカタアリヅカムシ
※塩山: 1♂, 10. VIII. '96.
クサアリモドキの巣入り口付近にて得られた。やや大型の好蟻性アリヅカムシでクロクサアリの巣などからも得られる。
3. *Pseudozibus longicollis* JEANNEL ホソヒメアリヅカムシ
菅谷: 2頭, 20. IV. '94(落葉リター); 6頭, 15. IX. '94(落葉リター). 他
4. *Batriscenaulax longipes longipes* JEANNEL
菅谷: 1頭, 26. VIII. '94(落葉リター).
5. *Triomicrus protervus* (SHARP) マルムネアリヅカムシ
菅谷: 1♂, 23. IV. '94(落葉リター); 1♀, 15. XI. '94(照葉リター). 他
6. *Morana discedens* SHARP マメアリヅカムシ
菅谷: 5頭, 30. V. '94(照葉リター); 1頭, 16. VIII. '94(照葉リター). 他
7. *Bryaxis* sp.
菅谷: 5頭, 20. IV. '94(落葉リター); 14頭, 15. IX. '94(照葉リター). 他
8. *Tychobythinus* sp.
菅谷: 1頭, 15. IX. '94(落葉リター).
9. *Tychus dichotomus* NOMURA et LEE タイリクモリアリヅカムシ
菅谷: 1頭, 15. IX. '94(落葉リター).
本種は既にNOMURA(1996)で菅谷から記録されているが、上記は筆者の手元に残っていた標本である。
10. *Tainochus insulicola* (NOMURA et LEE) シマムクゲアリヅカムシ
菅谷: 3頭, 30. V. '94(落葉リター); 1頭, 15. XI. '94(落葉リター). 他
本種についても既にNOMURA(1996)で記録されている。わりと普通に得られる。
11. *T. imperator* KURBATOV チシマムクゲアリヅカムシ
菅谷: 1頭, 30. V. '94(落葉リター)
12. *Diartiger fossulatus* SHARP コヤマトヒゲブトアリヅカムシ
菅谷: 1頭, 26. XII. '94(落葉リター); 1♀, 1. II. '95(落葉リター).

Tachyporinae シリホソハネカクシ亜科

1. *Tachyprus celatus* SHARP クロズシリホソハネカクシ
菅谷: 1♂, 18. II. '94; 1♂1♀, 26. XII. '94.
2. *Tachinus mimulus* SHARP キベリマルクビハネカクシ
菅谷: 1♂, 18. XI. '94.
3. *Erchomus scitulus* WEISE クロチビマルクビハネカクシ
※菅谷: 1頭, 24. VIII. '94.

Aleocharinae ヒゲブトハネカクシ亜科

1. *Aleochara bipusturata* LINNAEUS フタモンヒゲブトハネカクシ
菅谷: 2頭, 18. IX. '94.
2. *Falagria simplex* SHARP
※菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
3. *Gyrophæna appendiculata* MOTSCHULSKY オオメヒラタキノコハネカクシ
菅谷: 3♂2♀, 15. VII. '94.

Scaphidinae デオキノコムシ亜科

1. *Ascapidium tibiale* LEWIS ホソスジデオキノコムシ
菅谷: 2頭, 24. IV. '94; 4頭, 19. V. '94. 他
2. *Scaphidium japonum* REITTER ヤマトデオキノコムシ
菅谷: 11頭, 3. V. '94; 1頭, 15. VII. '94. 平沢: 1頭, 31. XII. '95.
3. *S. femorale* LEWIS ヒメデオキノコムシ
遠山: 1頭, 25. IV. '96.
4. *Cyparium mikado* ACHARD カメノコデオキノコムシ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 2頭, 19. VI. '96. 根岸: 2頭, 19. VI. '96.

5. *C. laevisternale* NAKANE コカメノコデオキノコムシ
※菅谷: 1頭, 25. VII. '96. 根岸: 1頭, 25. VI. '96.
6. *Pseudobironium lewisi* ACHARD ツブデオキノコムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94; 1頭, 19. V. '94.

Piestinae ヒラタハネカクシ亜科

1. *Lispinus aper* SHARP コチビホソハネカクシ
※菅谷: 1頭, 26. XII. '94.

Oxytelinae セスジハネカクシ亜科

1. *Thinodromus seracatus* (SHARP) ユミセミゾハネカクシ
菅谷: 1頭, 18. XI. '94.
2. *T. deceptor* (SHARP) アカアシニセユミセミゾハネカクシ
※菅谷: 1頭, 8. VIII. '94.
3. *Carpelimum siamensis* (FAUVEL) キバネニセユミセミゾハネカクシ
※菅谷: 3頭, 15. VII. '94; 1頭, 16. VII. '94.
4. *Oxytelus bengalensis* ERICHSON クロズマグソセスジハネカクシ
菅谷: 1♂, 18. XI. '94.

埼玉県昆虫誌に所沢市三ヶ島の1例が掲載されている。

5. *O. incisus* MOTSCHULSKY アカセスジハネカクシ
菅谷: 1♀, 15. VII. '94.
6. *Anotylus latiusculus* (KRAATZ) チビクロセスジハネカクシ
菅谷: 7頭, 12. IV. '94; 1頭, 18. IX. '94.
7. *A. cognatus* (SHARP) セスジハネカクシ
菅谷: 4♂♂3♀♀, 12. IV. '94; 1♀, 6. IV. '94. 他
8. *A. vicinus* (SHARP) トビイロセスジハネカクシ
菅谷: 6♂♂4♀♀, 12. IV. '93; 1♀, 11. V. '94.
9. *A. mimulus* (Sharp) シワバネセスジハネカクシ
菅谷: 1♂, 18. II. '94.

Staphylininae ハネカクシ亜科

1. *Philonthus lewisius* SHARP オオドウガネコガシラハネカクシ
菅谷: 4♂♂6♀♀, 5. VII. '94; 1♂, 26. XII. '94. 他
2. *P. wuesthoffi* BERNHAUER ヒメホソコガシラハネカクシ
菅谷: 1♀, 3. X. '94; 5♂♂5♀♀, 18. XI. '94.
3. *P. cunctator* SHARP ドウバネコガシラハネカクシ
菅谷: 1♀, 5. VII. '94.
4. *P. rutiliventris* SHARP ムネスジコガシラハネカクシ
菅谷: 1♀, 18. XI. '94.
5. *Rabigus brunneicollis* (HOCKHUTH) ホソチャバネコガシラハネカクシ
菅谷: 1♀, 5. VII. '94; 1♀, 24. VIII. '94.
6. *Hesperus tiro* (SHARP) ツマグロアカバハネカクシ
菅谷: 1♀, 16. VII. '94; 1♂, 4. VII. '96. 他
7. *Platydracus paganus* (SHARP) アカバハネカクシ
菅谷: 1♂, 12. IV. '94; 1頭, 28. VI. '95. 他
8. *P. sharpi* (FAUVEL) カラカネハネカクシ
菅谷: 1♀, 15. VII. '94.
9. *Ocytus parvulus* (SHARP) チビドウガネハネカクシ
菅谷: 1♀, 6. VI. '94.
10. *O. lewisius* SHARP クロサビイロハネカクシ
菅谷: 1♀, 23. IV. '94; 1♂, 21. IV. '94.
11. *O. weisei* HAROLD キンボシハネカクシ
菅谷: 1頭, 27. V. '95; 1頭, 2. VI. '95.
12. *Algon grandicollis* SHARP ムナビロハネカクシ
菅谷: 1♂1♀, 15. VII. '94; 1♂, 16. VII. '94.
13. *Quedius japonicus* SHARP アカバツヤムハネカクシ

菅谷: 1♀, 18th. Feb. '94.

Paederinae アリガタハネカクシ亜科

1. *Astenus bicolon* (SHARP) フタホシシリグロハネカクシ
菅谷: 1♀, 3. X. '94.
2. *Paederus fuscipes* SHARP アオバアリガタハネカクシ
菅谷: 1♂, 4. XI. '92; 1♀, 15. VII. '94. 他
3. *Rugilus rufescens* (SHARP) クビボソハネカクシ
菅谷: 1♂2♀, 16. VII. '94; 1♀, 3. X. '94.
4. *Sunius debilicornis* (WALLASTON) チビトガリハネカクシ
菅谷: 1♀, 15. VII. '94.
5. *Lithocharis nigriceps* KRAATZ クロズトガリハネカクシ
菅谷: 3♂♂4♀♀, 16. VII. '94; 1♂1♀, 3. X. '94. 他
6. *Domene crassicornis* (SHARP) オオマルズハネカクシ
菅谷: 1♂1♀, 23. IV. '94.
7. *Lathrobium dignum* SHARP アカバナガハネカクシ
菅谷: 1♂, 15. VII. '94.
8. *Ochtephilum densipenne* (SHARP) クロナガエハネカクシ
菅谷: 1♀, 18. XI. '94.

Oxyporinae オオキバハネカクシ亜科

1. *Oxyporus japonicus* SHARP オオキバハネカクシ
菅谷: 1頭, 15. VIII. '95.
2. *O. parvus* SHARP オオズオオキバハネカクシ
遠山: 2頭, 13. VII. '96.

Steninae メダカハネカクシ亜科

1. *Stenus alienus* SHARP ホソフタホシメダカハネカクシ
菅谷: 3♂♂, 3. X. '94; 7♂♂6♀♀, 18. XI. '94.

Silphidae シデムシ科

Nicrophorinae モンシデムシ亜科

1. *Nicrophorus concolor* KRAATZ クロシデムシ
菅谷: 3♀♀, 16. VII. '94(腐肉へ付); 2♀♀, 16. V. '95(鳥の死体). 他
本邦最大のシデムシで、環境指標種として良く扱われる。大型動物の死骸に良く集まる他、
ベイトやライト・トラップにも飛来する。菅谷館跡では比較的普通である。
2. *N. maculifrons* KRAATZ マエモンシデムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94(腐肉へ付). 他
丘陵地から山地に多い種のようなのである。嵐山町では雑木林の林床等で得られる。
3. *N. quadripunctatus* KRAATZ ヨツボシモンシデムシ
菅谷: 1頭, 23. IV. '94(腐肉へ付); 2頭, 2. VIII. '95. 他
大平山: 1頭, 25. IV. '96.
林床の腐肉トラップに多く集まるほか、夕方飛翔する個体が多く見られる。林床でのライト
トラップにも集まる。
4. *Ptomascopus morio* KRAATZ コクロシデムシ
菅谷: 4頭, 14. VII. '94(腐肉へ付); 1頭, 25. IV. '95(腐肉へ付). 他
5. *Necrodes asiaticus* PORTEVIN オオモモトシデムシ
菅谷: 1♀, 12. IX. '87(M. Sugita leg.); 1♀, 14. VII. '94(腐肉へ付).
6. *N. nigricornis* HAROLD モモトシデムシ
菅谷: 1♀, 14. VII. '94(腐肉へ付).
町内ではあまり採集できない種である。平地の湿地周辺や河川敷に見られる。

Silphinae シデムシ亜科

1. *Oiceoptoma nigropunctatum* (LEWIS) クロボシヒラタシデムシ
(※)菅谷: 1頭, 16. V. '95(鳥の死体).

主に山地にて普通に見られるが、県内での記録は城峰山での目撃が1例あるのみであった。

溪流沿いの腐肉や生ゴミに集まるほか、雑木林の林床などにも見られるようである。余談ではあるが、筆者は東京都青梅市の山中にてヤマカガシの死骸に群れる本種の成虫と幼虫を多数目撃・採集している。やはりここも沢沿いであった。

2. *Eusilpha brunneicollis* (KRAATZ) ベッコウヒラタシデムシ
菅谷: 6♂♂2♀♀, 15. VII. '94(腐肉へ付); 1♂, 17. V. '95(鳥の死体)。
雑木林の林床や河川敷にて腐肉に集まる。
3. *E. japonica* (MOTSCHULSKY) オオヒラタシデムシ
菅谷: 2♂♂1♀, 19. V. '94(落葉へ付)
極普通に見られるため、とりたてて採集もしていない。
4. *Thanatophilus sinuatus* (LINNE) ヒメヒラタシデムシ
菅谷: 1♂, 5. VI. '95; 1♀, 15. VI. '95. 他
平地の河川敷や湿地に生息し、水辺の生物の死骸に集まる。都幾川河川敷の草原にて、アメリカザリガニのひからびた死骸より採集した。
5. *T. rugosus* (LINNE) オニヒラタシデムシ
菅谷: 1♀, 5. VI. '95; 1♂, 11. VI. '95.
前種とほぼ同様の場所に見られ、菅谷では少ない。茨城県の霞ヶ浦や千葉県佐倉市、埼玉県北本市戸宿などでは、人の手が入っていない良好な湿地に見られることから、湿地周辺が本来の生息場所であろう。この土手はかつて湿地であったことから、あるいはわずかに残った個体群であろうか。アメリカザリガニの死骸より採集。

Scydmaenidae コケムシ科

1. *Cephennium japonicum* SHARP ムナビロコケムシ
※菅谷: 1頭, 16. VI. '94(照葉リター); 2頭, 15. IX. '94(落葉リター)。
分類の遅れているグループのようだが、一応今回は本種として扱った。落葉下に生息するため、リター採集を行わないと得るのは難しいようである。他に*Euconus*属の種が多数得られているが未同定である。

Eucinetidae マルハナノミダマシ科

1. *Eucinetus haemorrhoidalis* GERMAR ツマアカマルハナノミダマシ
菅谷: 1頭, 30. V. '94(落葉リター); 1頭, 16. VI. '94(落葉リター)。
落葉下に生息し、リター採集で得られる。

Helodidae マルハナノミ科

1. *Helodes protecta* HAROLD キムネマルハナノミ
菅谷: 5頭, 2. V. '95.
雄交尾器を確認していないため疑問が残るが、一応本種として記録しておく。
2. *Cyphon ozensis* M. SATO オゼチビマルハナノミ
※菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
菅谷館跡内にある湿地でスウィーピングにより得られたものである。
3. *C. ishiharai* K. SASAGAWA イシハラチビマルハナノミ
菅谷: 1♂, 1. V. '94; 1♂, 18. V. '94.
県内では所沢市三ヶ島にて得られているのみであった。5月の天気がいよい日中に、湧水のあ
る日当たりの良い湿地より得られた。
4. *C. mizoro* NAKANE クロチビマルハナノミ
菅谷: 1♂, 18. V. '94.
県内では奥秩父で3ヶ所記録があり平地での記録は無い。飛翔中の個体が得られた。
5. *Scirtes japonicus* KIESENWETTER トビイロマルハナノミ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 1頭, 24. XII. '94. 他

Lucanidae クワガタムシ科

1. *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY ミヤマクワガタ
菅谷: 1♂, 5. VII. '94; 1♀, 24. VII. '95.
平地では少ない種類である。嵐山町では他に大平山や吉田地区等で得られている。
2. *Macrodercus rectus* (MOTSCHULSKY) コクワガタ
菅谷: 2♂♂, 22. VI. '92; 1♂, 24. VII. '95. 他
3. *M. striatipennis* MOTSCHULSKY スジクワガタ

菅谷: 1♂, 1.VII.'87(M. Sugita leg.); 3♂♂2♀♀, 6.VI.'94. 他

吉田: 1♂, 25.VII.'95.

嵐山町の本種に関する記録は、杉田, 1989が菅谷のオオムラサキの森周辺で得られた個体を記録しているが、埼玉県昆虫誌Ⅲでは引用されていない。当地ではコクワガタに比べて個体数は少ないように感じる。

4. *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (MOTSCHULSKY) ノコギリクワガタ

菅谷: 1♂1♀, 5.VII.'94; 1♂1♀, 19.VIII.'94. 他

ここ数年で極端に数が減っているように感じる。菅谷ではもともと個体数は少ないようであるが、やはり樹液の出ている木の根元を掘りっぱなしにしたり、樹液の部分べりべり剥がしたりと、マナーの悪い採集者(子供も含めて)による生息環境の悪化がかなり影響しているのではなかろうか? せめて掘った根元はもとに戻す配慮が欲しいものである。

Trogidae コブスジコガネ科

1. *Trox opacotuberculatus* MOTSCHULSKY ヒメコブスジコガネ

菅谷: 8頭, 26.V.'95; 2頭, 7.VII.'95. 他

コブスジコガネ類は生態に関する研究も盛んに行われ、哺乳類の毛や鳥類の羽根の腐敗物を好むことが既に知られている。菅谷の個体はいずれもコブスジコガネねらいで雑木林の風通しが良い箇所にしかけたニワトリ(約2週間後から)に飛来し、繁殖したものである。幼虫は地面に穴を掘り、顔だけだして地表の羽根を食べている。

Geotrupidae センチコガネ科

1. *Bolbocerosoma nigroplagiatus* (WATERHOUSE) ムネアカセンチコガネ

菅谷: 1♀, 14.VII.'94.

県内ではいくつか記録が見受けられるが、生態的知見に乏しくなかなかお目にかかれない種である。本種が得られたのは菅谷館跡にある街灯の下で、夜9時半頃ライトに飛来したものである。気温は非常に高く、最良の条件であったことは言うまでもない。また、この場所も含め本種が得られている場所にはほぼすべて、芝生もしくはススキ原が存在することから、これらの環境と何らかの関係があるものと思われる。ちなみに神奈川県愛川町の例では、古い牛糞に生えたキノコ類より本種が複数得られており、夕暮れ時に飛翔中の個体も幾つか見られた。

2. *Geotrupes laevistriatus* MOTSCHULSKY センチコガネ

菅谷: 2♂♂, 17.V.'94; 4♂♂, 20.XI.'94(照葉ベイト). 他

大平山: 1♂, 10.VIII.'95; 1♂, 11.XI.'95.

鎌形: 1♂, 6.V.'95.

動物の糞、死骸、キノコの腐ったものやその他のありとあらゆる腐敗物に見られ、本種が森の分解者としての大きな役割を果たしていることは明らかである。菅谷ではまれに青色と紫色のすばらしい輝きをもつ個体が見られる。

Scarabaeidae コガネムシ科

Scarabaeinae ダイコクコガネ亜科

1. *Panelus parvulus* (WATERHOUSE) マメダルマコガネ

菅谷: 5頭, 16.VI.'94(落葉リター); 1頭, 1.II.'95(落葉リター). 他

遠山: 1頭, 27.X.'96.

県内では人間、飯能、寄居で得られているが、普通種のわりには以外に記録が少ない。これは本種が落葉下を好むためで、リター採集等を行えば得られるであろう。

2. *Onthophagus ater* WATERHOUSE クロマルエンマコガネ

菅谷: 3♂♂1♀, 18.IV.'94; 4♂♂1♀, 13.X.'94. 他

3. *O. atripennis atripennis* WATERHOUSE コブマルエンマコガネ

菅谷: 10♂♂4♀♀, 29.VIII.'93; 3♂♂3♀♀, 11.VI.'95. 他

4. *O. nitidus nitidus* WATERHOUSE ツヤエンマコガネ

菅谷: 9頭, 5.VII.'94; 10頭, 2.VIII.'95. 他 根岸: 1頭, 25.VII.'96.

腐肉トラップによく集まり、午後の気温が高い時間に飛翔中の個体が見られる。

Aphodiinae マグソコガネ亜科

1. *Aphodius pratensis* NOMURA et NAKANE マキバマグソコガネ

※菅谷: 1頭, 19.IV.'94; 15頭, 15.VII.'94. 他

日当たりの良い草地にて犬の糞に見られる。県内初記録である。

2. *A. uniformis* WATERHOUSE エゾマグソコガネ

※菅谷: 4頭, 15. VII. '94; 2頭, 3. IX. '94. 他

やはり同じような環境に見られるが、決して多くはないようである。県内初記録。

3. *A. nigrotessellatus* MOTSCHULSKY セマダラマグソコガネ

菅谷: 15頭, 18. II. '94; 1頭, 27. IV. '95. 他

冬から早春にかけて見られ、日当たりの良い場所に多い。暖かい日には雑木林の林床や河川敷で飛翔中の個体が得られる。

4. *A. pusillus* (HERBST) コマグソコガネ

菅谷: 11頭, 10. IV. '94; 3頭, 3. IX. '94. 他

5. *A. rectus* (MOTSCHULSKY) マグソコガネ

菅谷: 6頭, 18. II. '94; 11頭, 18. XI. '94. 他

6. *A. urostigma* HAROLD フチケマグソコガネ

菅谷: 2頭, 5. IX. '94.

草地にて犬の糞より得られた。なお、この標本は翅端部で翅脈が合着していない。

7. *Caelius denticollis* LEWIS トゲマグソコガネ

※根岸: 1頭, 23. IV. '96.

本種は自然度の高い林に生息する種のように、朽ち木中に潜み、飛翔中のものが得られる。

根岸においても午後3時頃林床に日が射した時に飛翔中のものを採集した。これまで県内では記録がないようであるが、筆者は奥秩父の川浦溪谷標高1,000m付近でもやはり夕方に飛翔中のものを採集している。

Glaphyrinae ヒゲトハナムグリ亜科

1. *Anthypha pectinata* LEWIS ヒゲトハナムグリ

菅谷: 13♂♂1♀, 18. V. '94; 1♂, 1. VI. '95. 他

嵐山町では吉越(1997)での川島地区の記録があり、街内でも時折得られることがある。発生時期には場所にもよるが、かなりの個体数が見れる。菅谷館跡では東京都在住のある人物(Aとでもしておく)が、ワンシーズンに200頭以上もの個体を乱獲していったという事実があり、当地をフィールドとする筆者はあまりの非常識さにあきれてしまった。なんとか個体群は絶滅せずに残っているが、以前のような本種が乱舞する光景は見られない。地道に調べている人間にとっては迷惑な話である。

Melolonthinae コフキコガネ亜科

1. *Apogonia amida* LEWIS ヒメカンショコガネ

菅谷: 2頭, 5. VII. '94; 1頭, 28. VI. '95. 他

2. *Heptophylla picea picea* MOTSCHULSKY ナガチャコガネ

菅谷: 31頭, (他多数目撃) 14. VI. '94; 13頭, 23. VI. '95. 他

3. *Holotrichia kiotoensis* BRENSKE クロコガネ

菅谷: 2頭, 17. V. '94; 1頭, 5. VII. '94. 他

4. *H. parallela* (MOTSCHULSKY) オオクロコガネ

菅谷: 1頭, 5. VII. '94; 1頭, 13. X. '94.

5. *H. picea* WATERHOUSE コクロコガネ

菅谷: 1頭, 15. VII. '94.

6. *Melolontha japonica* BURMEISTER コフキコガネ

菅谷: 1♂, 23. VII. '87 (M. Sugita leg.); 2♂♂, 15. VII. '94. 他

7. *Miridiba castanea* (WATERHOUSE) クリイロコガネ

菅谷: 1頭, 16. VI. '94.

関東では非常に珍しく、筆者も菅谷で採集した以外には本種を目にしたことはない。

8. *Ectinohoplia obducta* (MOTSCHULSKY) ヒメアシナガコガネ

菅谷: 2頭, 30. V. '95; 1頭, 15. VI. '95. 他

9. *Gastroserica brevicornis* (LEWIS) コヒゲシマビロウドコガネ

菅谷: 1頭, 4. V. '94.

山地に多く見られる種で、低地の記録はほとんどないことから貴重であろう。

10. *Maladera castanea* (ARROW) アカビロウドコガネ

菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 3. IX. '94. 他 将軍沢: 1頭, 19. VI. '96.

11. *M. japonica* (MOTSCHULSKY) ビロウドコガネ

- 菅谷: 1頭, 15. VI. '95; 1頭, 2. VIII. '95.
- 1 2. *M. kamiyai* (SAWADA) カミヤビロウドコガネ
菅谷: 7頭, 20. IV. '94; 3頭, 4. IX. '94. 他
普通種であるが, 以外にも県内では飯能市の1例のみである. 埼玉県昆虫誌Ⅲの小堀(1998)でも述べられているように次種との混同によるためであろう.
 - 1 3. *M. orientalis* (MOTSCHULSKY) ヒメビロウドコガネ
菅谷: 1頭, 24. III. '93; 1頭, 6. V. '95. 他
 - 1 4. *M. renardi* (BALLION) オオビロウドコガネ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94; 1頭, 3. IX. '94.
 - 1 5. *Nipponoserica pubiventris* NOMURA ハラゲビロウドコガネ
※菅谷: 3頭, 17. V. '95; 1♀, 28. VI. '95. 他
同定が困難な属であり正確な同定とは言えないが, 一応外部形態から本種と同定された. 本種については必ずしも珍しい種ではないので, 今後の採集で個体数を多く集めて再度記録したいと思う.

Rutelinae スジコガネ亜科

1. *Adoretus tenumaculatus* WATERHOUSE コイチャコガネ
菅谷: 5頭, 2. V. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他
2. *Anomala cuprea* (HOPE) ドウガネブイブイ
菅谷: 1頭, 1. VIII. '87 (M. Sugita leg.); 1頭, 6. VI. '94. 他
3. *A. daimiana* HAROLD サクラコガネ
菅谷: 1頭, 16. VI. '94; 2頭, 17. VII. '95. 他
4. *A. lucens* BALLION ツヤコガネ
菅谷: 1頭, 5. VII. '94. 千手堂: 1頭, 4. VII. '96.
5. *A. puncticollis* HAROLD ハンノヒメコガネ
菅谷: 1♀, 4. VII. '94.
6. *A. rufocuprea* MOTSCHULSKY ヒメコガネ
菅谷: 1頭, 18. VIII. '87 (M. Sugita leg.); 2頭, 4. VII. '94. 他
7. *Proagopertha pubicollis* (WATERHOUSE) ナラノチャイロコガネ
千手堂: 1♀, 25. IV. '96.
わりと珍しい種である. コナラに見られる.
8. *Phyllopertha diversa* WATERHOUSE ウスチャコガネ
菅谷: 1♂, 8. V. '95.
ヒゲトハナムグリと同じ時期にほぼ同様の環境に見られる. 芝生に大発生することもあり, 日が陰るとすぐに地面に潜ってしまう.
9. *Blitopertha conspurcata* (HAROLD) カタモンコガネ
菅谷: 18頭, 17. V. '94; 18頭, 18. V. '94. 他
5月中旬の極短い時期に, ノバラの白い花に多数見られる.
- 1 0. *B. orientalis* (WATERHOUSE) セマダラコガネ
菅谷: 6頭, 14. VI. '94; 1頭, 2. VIII. '95. 他 千手堂: 1頭, 4. VII. '96.
- 1 1. *Mimela costata* (HOPE) オオスジコガネ
菅谷: 1頭, 4. V. '94. 大平山: 1頭, 13. VII. '96.
- 1 2. *M. splendens* (GYLLENHAL) コガネムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 8頭, 17. VI. '95. 他
- 1 3. *M. testaceipes* (MOTSCHULSKY) スジコガネ
菅谷: 1頭, 15. IX. '94; 2頭, 5. VII. '94. 他
- 1 4. *Popillia japonica* NEWMANN マメコガネ
菅谷: 1頭, 10. III. '94; 2頭, 12. VI. '95. 他

Valginae ヒラタハナムグリ亜科

1. *Nipponovalgus angusticollis angusticollis* (WATERHOUSE) ヒラタハナムグリ
菅谷: 3♂♂, 4. V. '93; 1♀, 30. VI. '95. 他 將軍沢: 1♂, 4. V. '96.

Trichinae トラハナムグリ亜科

1. *Lasiotrichius succinctus* (PALLAS) ヒメトラハナムグリ
菅谷: 2頭, 19. VI. '87 (M. Sugita leg.); 2頭, 15. VI. '94. 他 遠山: 1頭, 13. VII. '96.

Cetoniinae ハナムグリ亜科

1. *Eucetonia roelofsi* (HAROLD) アオハナムグリ
菅谷: 6頭, 17. V. '94; 1頭, 15. VII. '95. 他
2. *Glycyphana fulvistemma* MOTSCHULSKY クロハナムグリ
菅谷: 15頭, 17. V. '94; 1頭, 7. VII. '95. 他
3. *Oxycetonia jucunda* (FALDERMANN) コアオハナムグリ
菅谷: 19頭, 26. IX. '93; 12頭, 11. V. '95. 他
4. *Protaetia orientalis submarumorea* (BURMEISTER) シロテンハナムグリ
菅谷: 3頭, 14. VI. '94; 1頭, 30. VI. '95. 他
5. *Rhomborrhina japonica* HOPE カナブン
菅谷: 3頭, 30. VI. '95; 1頭, 15. VII. '95. 他
6. *R. polita* WATERHOUSE クロカナブン
菅谷: 1頭, 26. VIII. '93; 1頭, 29. VIII. '93. 他

前種よりは少ない。なお、最近菅谷館跡でアオカナブンも得られているが、こちらのほうがさらに少ないようである。

Dynastinae カブトムシ亜科

1. *Allomyrina dichotoma dichotoma* LINNAEUS カブトムシ
菅谷: 2♂♂, 15. VI. '94; 1♂1♀, 6. VIII. '95. 他
2. *Eophileurus chinensis chinensis* (FALDERMANN) コカブトムシ
菅谷: 1♂, 13. VI. '94; 1♀, 5. VI. '95. 他

樹液の染み出る樹洞などに見られる。力強く、生かしたまま持っかえろうとビニールの袋に入れておいたら、いつのまにか穴を空けて逃げ出していた事もある。

Ptilodactylidae ナガハナノミ科

1. *Paralichas pectinatus* (KIESENWETTER) ヒゲナガハナノミ
菅谷: 2♂♂1♀, 10. V. '95; 1♂, 16. VI. '95. 他 塩山: 8♂♂, 6. V. '95.

山沿いの湿地に見られるが、本種が生息できる湿地は昔ながらの場所である場合が多い。菅谷館跡では湧水の脇にある湿地で、塩山では近年までモウセンゴケの自生地があった谷津にて多数見受けられる。本種のような昆虫は環境指標種としてはかなり有効ではないだろうか。

Psephenidae ヒラタドロムシ科

1. *Eubrianax granicollis* LEWIS クシヒゲマルヒラタドロムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94.
湧水脇の湿地にて得られるが少ない。
2. *Mataeopsephus japonicus japonicus* (MATSUMURA) ヒラタドロムシ
菅谷: 3頭, 15. VII. '94; 1頭, 18. XI. '94(幼虫). 他 鎌形: 1頭, 10. VI. '95.
杉山: 1頭, 25. VII. '96.

成虫は夜間、光に多く集まり、なぜか水気のないところでも飛来する。幼虫は都幾川ではとても多く、日照りが続くと石の下で干からびた個体を多く見かける。

3. *Psephenoides japonicus* MASUDA マスダチビヒラタドロムシ
鎌形: 1♂, 10. VI. '95.

本種は嵐山町博物誌調査報告第3集の豊田(1998-A)で県内では初めて得られた種である。槻川では岩の水際の部分にわりと多いが、鎌形地区の都幾川(二瀬上流)ではこのような環境が無いことから、上記の1例のみである。オナガミズスマシなどと共に水中に垂れた水際の草をすくって得られた。

Buprestidae タマムシ科

Buprestinae タマムシ亜科

1. *Ovalisia vivata* (LEWIS) マスダクロホシタマムシ
菅谷: 1頭, 27. VI. '93; 1頭, 2. VI. '96(死骸). 平沢: 1頭, 30. XII. '95(死骸).

山沿いで得られている。菅谷及び平沢の死骸はスギの倒木樹皮下より得られたもので、脱出失敗した個体と思われる。

2. *Chrysochroa fulgidissima fulgidissima* (SCHONHERR) ヤマトタマムシ
菅谷: 1頭; 1. VIII. 1986; 1頭, 25. VII. '95. 他

3. *Buprestis haemorrhoidalis* HERBST クロタマムシ
菅谷: 1頭, 7. VII. '95.

Chrysobothrinae ムツボシタマムシ亜科

1. *Chrysobothris succedanea* E. SAUNDERS ムツボシタマムシ
菅谷: 2頭, 27. VI. '94.

コナラの伐採木を積み上げてある場所に飛来していた。

Agriolinae ナガタマムシ亜科

1. *Nalanda rutilicollis* (OBENBERGER) ムネアカチビナガボソタマムシ
菅谷: 1頭, 29. VII. '96.

蝶の里公園付近にてアカメガシワの葉上より得られた。

2. *Agrius asiaticus igai* Y. KUROSAWA オオウグイスナガタマムシ
菅谷: 2頭, 24. IV. '94.
3. *A. tempestivus* LEWIS ウグイスナガタマムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94; 3頭, 14. VI. '94. 他
4. *A. cyaneoniger cyaneoniger* E. SAUNDERS クロナガタマムシ
菅谷: 2頭, 14. VI. '94; 2頭, 15. VII. '94. 他
5. *A. spinipennis* LEWIS ケヤキナガタマムシ
千手堂: 1頭, 4. VII. '96.
6. *A. rotundicollis* E. SAUNDERS アサギナガタマムシ
菅谷: 1頭, 1. V. '94; 1頭, 30. VII. '94. 他
7. *A. hattorii* NAKANE ヒメアサギナガタマムシ
菅谷: 2頭, 17. V. '94; 1頭, 6. VI. '94.
8. *A. discalis* E. SAUNDERS ヒシモンナガタマムシ
菅谷: 2頭, 7. IX. '87 (M. Sugita leg.); 4頭, 9. II. '97. 他 鎌形: 1頭, 12. II. '97.
越冬個体がスギの樹皮下に多数見受けられる。春先に林縁などに多い。
9. *A. sospes* LEWIS シロテンナガタマムシ
菅谷: 2頭, 6. V. '95; 1頭, 12. VI. '95.
10. *A. tibialis* LEWIS ホソアシナガタマムシ
菅谷: 2頭, 24. IV. '94; 7頭, 17. V. '94. 他
11. *Paracylindromorphus richteri* THERY アラメホソツツタマムシ
※鎌形: 2頭, 21. VI. '96.

都幾川千騎沢橋付近の河原土手にて、枯れかけのススキの葉の隙間に見られた。この地は河川改修により環境が変わってしまったが、ススキは残っているのであるいは現在でも生息しているかもしれない。たいへん採れにくい種で県内初記録である。

Trachyinae チビタマムシ亜科

1. *Habroloma griseonigrum* (E. SAUNDERS) ハイイロヒラタチビタマムシ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 17. V. '94. 他
2. *Trachys auricollis* E. SAUNDERS クズノチビタマムシ
菅谷: 3頭, 1. V. '94; 2頭, 12. VI. '95. 他
3. *T. reitteri* OBENBERGER マメチビタマムシ
菅谷: 2頭, 3. X. '94; 1頭, 30. V. '95.
4. *T. broussonetiae* Y. KUROSAWA コウゾチビタマムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 6頭, 27. IV. '95. 將軍沢: 1頭, 4. V. '96. 他
5. *T. cupricolor* E. SAUNDERS ドウイロチビタマムシ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94.
6. *T. griseofasciata* E. SAUNDERS ナミガタチビタマムシ
菅谷: 3頭, 4. XI. '92; 1頭, 1. V. '94. 他
7. *T. inedita* E. SAUNDERS マルガタチビタマムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94.
8. *T. variolaris* E. SAUNDERS ダンダラチビタマムシ
菅谷: 1頭, 30. VII. '92; 3頭, 20. IV. '94. 遠山: 1頭, 25. IV. '96. 他
9. *T. yanoi* Y. KUROSAWA ヤノナミガタチビタマムシ
菅谷: 2頭, 18. VI. '91; 1頭, 24. IV. '94.

Eucnemidae コメツキダマシ科

1. *Hypocoelus japonicus* FLEUTIAUX ヒメコメツキダマシ
志賀: 1頭, 25. VII. '96.

本種は分類学上の問題があるが、今回は表記の種として記録しておく。

Elaterridae コメツキムシ科

Pityobiinae オオコメツキ亜科

1. *Pectocera fortunei* CANDEZE ヒゲコメツキ
菅谷: 1♀, 27. VI. '93; 1♂, 17. V. '95. 他

Pyrophotinae サビキコリ亜科

1. *Aeoloderma agnatum* (CANDEZE) マダラチビコメツキ
菅谷: 2頭, 19. V. '94; 3頭, 13. X. '94. 他
2. *Agrypnus binodulus binodulus* (MOTSCHULSKY) サビキコリ
菅谷: 2頭, 24. IV. '94; 1頭, 13. X. '94 (落葉へ付). 他
3. *A. fuliginosus* (CANDEZE) ホソサビキコリ
菅谷: 2頭, 18. V. '94; 1頭, 15. VII. '94. 他
4. *A. scrofa scrofa* (CANDEZE) ヒメサビキコリ
菅谷: 4頭, 3. IV. '93; 4頭, 19. VIII. '94 (落葉へ付). 他 鎌形: 4頭, 27. X. '95.
河原の石の下や荒れ地に多い。
5. *A. hypnicola* (KISHII) コガタヒメサビキコリ
平沢: 2♂♂, 2. VI. '95.
前種に比べやや湿った場所に生息する。谷津にある湧水湿地の水際より得られた。
6. *Lacon maeklinii* (CANDEZE) オオサビコメツキ
菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
7. *Paracalais berus* (CANDEZE) ウバタマコメツキ
菅谷: 1頭, 27. VI. '93. 平沢: 1頭, 2. VI. '95. 広野: 1頭, 1. VI. '95.

Denticollinae ベニコメツキ亜科

1. *Actenicerus pruinus* (MOTSCHULSKY) シモフリヒラタコメツキ
菅谷: 2頭, 16. IV. '95; 1頭, 8. V. '95. 他
2. *A. yamashitai* OHIRA ホソシモフリヒラタコメツキ
※将軍沢: 1頭, 4. V. '96.
3. *A. suzukii suzukii* (MIWA) チャバネシモフリヒラタコメツキ
※遠山: 2頭, 25. IV. '96.
4. *A. orientalis* (CANDEZE) ヒメシモフリヒラタコメツキ
菅谷: 1♂, 11. V. '94.
5. *Corymbitodes gratus* (LEWIS) ドウガネヒラタコメツキ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94. 鎌形: 3頭, 5. IV. '96.
6. *Gambrinus vittatus* (CANDEZE) タテジマカネコメツキ
菅谷: 2頭, 24. III. '93; 1頭, 1. V. '94. 大平山: 1頭, 24. V. '96.
7. *Hemicrepidius jactatus jactatus* (LEWIS) メダカツヤハダコメツキ
菅谷: 1頭, 28. VII. '92.
8. *H. secessus secessus* (CANDEZE) クロツヤハダコメツキ
菅谷: 5頭, 16. VI. '95; 1頭, 30. VI. '95. 他 千手堂: 1頭, 2. VI. '95.
9. *Neopristiphorus serrifer* (CANDEZE) アカヒゲヒラタコメツキ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1♂1♀, 12. V. '95. 他 千手堂: 1♀, 2. VI. '95.
10. *Selatosomus onerosus* (LEWIS) トラフコメツキ
菅谷: 2頭, 21. IV. '94.

イヌザクラの花等を集まる。嵐山町では上記の一例のみである。

Elaterrinae コメツキ亜科

1. *Ampedus hypogastricus hypogastricus* (CANDEZE) アカハラクロコメツキ
菅谷: 1頭, 18. II. '94; 1頭, 8. V. '95. 他
2. *Anchastus aquilis aquilis* CANDEZE クリイロアシブトコメツキ

菅谷: 1頭, 27. VI. '91.

3. *Dalopius exilis* KISHII ナガナカグロヒメコメツキ

菅谷: 4♂♂, 6. VI. '94.

4. *Silesis musculus musculus* CANDEZE クチブトコメツキ

菅谷: 2頭, 27. VI. '91; 1頭, 5. VII. '94.

5. *Neotrichophorus linteatus* (CANDEZE) ヒゲナガコメツキ

菅谷: 1頭, 29. IV. '95.

Agriotinae カバイロコメツキ亜科

1. *Ectinoides insignitus insignitus* (LEWIS) ヨツキボシコメツキ

根岸: 1頭, 4. V. '96.

Melanotinae クシコメツキ亜科

1. *Melanotus legatus* CANDEZE クシコメツキ

菅谷: 4頭, 10. V. '95; 1頭, 15. VII. '95. 他

2. *M. koikei* KISHII et OHIRA ヒラタクシコメツキ

菅谷: 1頭, 30. V. '95.

3. *M. annosus* CANDEZE クロツヤクシコメツキ

菅谷: 1頭, 30. VI. '95.

4. *M. legatoides* KISHII ヒメクシコメツキ

菅谷: 1頭, 17. V. '95; 1頭, 15. VI. '95.

5. *M. restrictus* CANDEZE オオクロクシコメツキ

菅谷: 1頭, 6. VI. '95.

6. *M. cete* CANDEZE アカアシオオクシコメツキ

菅谷: 1頭, 17. V. '94; 1頭, 30. V. '95.

7. *M. seniculus* CANDEZE チャパネクシコメツキ

菅谷: 4頭, 20. IV. '95; 6頭, 21. IV. '95. 他

Negatrinae ミズギワコメツキ亜科

1. *Migiwa tutus* (LEWIS) キアシミズギワコメツキ

菅谷: 2頭, 29. V. '93; 1頭, 19. V. '94.

2. *M. quadrillum* (CANDEZE) ヨツモンミズギワコメツキ

千手堂: 1頭, 2. VI. '95.

Cardiophorinae ハナコメツキ亜科

1. *Paracardiophorus opacus* (LEWIS) クロコハナコメツキ

菅谷: 3頭, 1. II. '93; 1頭, 12. VI. '95.

2. *Platynychus nothus nothus* (CANDEZE) オオハナコメツキ

菅谷: 5頭, 1. V. '94; 1頭, 16. VII. '94. 他

Troscidae ヒゲブトコメツキ科

1. *Aulonothroscus longulus* (WEISE) ナガヒゲブトコメツキ

菅谷: 1頭, 15. IX. '94(照葉リター); 1頭, 1. II. '94(照葉リター). 平沢: 1頭, 30. XII. '95.

冬季のリター採集や沢沿いのケヤキ樹皮剥がしで得られる。平沢地区では特に多いようで、最近では1本のケヤキの樹皮下にて多数越冬しているのを確認している。

Lycidae ベニボタル科

1. *Dictyoptera gorhami* (KONO) ヒシベニボタル

菅谷: 1♀, 16. IV. '95; 3♂♂1♀, 15. VI. '95. 他

2. *Lycostomus modestus* (KIESENWETTER) ベニボタル

菅谷: 3頭, 14. VI. '94; 2頭, 15. VI. '95. 他 千手堂: 1頭, 4. VII. '96.

3. *Lyponia delicatula* (KIESENWETTER) ヒメベニボタル

菅谷: 1♂, 11. V. '94; 1♂, 11. VI. '95.

4. *Platycis nasutus* KIESENWETTER テングベニボタル

菅谷: 1頭, 29. IV. '95; 2頭, 6. V. '95. 將軍沢: 2頭, 4. V. '96.

5. *Konoplatycis otome* (KONO) ムネアカテングベニボタル

菅谷: 1♀, 22. IV. '95. 大平山: 3♂♂, 21. IV. '96.

大平山ではアカマツの朽ち木周辺に徘徊する個体を採集した。

6. *Plateros coracinus* (KIESENWETTER) クロハナボタル

菅谷: 1♀, 19. VI. '95.

Lampyridae ホタル科

Pstloclocladinae クシヒゲボタル亜科

1. *Cyphonocerus ruficollis* KIESENWETTER ムネクリイロボタル

菅谷: 1頭, 16. V. '95; 1頭, 16. VI. '95. 他

5月から6月にかけて、沢沿いの湿潤な環境にて葉上に静止する個体が見られる。

Drilastinae ミナミボタル亜科

1. *Drilaster axillaris* KIESENWETTER カタモンミナミボタル

菅谷: 1頭, 27. VI. '94; 1頭, 16. VI. '95. 他

Luciolinae ホタル亜科

1. *Luciola cruciata* MOTSCHULSKY ゲンジボタル

菅谷: 1♂, 30. VI. '95 (S. Chishima leg.). 將軍沢: 4♂♂, 20. VI. '95.

根岸: 1♂, 4. VI. '86 (M. Sugita leg.); 1♂, 23. VI. '87 (M. Sugita leg.).

菅谷では館跡の堀内にわずかに残るのみである。現在ホタルの里(都幾川河川敷付近にある保護のための造成地)をより良い状態に改良する計画があるので、これからの期待したい。志賀地区には良好な状態の生息地があるが、筆者はまだ採集していないのでこの場所の標本は無い。

2. *L. lateralis* MOTSCHULSKY ヘイケボタル

菅谷: 1♂, 15. VII. '94 (他少数目撃)。根岸: 1♂, 4. VII. '86 (M. Sugita leg.).

根岸の個体群はすでに絶滅し、杉田氏の採集された標本が唯一のものとなってしまった。菅谷の個体群はやはり堀内に生息するものであるが、周辺に街灯や自販機が出来てぐんと少なくなった。町内にある他の発生地はいずれも危うい状態である。

Lampyrinae マドボタル亜科

1. *Lucidina biplagiata* (MOTSCHULSKY) オバボタル

菅谷: 1頭, 14. VI. '94. 平沢: 1頭, 2. VI. '95.

2. *Lychnuris fumosa* (GORHAM) クロマドボタル

菅谷: 2♂♂, 2. VII. '92; 1頭, 26. XII. '94 (幼虫). 他

幼虫は河川敷にて冬季採集の際、土手を掘って出てきたものである。

Cantharidae ジョウカイボン科

Cantharinae ジョウカイボン亜科

1. *Habronychus providus* (KIESENWETTER) クロヒゲナガジョウカイ

菅谷: 1頭, 18. V. '94.

2. *Themus cyanipennis* MOTSCHULSKY アオジョウカイ

菅谷: 1頭, 19. V. '94. 鎌形: 1頭, 26. V. '95. 塩山: 1頭, 5. VI. '96.

山沿いに見られるが、町内では決して多くない。

3. *Athemus suturellus* (MOTSCHULSKY) ジョウカイボン

菅谷: 1頭, 18. V. '94; 1頭, 6. VI. '95. 他 鎌形: 3頭, 6. V. '95.

4. *A. vitellinus* (KIESENWETTER) セボンジョウカイ

菅谷: 4頭, 1. V. '94; 2頭, 6. VI. '94. 他

5. *A. yato* (TAKAHASHI) ヤトセスジジョウカイ

菅谷: 2頭, 23. IV. '93; 2頭, 3. V. '94. 他

6. *Athemus insulsus* (HAROLD) ウスチャジョウカイ

菅谷: 1頭, 29. IV. '95; 1頭, 27. V. '95.

7. *Prothemus reini* KIESENWETTER ヒガシマルムネジョウカイ

菅谷: 2頭, 1. V. '94; 2頭, 17. V. '94. 他

Derodontidae マキムシモドキ科

Peltasticinae ヒラタマキムシモドキ亜科

1. *Peltastica amurensis* REITTER マキムシモドキ

菅谷: 1頭, 3.X.'94.

山地にて見られる種であるが、県内での記録は少ない。エゴノキなどを伐採後に切り株から湧き出る樹液にて得られる。菅谷の記録は低標高地のものとして貴重である。

Dermestidae カツオブシムシ科

Dermestinae カツオブシムシ亜科

1. *Dermestes coarctatus* HAROLD カトムネカツオブシムシ

菅谷: 1頭, 12.VI.'95.

都幾川の土手にてアメリカザリガニのひからびた死骸より採集した。煮干し等のトラップを用いれば今後さらに記録されるであろう。

Megatominae マダラカツオブシムシ亜科

1. *Trogoderma inclusum* LECONTE ヒメマダラカツオブシムシ

菅谷: 2頭, 17.V.'94.

Anthreninae マルカツオブシムシ亜科

1. *Anthrenus verbasci* (LINNAEUS) ヒメマルカツオブシムシ

菅谷: 1頭, 20.IV.'94; 2頭, 2.V.'94.

Ptinidae ヒョウホンムシ科

1. *Ptinus japonicus* REITTER ナガヒョウホンムシ

菅谷: 1♂, 15.IX.'95. 志賀: 1頭, 12.I.'96(古文書より死骸を採取).

Anobiidae シバンムシ科

Anobiinae シバンムシ亜科

1. *Stegobium paniceum* (LINNAEUS) ジンサンシバンムシ

菅谷: 1頭, 15.VII.'94.

筆者の自宅にて得られてものである。どうやら標本に惹かれてきたらしいが、自ら標本と化してしまった。

Xyletininae セスジシバンムシ亜科

1. *Derophtilus obscurus* SAKAI オオギシバンムシ

※菅谷: 1♂, 14.VI.'94; 1♀, 19.VI.'96.

2. *Gastrallus immarginatus* MULLER フルホンシバンムシ

※志賀: 1頭, 12.I.'96. 古里: 1頭, 20.XI.'96.

古文書の中から死骸を採取した。書籍の害虫として有名で、古文書より得られるのはほとんどがこの種類である。他にも実際に生き虫を採集している。

3. *Nicobium hirtum* (ILLIGER) ケブカシバンムシ

志賀: 1頭, 12.I.'96.

やはり古文書の中から死骸を採取した。前種に比べ幼虫の坑道が幅広い。古文書に加害するのは普通、本種に近縁のムモンケブカシバンムシであることが多い。

Bostrychidae ナガシンクイムシ科

1. *Sinoxylon japonicum* LESNE カキノフタゲナガシンクイ

菅谷: 2頭, 16.IV.'95; 2頭, 18.IV.'95.

雑木林の林縁で伐採木の細かい枝に飛来しているのを採集した。

Trogossitidae コクヌスト科

Trogossitinae コクヌスト亜科

1. *Tenebroides mauritanicus* LINNE コクヌスト

志賀: 2頭, 1.VI.'96(死骸).

古文書の隙間より死骸を採取。貯蔵穀類食害し、同時に他の害虫をも捕食する事が知られるが、古文書を食い荒らした例は他に知らない。

Peltinae マルコクヌスト亜科

1. *Ancyrona haroldi* REITTER ハロルドヒメコクヌスト

菅谷: 1頭, 4. XI. '92; 1頭, 11. II. '95. 遠山: 1頭, 27. X. '96(死骸).
根岸: 1頭, 24. IV. '96.

冬季採集でケヤキ樹皮下より良く得られる.

Melyridae ジョウカイモドキ科

Malachiinae ジョウカイモドキ亜科

1. *Dasytes japonicus* KIESENWETTE クロアオケシジョウカイモドキ

菅谷: 1♂4♀♀, 22. IV. '95; 2♂♂, 29. IV. '95.

春先にカエデ類の花に集まる.

2. *Anhomodactylus eximius* (LEWIS) コアオジョウカイモドキ

菅谷: 1♀, 11. IV. '93.

3. *Laius historio* KIESENWETTER ヒロオビジョウカイモドキ

菅谷: 1♂, 27. VI. '91; 1♀, 26. VII. '92. 他

4. *L. pellegrini* PIC キアシオビジョウカイモドキ

菅谷: 1♂, 13. X. '94; 2♀♀, 30. VI. '95. 他

5. *Malachius prolongatus* MOTSCHULSKY ツマキアオジョウカイモドキ

菅谷: 2頭, 20. IV. '94; 4頭, 10. V. '95. 他

Nitidulidae ケシキスイ科

Kateretinae ヒゲボソケシキスイ亜科

1. *Heterhelus japonicus* (REITTER) キイロチビハナケシキスイ

菅谷: 2頭, 18. IV. '94; 5頭, 20. IV. '94.

2. *H. morio* (REITTER) クロチビハナケシキスイ

菅谷: 8頭, 23. IV. '93; 1頭, 2. V. '94. 他

Carpophilinae デオケシキスイ亜科

1. *Carpophilus chalybeus* MURRAY クロハナケシキスイ

菅谷: 4頭, 20. IV. '94; 1頭, 30. VI. '95. 他

2. *C. marginellus* MOTSCHULSKY クリイロデオキシ

菅谷: 2頭, 29. V. '93.

3. *C. Lewisi* REITTER ルイスデオキノコムシ

※菅谷: 1♂, 6. I. '96.

4. *Brachypterus urticae* (FABRICIUS) コクロチビハナケシキスイ

菅谷: 1頭, 15. VI. '95.

Nitidulinae ケシキスイ亜科

1. *Aethina maculicollis* REITTER クロモンムクゲケシキスイ

菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 1頭, 26. XII. '94(照葉リター).

2. *Amphicrossus lewisi* REITTER ナガコゲチャケシキスイ

菅谷: 1頭, 14. VI. '94.

3. *Epuraea parilis* REITTER ホソキヒラタケシキスイ

菅谷: 4頭, 6. II. '94; 3頭, 6. VI. '94. 他

4. *E. mandibularis* REITTER キバナガヒラタケシキスイ

※菅谷: 1頭, 24. III. '93.

5. *E. peltax* REITTER ナミヒラタケシキスイ

菅谷: 1♀, 18. V. '94; 23頭, 21. III. '95.

6. *E. kyushuensis* SJOBERG ウスモンアカヒラタケシキスイ

菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 13頭, 28. VII. '95.

7. *E. curvipes* HISAMATSU アシマガリヒラタケシキスイ

菅谷: 1頭, 16. VII. '94.

8. *Haptoncus ocularis* (FAIRMAIRE) モンチビヒラタケシキスイ

菅谷: 1頭, 16. VII. '94.

9. *Ipidea sibirica* (REITTER) コクロヒラタケシキスイ

菅谷: 1頭, 5. V. '95; 1頭, 15. VI. '95.

10. *I. variolosa* REITTER クロヒラタケシキスイ

菅谷: 1頭, 18. V. '94; 1頭, 6. VI. '95. 他

- 1 1. *Lasiodactylus borealis* HISAMATSU ニセアカマダラケシキスイ
菅谷: 3♂♂, 16. VII. '94(落葉へ'仆); 1♂, 13. IX. '94. 他
- 1 2. *L. pictus* (MACLEAY) アカマダラケシキスイ
菅谷: 2頭, 16. VI. '94(照葉へ'仆); 3頭, 1. II. '95(照葉リター). 他
- 1 3. *Neopallodes vicinus* GROUVELLE ツヤマルケシキスイ
菅谷: 1頭, 16. VI. '94(照葉へ'仆); 1頭, 15. X. '94(照葉リター). 他
- 1 4. *N. inermis* REITTER ネアカマルケシキスイ
根岸: 1頭, 23. IV. '96.
- 1 5. *Omosita colon* (LINNAEUS) キボシヒラタケシキスイ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94; 2頭, 21. III. '95.
- 1 6. *O. discoidea* (FABRICIUS) ヘリグロヒラタケシキスイ
菅谷: 3頭, 21. III. '95.
動物の腐肉や骨に集まる.
- 1 7. *Pocadites dilatimanus* (REITTER) ウスオビカクケシキスイ
菅谷: 2頭, 19. V. '94; 3頭, 20. VI. '96. 他
- 1 8. *P. corpulentus* REITTER セダカカクケシキスイ
※菅谷: 2頭, 25. VII. '96.
- 1 9. *Pocadius nobilis* REITTER クロモンカクケシキスイ
菅谷: 3頭, 11. IX. '94.
- 2 0. *Soronia japonica* REITTER キマダラケシキスイ
菅谷: 2頭, 16. VI. '94(落葉へ'仆).
- 2 1. *S. lewisi* REITTER クロキマダラケシキスイ
菅谷: 1頭, 11. V. '94; 3頭, 6. VI. '94. 他
- 2 2. *Stelidota multiguttata* REITTER マルキマダラケシキスイ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94(照葉リター); 12頭, 15. VII. '94(照葉リター).

Mel ig e t h i n a e チビケシキスイ亜科

1. *Meligethes turbidescens* EASTON トゲナシホソチビケシキスイ
※菅谷: 1頭, 27. II. '94; 1頭, 12. III. '94.
2. *M. denticulatus honshuensis* EASTON キムネチビケシキスイ
菅谷: 1頭, 18. IV. '94; 1頭x, 20. IV. '94.
3. *M. violaceus* REITTER キベリチビケシキスイ
菅谷: 3頭, 24. IV. '94; 1頭, 26. IV. '95. 他

C r y p t a r c h i n a e オニケシキスイ亜科

1. *Cryptarcha lewisi* REITTER ルイスコオニケシキスイ
菅谷: 2頭, 25. VI. '94; 5頭, 18. VIII. '94.
2. *Librodor ipsoides* (REITTER) コヨツボシケシキスイ
菅谷: 1頭, 11. V. '94; 3頭, 28. VII. '95. 他
3. *L. japonicus* (MOTSCHULSKY) ヨツボシケシキスイ
菅谷: 5♂♂, 1. V. '94; 1♂1♀, 18. VIII. '94. 他

R h i z o p h a g i d a e ネスイムシ科

M o n o t o m i n a e デオネスイムシ亜科

1. *Europs temporis* REITTER ホソデオネスイ
※菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
2. *Mimemodes monstrosus* (REITTER) オバケデオネスイ
菅谷: 1頭, 13. X. '94; 1頭, 26. V. '95.

都幾川二瀬橋付近の枯れかけたアシの葉の隙間より得られた.

3. *Monotoma picipes* HERBST トビイロデオネスイ
菅谷: 1頭, 4. IX. '94.

P h a l a c r i d a e ヒメハナムシ科

1. *Stilbus pumilus* (HOCHUTH) チビヒメハナムシ
菅谷: 1頭, 17. VIII. '94.
2. *S. bipustulatus* CHAMPION アカボシチビヒメハナムシ

菅谷: 1頭, 9. V. '95.

Cucujidae ヒラタムシ科

Cucujinae ヒラタムシ亜科

1. *Pediacus japonicus* REITTER クロムネキカワヒラタムシ

菅谷: 1頭, 21. III. '95.

埼玉県昆虫誌に飯能市と大滝村の2例が記録されている。

2. *Uleiota arborea* (REITTER) ヒメヒラタムシ

千手堂: 1頭, 4. VII. '96.

Laemophloeinae チビヒラタムシ亜科

1. *Laemophloeus submonilis* REITTER キボシチビヒラタムシ

菅谷: 2頭, 6. VI. '95; 1頭, 11. I. '97. 他

コナラ等の伐採木で樹皮がついているようなものに多い。

2. *Cryptolestes ferrugineus* (STEPHENS) サビカクムネチビヒラタムシ

菅谷: 1頭, 20. IV. '94(落葉リター)。

3. *Xylolestes laevior* (REITTER) セマルチビヒラタムシ

菅谷: 1頭, 16. VII. '94.

Silvanidae ホソヒラタムシ科

Silvaninae ホソヒラタムシ亜科

1. *Silvanoprus inermis* (REITTER) ホソヒラタキシイ

菅谷: 1頭, 18. IV. '94; 7頭, 26. XII. '94. 他

2. *Silvanus lewisi* REITTER ヒメフタトゲホソヒラタムシ

菅谷: 1頭, 21. III. '95.

埼玉県昆虫誌には未記録の種であるが、アセス資料で鳩山町石坂より1例の記録がある。

Psammoecinae セマルヒラタムシ亜科

1. *Psammoecus triguttatus* REITTER ミツモンセマルヒラタムシ

菅谷: 4頭, 16. VII. '94; 3頭, 13. X. '94. 他

アシ原の落葉下等に普通に見られる。

Cryptophagidae キスイムシ科

Cryptophaginae キスイムシ亜科

1. *Cryptophagus callosipennis* GROUVELLE ヨツモンキシイ

菅谷: 1頭, 23. IV. '94(腐肉^ベト); 4頭, 16. VI. '94(照葉リター)。他

2. *C. cellaris* (SCOPOLI) ウスバキシイ

菅谷: 1頭, 23. IV. '94(腐肉^ベト); 2頭, 16. VIII. '94(照葉リター)。他

3. *C. decoratus* REITTER クロモンキシイ

菅谷: 3頭, 23. IV. '94(照葉^ベト); 4頭, 20. XI. '94. 他

4. *C. dilutus* REITTER ウスイロキシイ

菅谷: 1頭, 16. VIII. '94(照葉^ベト); 1頭, 15. X. '94(照葉^ベト)。他

5. *C. latangulus* REITTER ヒゲブトキシイ

※菅谷: 2頭, 23. IV. '94.

6. *C. micramboides* REITTER ノコバキシイ

菅谷: 6頭, 20. IV. '94(落葉リター); 18頭, 15. IX. '94(落葉リター)。他

Atomariinae セマルキシイムシ亜科

1. *Caenoscelis kurosai* SASAJI ヘリムネキシイ

菅谷: 1頭, 15. XI. '94(照葉リター)。

本種は東京都板橋区で得られた標本をもとに記載された種で、県内では江南町押切での記録

1例が知られるのみであった。菅谷で得られた個体は、アラカシの林床よりリター採集で得られたものである。筆者はこのほかに東松山市でも採集している。

2. *Atomaria lewisi* REITTER キイロセマルキシイ

菅谷: 1頭, 5. IX. '94.

本属の種で未同定のものが2種類得られているが今回は見送った。

Helotidae オオキシイムシ科

1. *Helota fulviventris* KOLBE ムナビロオオキシイ
菅谷: 1♂, 6. VI. '94.
2. *H. gemmata* GORHAM ヨツボシオオキシイ
菅谷: 4♂♂6♀♀, 18. VI. '91; 1♀, 19. V. '95. 他

Byturidae キスイモドキ科

1. *Byturus atricollis* REITTER ズグロキシイモドキ
菅谷: 1頭, 19. V. '94. 大平山: 2頭, 29. IV. '95.

Biphyllidae ムクゲキシイムシ科

1. *Biphyllus aequalis* (REITTER) ムナビロムクゲキシイ
※菅谷: 1頭, 30. V. '94.
2. *B. rufopictus* (WOLLASTON) ハスモンムクゲキシイ
菅谷: 2頭, 23. IV. '94(照葉へ付); 1頭, 26. XII. '94(落葉リター). 他

Languriidae コメツキモドキ科

Cryptophilinae ケナガムクゲキシイムシ亜科

1. *Cryptophilus propinquus* REITTER ヒメムクゲオオキノコ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94(落葉リター).
2. *C. hiranoi* SASAJI アカスジナガムクゲキシイ
菅谷: 1頭, 21. III. '95.

Languriinae コメツキモドキ亜科

1. *Anadastus atriceps* (CROTCH) キムネヒメコメツキモドキ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94.

Erotylidae オオキノコムシ科

Tritominae オオキノコムシ亜科

1. *Aulacochilus japonicus* CROTCH カタモンオオキノコ
菅谷: 5頭, 26. VII. '93; 2頭, 25. VII. '96. 他
2. *A. bedeli* HAROLD ルリオオキノコムシ
菅谷: 4頭, 21. VII. '96; 1頭, 26. VII. '96. 他 將軍沢: 1頭, 31. VII. '95.
カワラタケ等に集まりキノコの内部には幼虫が良く見られる.
3. *Neotriplax lewisii* (CROTCH) アカハバビロオオキノコ
菅谷: 9頭, 22. X. '93; 1頭, 9. V. '95. 他
4. *Aporotritoma consobrina* (LEWIS) アカモンチビオオキノコ
根岸: 1頭, 23. IV. '96.
5. *Triplax japonica* CROTCH ホソチビオオキノコ
菅谷: 2頭, 22. X. '93; 4頭, 2. XI. '93. 他
6. *Tritoma lewisianus* NAKANE ネアカチビオオキノコ
※菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
7. *T. niponensis* (LEWIS) クロチビオオキノコ
菅谷: 3頭, 3. VI. '93; 1頭, 26. XII. '94(照葉リター). 他 志賀: 2頭, 25. VII. '96.
8. *T. pallidicincta* (LEWIS) キベリハバビロオオキノコ
菅谷: 1頭, 27. II. '94; 4頭, 16. IV. '95. 他 根岸: 1頭, 23. IV. '96.

Dacninae ホソガタオオキノコムシ亜科

1. *Dacne japonica* CROTCH ニホンホソオオキノコ
菅谷: 1頭, 22. X. '93.
干し椎茸の害虫で, 屋内で得られることも多い.
2. *D. picta* CROTCH セモンホソオオキノコ
菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
3. *Episcapha fortunei* CROTCH ヒメオビオオキノコ
菅谷: 3頭, 17. VIII. '94; 7頭, 19. V. '95. 他
4. *Megalodacne bellula* LEWIS カタバシエグリオオキノコ

菅谷: 3頭, 25. VI. '94; 1頭, 17. VIII. '94.

Cerylonidae カクホソカタムシ科

Ceryloninae カクホソカタムシ亜科

1. *Cautomus hystriculus* SHARP ムナビロカクホソカタムシ

菅谷: 1頭, 18. II. '94; 1頭, 15. X. '94(落葉リター).

県内では江南町押切より1例が知られるのみであった。落葉下に見られる。

Corylophidae ミジンムシ科

Saciinae ヒラタミジンムシ亜科

1. *Parmulus politus* (MATTHEWS) ベニモンツヤミジンムシ

菅谷: 5頭, 24. IV. '94; 1頭, 2. V. '95. 他

Endomychidae テントウムシダマシ科

Eumorphinae オオテントウダマシ亜科

1. *Ancylopus pictus asiaticus* STROHECKER ヨツボシテントウダマシ

菅谷: 2頭, 19. V. '94; 1頭, 13. X. '94. 他

2. *Mycetina amabilis* GORHAM キボシテントウダマシ

菅谷: 1頭, 16. VI. '94(落葉ヘイト); 2頭, 21. VI. '96. 他

Endomychinae テントウダマシ亜科

1. *Endomychus gorhami gorhami* (LEWIS) ルリテントウダマシ

菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 8頭, 19. V. '95. 他

Stenotarsinae ムクゲテントウダマシ亜科

2. *Ectomychus basalis* GORHAM カタベニケブカテントウダマシ

菅谷: 1頭, 16. IV. '95.

Coccinellidae テントウムシ科

Sticholotidinae メツブテントウムシ亜科

1. *Serangium japonicum* CHAPIN クロツヤテントウ

菅谷: 1頭, 4. V. '94.

Scymninae ヒメテントウムシ亜科

1. *Nephus patagiatus* (LEWIS) セスジヒメテントウ

菅谷: 4頭, 17. VIII. '94; 2頭, 18. VIII. '94.

2. *N. yotsumon* (H. KAMIYA) ヨツモンヒメテントウ

菅谷: 1頭, 24. XII. '94; 5頭, 2. II. '95.

3. *N. phosphorus* (LEWIS) アトホシヒメテントウ

菅谷: 1頭, 6. I. '96.

普通種であるが町内ではケヤキの樹皮下より得られた越冬個体のみである。

4. *Scymnus babai* SASAJI ババヒメテントウ

菅谷: 1頭, 20. IV. '94.

都幾川河川敷のアシ原にて、アシの葉の隙間より得られた。

5. *S. hoffmanni* WEISE クロヘリヒメテントウ

菅谷: 1頭, 18. IV. '94.

6. *S. dorcatomoides* WEISE ツマアカヒメテントウ

菅谷: 2頭, 18. VIII. '94; 1頭, 26. XII. '94(落葉リター). 他

7. *S. giganteus* H. KAMIYA オニヒメテントウ

菅谷: 1頭, 18. IV. '94.

8. *S. japonicus* WEISE クロヒメテントウ

菅谷: 4頭, 18. IV. '94; 1頭, 10. V. '95. 他

9. *S. kawamurai* (OHTA) カワムラヒメテントウ

菅谷: 2頭, 17. VIII. '94; 4頭, 16. IV. '95.

10. *S. posticalis* SICARD コクロヒメテントウ

菅谷: 1頭, 18. IV. '94; 1頭, 1. V. '94. 他

- 1 1. *S. rectoides* SASAJI ニセツマアカヒメテントウ
※菅谷: 1頭, 18. VIII. '94.
- 1 2. *S. ruficeps* (OHTA) ナガヒメテントウ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
- 1 3. *Pseudoscymnus hareja* WEISE ハレヤヒメテントウ
菅谷: 1頭, 8. V. '95; 1頭, 18. IV. '96.
- 1 4. *Hyperaspis japonica* (CROTCH) フタホシテントウ
菅谷: 1頭, 28. VII. '95.

Chilocorinae クチビルテントウムシ亜科

1. *Chilocorus kuwanae* SILVESTRI ヒメアカホシテントウ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 24. XII. '94. 他
2. *Phymatosternus lewisii* (CROTCH) ヨツボシテントウ
菅谷: 2頭, 17. V. '94; 1頭, 15. VI. '95. 他

Coccidulinae ヒラタテントウムシ亜科

1. *Rodolia concolor* (LEWIS) アカイロテントウ
菅谷: 1頭, 18. VIII. '94.
2. *R. limbata* (MOTSCHULSKY) ベニヘリテントウ
菅谷: 1頭, 4. V. '94; 1頭, 29. IV. '95.

Coccinellinae テントウムシ亜科

1. *Aiolocaria hexaspilota* (HOPE) カメノコテントウ
菅谷: 1頭, 29. IV. '95; 2頭, 15. VI. '95. 他
2. *Coccinella septempunctata* LINNAEUS ナナホシテントウ
菅谷: 1頭, 27. II. '94; 1頭, 6. VI. '94. 他 鎌形: 1頭, 6. V. '95.
3. *Coccinula crotchii* (LEWIS) マクガタテントウ
菅谷: 6頭, 22. X. '93; 2頭, 14. VI. '94. 他 遠山: 1頭, 13. VII. '96.
4. *C. quatuordecimpustulata* (LINNAEUS) ジュウシホシテントウ
菅谷: 5頭, 2. II. '95; 1頭, 18. IV. '96.
5. *Oenopia hirayamai* (YUASA) ウスキホシテントウ
菅谷: 1頭, 16. IV. '95.
6. *Harmonia axyridis* (PALLAS) ナミテントウ
菅谷: 2♂♂, 14. IX. '93; 4♂♂, 20. IV. '94. 他
7. *H. yedoensis* (TAKIZAWA) クリサキテントウ
菅谷: 1♂, 14. VI. '94.

雄交尾器による以外に同定が困難である。恐らく雌雄を判別していないナミテントウの標本中にもまだ本種が紛れ込んでいるであろう。

8. *Hippodamia tredecimpunctata timberlakei* CAPRA ジュウサンホシテントウ
菅谷: 5頭, 19. V. '94. 平沢: 1頭, 10. VIII. '95.
9. *Illeis koebelei koebelei* TIMBERLAKE キイロテントウ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 27. IV. '95. 他 大平山: 1頭, 11. I. '97.
- 1 0. *Menochilus sexmaculatus* (FABRICIUS) ダンダラテントウ
菅谷: 5頭, 23. IX. '92; 2頭, 18. VIII. '94.
- 1 1. *Propylea japonica* (THUNBERG) ヒメカメノコテントウ
菅谷: 2頭, 20. IV. '94; 2頭, 19. VIII. '94. 他 将軍沢: 1頭, 16. X. '96.
- 1 2. *Vibidia duodecimguttata* (PODA) シロホシテントウ
菅谷: 1頭, 17. V. '94; 1頭, 19. XI. '94. 他
- 1 3. *Calvia quatuordecimguttata* (LINNE) シロジュウシホシテントウ
菅谷: 1頭, 16. IV. '95 (基本型); 7頭, 21. IV. '96 (6頭→基本型, 1頭→暗色型).
遠山: 1頭, 25. IV. '96 (基本型).
- 1 4. *C. muiri* TIMBERLAKE ムーアシロホシテントウ
菅谷: 1頭, 19. VI. '95; 2頭, 17. IV. '96. 遠山: 1頭, 25. IV. '96.
- 1 5. *Hyperaspis japonica* (CROTCH) フタホシテントウ
根岸: 2♀♀, 23. IV. '96.

Epilachinae マダラテントウムシ亜科

1. *Epilachna admirabilis* CROTCH トホシテントウ
菅谷: 2頭, 26. V. '95; 1頭, 12. VI. '95. 他
2. *E. vigintioctopunctata* (FABRICIUS) ニジュウヤホシテントウ
菅谷: 1頭, 29. IV. '95; 1頭, 23. VII. '95.
3. *E. vigintiotomaculata* MOTSCHULSKY オオニジュウヤホシテントウ
菅谷: 1頭, 8. V. '95; 1頭, 28. VI. '95. 他

Discolomidae ミジンムシダマシ科

1. *Aphanocephalus hemisphericus* WOLLASTON クロミジンムシダマシ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 1頭, 18. VIII. '94. 大平山: 1頭, 11. XI. '95.
2. *A. wollastoni* RYE コゲチャミジンムシダマシ
菅谷: 4頭, 16. VIII. '94(照葉リター); 4頭, 26. XII. '94(照葉リター). 他

Lathridiidae ヒメマキムシ科

1. *Corticaria ornata* REITTER クロオビケシマキムシ
菅谷: 4頭, 13. X. '94.
2. *C. japonica* REITTER ウスキケシマキムシ
菅谷: 1頭, 4. V. '94.
3. *Corticaria gibbosa* (HERBST) ウスチャケシマキムシ
菅谷: 1頭, 23. IV. '94(照葉ベイト); 1頭, 16. VIII. '94(落葉リター). 他
4. *Melanophthalma japonica* JOHNSON ヤマトケシマキムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94.
5. *Migneauxia orientalis* REITTER トフシケシマキムシ
※菅谷: 3頭, 16. VI. '94(落葉リター); 1頭, 17. VIII. '94. 他
雑木林の林床で得られる。県内におけるヒメマキムシ科の記録は全体的に調査が不十分のようである。枯れ枝のピーティングやリター採集で多くの種が得られる。
6. *Enicmus histrio* JOY et TOMLIN ヒラムネヒメマキムシ
菅谷: 1頭, 15. IX. '94(落葉リター).
7. *Stephostethus chinensis* (REITTER) ヒメマキムシ
菅谷: 1頭, 15. IX. '94(落葉リター).

Colydiidae ホソカタムシ科*Colydiinae* ホソカタムシ亜科

1. *Microprius opacus* (SHARP) ツヤケシヒメホソカタムシ
菅谷: 3頭, 4. V. '94; 4頭, 18. V. '94.
2. *Sympanotus pictus* SHARP ホソマダラホソカタムシ
遠山: 1頭, 27. X. '96.
樹皮下に生息する。遠山地区の寺山にある大シイの枯れ枝より得られた。余談であるが、このスダジイは樹齢 800年以上と言われており、近年衰弱が激しいようである。
3. *Penthelispa vilis* (SHARP) ツヤナガヒラタホソカタムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94; 5頭, 26. XII. '94. 他 平沢: 1頭, 30. XII. '95.

Mycetophagidae コキノコムシ科

1. *Litargus japonicus* REITTER コモンヒメコキノコムシ
菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
2. *Mycetophagus antennatus* REITTER ヒゲブトコキノコムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '96.

Ciidae ツツキノコムシ科

1. *Dolichocis poriae* (NAKANE et NOBUCHI) ポリアヒメツツキノコムシ
※菅谷: 1頭, 24. IV. '94.
2. *Orthocis ornatus* (REITTER) マダラツツキノコムシ
菅谷: 7頭, 24. IV. '94.
3. *Octotemnus japonicus* MIYATAKE カタキバツツキノコムシ
菅谷: 1♀, 25. VII. '96.

夜間、雑木林の林床にてカワラタケより得られた。

Melandryidae ナガクチキムシ科

Orchesiinae ニセハナノミ亜科

1. *Holostrophus orientalis* LEWIS アヤモンヒメナガクチキ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 2頭, 26. VII. '96. 他
多孔菌類に多く集まる。

Melandryinae ナガクチキムシ亜科

1. *Melandrya gloriosa* LEWIS アオバナガクチキ
千手堂: 1♂, 22. IV. '95.
2. *P. obscura* (LEWIS) ビロウドホソナガクチキ
塩山: 1頭, 24. V. '96.
3. *P. femoralis* (LEWIS) モモキホソナガクチキ
菅谷: 3頭, 29. IV. '95; 1頭, 2. V. '95. 他
5月上旬頃に、枯れたツル植物(多分フジ)に集まってくる個体が採集された。発生時期が短いようである。
4. *P. rugicollis* MARSEUL クロホソナガクチキ
菅谷: 3頭, 18. V. '94; 2頭, 14. VI. '94. 他

Mordellidae ハナノミ科

1. *Mordellina koikei* (TOKEJI) コイケヒメハナノミ
※菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
2. *Mordellistena comes* MARSEUL クロヒメハナノミ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 7頭, 18. V. '94. 他
3. *M. fuscoturalis* NOMURA セグロヒメハナノミ
※菅谷: 1頭, 16. VII. '94.
4. *Falsomordellistena satoi* NOMURA サトウヒメハナノミ
菅谷: 1頭, 19. V. '95.

埼玉県昆虫誌の中で、大滝村大滑の個体が県内では初めて記録されたが、以後豊田(1998-B)で寄居町釜伏山より記録され、この記録が3例目となる。

Synchroidea ヒラタナガクチキムシ科

1. *Synchroa melanotoides* LEWIS ヒメコメツキガタナガクチキ
菅谷: 3頭, 25. VI. '94; 1頭, 23. VII. '95. 他

Oedemeridae カミキリモドキ科

1. *Asclera nigrocyanea* LEWIS アオグロカミキリモドキ
菅谷: 1頭, 24. III. '93; 1頭, 14. VI. '94. 他
2. *Oedemerina subrobusta* NAKANE コアオカミキリモドキ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94.
3. *Oedemerona lucidicollis* (MOTSCHULSKY) モモブトカミキリモドキ
菅谷: 6♂♂1♀, 24. III. '93; 1♀, 26. IV. '95. 他
4. *Xanthochroa hilleri* HAROLD キイロカミキリモドキ
菅谷: 1♂2♀♀, 30. VI. '95; 1♂, 2. VIII. '95. 他 千手堂: 1♂, 4. VII. '96.
田んぼ脇の水路や湿地の周りの草上にて大量に発生しているのを目にする。
5. *X. luteipennis* MARSEUL キバネカミキリモドキ
菅谷: 2♂♂, 15. VI. '94; 1♂, 2. VIII. '95. 他
6. *X. waterhousei* HAROLD アオカミキリモドキ
菅谷: 2♂♂, 31. V. '92; 1♂, 11. VI. '95. 他
7. *X. caudota* KONO シリナガカミキリモドキ
菅谷: 1♂, 18. V. '94; 1♂1♀, 2. VIII. '95. 他

Pyrochroidae アカハネムシ科

Pyrochroinae アカハネムシ亜科

1. *Pseudopyrochroa brevitarsis* (LEWIS) ミゾアカハネムシ

菅谷: 1♂, 18. IV. '94; 1♂, 22. IV. '95.

菅谷館跡では春先に草原を飛翔中のものが採集された。わりと少ない種である。

2. *P. laticollis* (LEWIS) ムナビロアカハネムシ

菅谷: 3♂♂, 20. IV. '94; 1♀, 9. V. '95. 他 鎌形: 1♀, 6. V. '95.

大平山: 1♀, 25. IV. '96.

3. *P. rufula* (MOTSCHULSKY) ヒメアカハネムシ

菅谷: 1♀, 1. V. '94; 1♀, 16. IV. '95.

春先に飛翔中のものが得られる。

4. *P. vestiflua* (LEWIS) アカハネムシ

菅谷: 3♂♂, 24. III. '93; 4♂♂2♀♀, 18. IV. '95. 他

Meloidae ツチハンミョウ科

Meloinae ツチハンミョウ亜科

1. *Meloe coarctatus* MOTSCHULSKY ヒメツチハンミョウ

大平山: 1♂1♀, 10. V. '96; 1♀, 10. VII. '96(死骸).

大平山の山頂から嵐山溪谷沿いに点在する斜面の草地環境にて得られる。県内では記録が少なく、筆者は他に秩父の養山山頂付近(皆野町側)で採集したことがある。

Anthicidae アリモドキ科

Macratriinae クビボソムシ亜科

1. *Macratria japonica* HAROLD キアシクビボソムシ

菅谷: 1頭, 3. V. '93. 根岸: 2頭, 23. IV. '96.

湿地脇のケヤキ樹皮下にて越冬する個体が多数見受けられる。アシ原に多い。

Anthicinae アリモドキ亜科

1. *Anthicus baicalicus* MULSANT クロホソアリモドキ

菅谷: 1頭, 15. VII. '94.

2. *A. pilosus* MARSEUL コクロホソアリモドキ

※菅谷: 1頭, 23. VII. '94.

都幾川河原の小石が多い場所にて採集した。

3. *A. confucii confucii* MARSEUL ウスモンホソアリモドキ

菅谷: 1頭, 15. VII. '94. 鎌形: 1頭, 31. III. '96(黒色).

4. *A. fugiens* MARSEUL アカホソアリモドキ

菅谷: 1♂, 24. IV. '94(照葉リター); 2♂♂, 21. III. '95. 他

菅谷館跡では早春に雑木林の林床を飛翔する個体が得られる。また、リター採集でも得られている。雄は上翅に毛塊を持つ特異な種である。

5. *Pseudoleptaleus valgipes* (MARSEUL) ヨツボシホソアリモドキ

菅谷: 1頭, 17. VIII. '94; 16頭, 13. X. '94. 他 大蔵: 1頭, 23. IV. '96.

河川敷や雑木林周辺の草地で普通に見られる。

6. *Sapintus marseuli* PIC アカモンホソアリモドキ

菅谷: 2頭, 19. V. '95; 1頭, 15. VI. '95.

Aderidae ニセクビボソムシ科

1. *Pseudoloterus japonicus* (CHAMPION) ヤマトニセクビボソムシ

菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 15. VI. '95.

コナラのピーティングで得られた。埼玉県ではわりと珍しい種のようなのである。

Scraptiidae ハナノミダマシ科

1. *Anaspis marseuli* CSIKI クロフナガタハナノミ

菅谷: 2頭, 18. IV. '94; 4頭, 17. V. '94. 他

Salpingidae チビキカワムシ科

Lissodeminae ノコギリチビキカワムシ亜科

1. *Lissodema laevipenne* MARSEUL ツヤチビキカワムシ

菅谷: 3頭, 24. IV. '94; 2頭, 25. VI. '94. 他

日中、雑木林に積んである薪の表面を素早く動きまわっている。普通種にもかかわらず意外

と記録が少ないのは、ひじょうに小さく薪の表面を這っていても分かりにくいためであろう。

Othniinae クチキムシダマシ亜科

1. *Elacatis ocularis* (LEWIS) ヒメクチキムシダマシ

菅谷: 3頭, 24. IV. '94; 1頭, 25. VI. '94. 他

ツヤチビキカワムシとほぼ同様の状態で観察される。やはり普通種であるが記録に乏しい。

菅谷ではかえって次種の方が珍しいように感じる。

2. *E. kraatzi* (REITTER) オオクチキムシダマシ

菅谷: 14. IV. '96.

菅谷館跡内にあるクリ畑跡にて、クリの立ち枯れの樹皮下より得られた。山沿いに記録が散見される。

Lagriidae ハムシダマシ科

Lagriinae ハムシダマシ亜科

1. *Lagria rufipennis* MARSEUL ハムシダマシ

菅谷: 2♂, 6. VI. '94; 1♂, 14. VI. '94. 他

コナラなどのピーティングで得られる。

2. *L. nigricollis* HOPE ニセハムシダマシ

菅谷: 1♂, 12. VI. '95; 1♀, 30. VI. '95. 他

前種とほぼ同じような場所に見られるが、山沿いに多いような感じを受ける。また、河川敷にも多いようである。

3. *Macrolagria fujisana* LEWIS フジハムシダマシ

菅谷: 1♂1♀, 22. IV. '95; 1♂1♀, 29. IV. '95. 他

4. *M. rufobrunnea* (MARSEUL) ナガハムシダマシ

菅谷: 1頭, 10. IV. '94; 1頭, 22. IV. '95. 他

Adeliinae チビヒサゴミムシダマシ亜科

1. *Laena rotundicollis* MARSEUL チビヒサゴミムシダマシ

塩山: 1頭, 2. VIII. '96 (Kei. Matsumoto leg.).

照葉樹林などの落葉下から得られる。塩山の個体は松本慶一氏がキボシアトキリゴミムシを見つける際にスギ林の林床より採集したものである。本種は埼玉県昆虫誌には未記録であるが、アセス資料で嵐山町遠山〜平沢の記録がある。

2. *Luprops orientalis* (MOTSCHULSKY) ヒゲブトゴミムシダマシ

菅谷: 3頭, 18. V. '94; 1頭, 13. X. '94. 他

3. *L. cribrifrons* MARSEUL アラメヒゲブトゴミムシダマシ

菅谷: 1頭, 18. X. '95.

都幾川河川敷の草地より得られた。県内では戸田市の荒川河原より記録があるのみであった。

Alleculidae クチキムシ科

Alleculinae クチキムシ亜科

1. *Allecula fuliginosa* MAKLIN オオクチキムシ

菅谷: 1頭, 23. IV. '94 (照葉へい); 1頭, 5. IX. '94. 他

2. *A. melanaria* MAKLIN クチキムシ

菅谷: 1頭, 20. II. '95. 大平山: 3頭, 10. II. '93.

3. *A. simiola* LEWIS ウスイロクチキムシ

菅谷: 3頭, 6. VI. '94; 1頭, 15. VI. '95. 他

4. *Borboresstes cruralis* (MARSEUL) トビイロクチキムシ

菅谷: 1頭, 16. VII. '94.

5. *B. acicularis* MARSEUL クリイロクチキムシ

菅谷: 1頭, 7. VII. '95.

6. *Isomira oculata* (MARSEUL) フナガタナグクチキ

菅谷: 3頭, 17. VI. '95; 1頭, 2. VIII. '95. 他

7. *Hymenalia unicolor* NAKANE クロツヤバネクチキムシ

菅谷: 1頭, 16. VI. '95.

Tenebrionidae ゴミムシダマシ科

Opatrinae スナゴミムシダマシ亜科

1. *Gonocephalum coriaceum* MOTSCHULSKY コスナゴミムシダマシ
菅谷: 6頭, 17. VIII. '94; 1頭, 15. III. '95. 他
河原の石の下に普通である。ヒメサビキコリなどと共に越冬個体が多く見られる。
2. *G. japonum* MOTSCHULSKY スナゴミムシダマシ
菅谷: 5頭, 29. VIII. '93; 1頭, 4. III. '94.
3. *G. persimile* (LEWIS) ヒメスナゴミムシダマシ
菅谷: 1頭, 3. IX. '94; 1頭, 13. X. '94.
4. *G. sexuelle* (MARSEUL) ホソスナゴミムシダマシ
菅谷: 2頭, 24. III. '93.
5. *Ceropria induta* (WIEDEMANN) ナガニジゴミムシダマシ
菅谷: 1頭, 4. V. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他
6. *Diaperis lewisi lewisi* BATES モンキゴミムシダマシ
菅谷: 3頭, 25. VI. '94; 1頭, 26. VII. '96. 他
ナガニジゴミムシダマシやルリオオキノコムシなどと共に多孔菌に集まり、夜間活発に活動する。菅谷館跡では極普通に見られる。
7. *Platyedema subfascia* (WALKER) ベニモンキノコゴミムシダマシ
菅谷: 1頭, 25. VII. '96.
やはり多孔菌類に見られるが、菅谷に限らず県内ではやや少ないように感じる。
8. *P. marseuli* LEWIS アオツヤキノコゴミムシダマシ
菅谷: 1♀, 9. V. '95.
西日本に多い種である。

Leiochrinae テントウゴミムシダマシ亜科

1. *Leiochrodes convexus* LEWIS クロテントウゴミムシダマシ
菅谷: 5頭, 16. VIII. '94(照葉リター); 3頭, 15. XI. '94(照葉リター).
広葉樹林のリターに多く見られるが、条件さえよければ河川敷の草地などでも得られる。また、朽ち木の表面にはびこる菌類にも見られる。

Ulominae エグリゴミムシダマシ亜科

1. *Alphitobius diaperinus* (PANZER) ガイマイゴミムシダマシ
菅谷: 1頭, 5. VII. '94; 1頭, 4. IX. '94. 他
2. *Diaclina plagiata* (MARSEUL) ヨツモンツヤゴミムシダマシ
※菅谷: 5頭, 30. V. '92.
3. *Hypophloeus gentilis* (LEWIS) アメイロホソゴミムシダマシ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 1頭, 25. VI. '94.
樹液の染み出ている場所に頭をつつこんでいる姿をときどき目にする。
4. *Tribolium confusum* JACQUELIN du VAL ヒラタコクヌストモドキ
※菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 1頭, 25. X. '95.
5. *Uloa latimanus* KOLBE ヨツコブゴミムシダマシ
菅谷: 1♂, 10. III. '94; 1♀, 16. VIII. '94(照葉リター). 他 遠山: 1♂, 27. X. '96.
6. *U. marseuli marseuli* NAKANE エグリゴミムシダマシ
菅谷: 1♂2♀, 27. VI. '93; 1♀, 18. VIII. '94. 他 鎌形: 1♂, 5. IV. '96.
大平山: 1♂1♀, 11. I. '97.
前種とほぼ同様の朽ち木内に見られる。

Tenebrioninae ゴミムシダマシ亜科

1. *Cryphaeus duellius* (LEWIS) ヒメツノゴミムシダマシ
菅谷: 1♀, 12. VIII. '94.
2. *Encyalesthus violaceipennis* (MARSEUL) ルリゴミムシダマシ
菅谷: 3頭, 25. VI. '94; 1頭, 18. IX. '94. 他
3. *Toxicum tricornutum* WATERHOUSE ミツノゴミムシダマシ
菅谷: 1♂1♀, 17. VIII. '94; 1♀, 13. X. '94. 他 遠山: 4♂2♀, 27. X. '96.
クヌギの立ち枯れに生えるサルノコシカケにオオキノコムシ類と共に普通。
4. *Menepilus lucens* MARSEUL コツヤホソゴミムシダマシ
遠山: 1♀, 13. VII. '96.

遠山寺裏のスダジイ林より得られた。小川町と飯能市の2ヶ所で記録されている。

Cnodaloninae ニジゴミムシダマシ亜科

1. *Tetraphyllus lunuliger* MARSEUL ニジゴミムシダマシ

菅谷: 1頭, 28. IV. '95.

広葉樹の、乾燥した朽ち木の表面に見られる。

Amarygminae キマワリ亜科

1. *Elixota curva* (MARSEUL) コマルキマワリ

菅谷: 3頭, 15. VII. '94; 1頭, 11. I. '97. 他

2. *Plesiophthalmus nigrocyanus nigrocyanus* MOTSCHULSKY キマワリ

菅谷: 2頭, 16. VI. '94; 1頭, 18. VIII. '94. 他 広野: 1頭, 1. VI. '95.

3. *P. spectabilis* HAROLD クロツヤキマワリ

菅谷: 2頭, 19. VIII. '95; 1頭, 25. VII. '96.

Strongyliinae ナガキマワリ亜科

1. *Strongylium cultellatum* MAKLIN セスジナガキマワリ

菅谷: 1頭, 26. VI. '94; 1頭, 20. VIII. '96(死骸)。

Heterotarsinae スジコガシラゴミムシダマシ亜科

1. *Heterotarsus carinula* MARSEUL スジコガシラゴミムシダマシ

菅谷: 2頭, 3. X. '94; 1頭, 5. VI. '95. 他

Cerambycidae カミキリムシ科

Prioninae ノコギリカミキリ亜科

1. *Megopis sinica sinica* WHITE ウスバカミキリ

菅谷: 1♂, 18. VIII. '94; 3♂♂, 30. VII. '96. 他

夜間、樹液やクヌギ等の衰弱木に集まる。

2. *Prionus insularis insularis* MOTSCHULSKY ノコギリカミキリ

菅谷: 1♀, 23. VII. '87(M. Sugita leg.); 1♂1♀, 5. VII. '94. 他

3. *P. sejunctus* HAYASHI ニセノコギリカミキリ

広野: 1♀, 4. IX. '96(S. Inada leg.).

前種に似るが、触角や中・後脚の形態で容易に識別できる。県内では大滝村塩沢や入間市、飯能市などで記録があるが、東日本では全般的にあまり多くない種である。民家の庭にてアリに襲われていた個体得られた。

Spondylinae クロカミキリ亜科

1. *Spondylis buprestoides* LINNAEUS クロカミキリ

菅谷: 1頭, 26. VI. '94; 1頭, 3. IX. '94. 他 杉山: 1頭, 25. VII. '96.

1980年代までは菅谷付近ではかなりの数が見られ、菅谷中学校の校庭にある夜間照明には足の踏み場もないほどに本種が飛来したものである。最近でも決して見られ無くはないが、ぐんと減ってしまった。周辺にアカマツが少なくなったためであろうか。

Aseminae マルクビカミキリ亜科

1. *Arhopalus coreanus* (SHARP) サビカミキリ

菅谷: 1♂, 18. VIII. '87(M. Sugita leg.); 2♂♂, 4. IX. '94. 他

ライトトラップで時々得られるが決して多くはない種である。

Lepturinae ハナカミキリ亜科

1. *Corymbia succedanea* (LEWIS) アカハナカミキリ

菅谷: 8♀♀, 27. VI. '93; 1♀, 15. VII. '95. 他

2. *Dinoptera minuta* (GEBLER) ヒナルリハナカミキリ

菅谷: 4頭, 18. IV. '94; 1頭, 1. V. '94. 他 大平山: 3頭, 22. IV. '95; 1頭, 25. IV. '96.

3. *Lemula decipiens* BATES キバネニセハムシハナカミキリ

千手堂: 10頭, 22. IV. '95; 3頭, 27. IV. '96.

埼玉県昆虫誌では『どこでもみられると思わせる位』と述べられているが、嵐山町では槻川

沿いなどにカエデが多産するにも関わらず、本種が得られる木は限られている。また、わずかなではあるがヤナギの花などにも集まるようである。発生時期が短いため得られにくいということもあるが、割と環境を選ぶ種でなのでは無いだろうか。

4. *Leptura modicenotata* PIC ツマグロハナカミキリ
菅谷: 1♂1♀, 6.V.'95; 2♀♀, 19.V.'95. 他
5. *L. ochraceofasciata ochraceofasciata* MOTSCHULSKY ヨツスジハナカミキリ
菅谷: 1♀, 3.V.'93; 2♀♀, 11.VI.'95. 他 大平山: 2♂♂4♀♀, 15.VIII.'93.
6. *L. vicaria vicaria* (BATES) フタスジハナカミキリ
菅谷: 1♀, 25.VIII.'93.
7. *Paranaspia anaspoides* BATES ベニバハナカミキリ
菅谷: 1頭, 12.VI.'95.

菅谷地区では吉越(1994)で都幾川河川付近よりすでに記録されているが、県内の記録は数例があるのみで、嵐山町は数少ない産地となっている。この個体は栗の花をすくって得られたものである。付近に大きなウロのあるケヤキの大木があり、そこから発生しているものと思われる。

8. *Stenocorus caeruleipennis* BATES フタコブルリハナカミキリ
菅谷: 1頭, 15.VI.'95.

県内での記録は丘陵地から山岳地帯に集中しており、日高市や寄居町など地形的に嵐山町と似たような場所でも得られていることから分布は当然と思われるが、やはり個体数は少ないようである。栗の花より得られた。

Cerambycinae カミキリ亜科

1. *Aeolesthes chrysothrix chrysothrix* (BATES) キマダラミヤマカミキリ
菅谷: 1♀, 14.VI.'94; 1♀, 27.V.'95.

菅谷館跡では夜間樹液に飛来している個体をよく見かける。また、栗の花からも得られている。個体数は決して多くないようである。

2. *Massicus raddei* (BLESSIG) ミヤマカミキリ
菅谷: 1♂, 25.VII.'96; 1♂, 31.VII.'96. 他

やはり樹液に多く見られる。市街地でも街灯に飛来したりするので、意外と狭い林でも発生しているのではないだろうか。

3. *Chloridolum japonicum* HAROLD アカアシオオアオカミキリ
菅谷: 1♂, 30.VII.'96; 1♀, 31.VII.'96 (Kei. Matsumoto leg.).

金緑色の美しい種で、夜間クヌギ等の樹液に集まる。県内では平野部に記録が集中し、本種が平地の雑木林を好む種であることは明白である。県内で嵐山町は最も西でしかも山に近い産地となる。

4. *Palaeocallidium rufipenne* MOTSCHULSKY ヒメスギカミキリ
菅谷: 1♂2♀♀, 14.IV.'95; 8♂♂1♀, 8.V.'95. 他 鎌形: 2♀♀, 6.V.'95.
志賀: 1♂1♀, 11.III.'97 (T. Takahashi leg.).

早春から5月頃にかけて見られる。スギの伐採木に集まり表面を徘徊する。色彩、大きさ共に変異幅が大きくて面白い種である。

5. *Phymatodes testaceus* LINNE チャイロホソヒラタカミキリ
菅谷: 1頭, 4.V.'94 (原型); 1頭, 23.V.'95 (青色型 ver. *variabilis* LINNE).
日当たりの良いコナラ等の伐倒木に集まる。原型は全体黄褐色である。

6. *P. quadrimaculatus* GRESSITT ヨツボンチビヒラタカミキリ
菅谷: 2頭, 24.IV.'94; 1頭, 2.V.'95.

菅谷館跡ではコナラなどの枝を束ねたソダに飛来していることがある。県内では非常に記録が少ない。

7. *Chlorophorus japonicus* (CHEVROLAT) エグリトラカミキリ
菅谷: 7頭, 14.VI.'94; 1頭, 19.V.'95. 他

8. *C. annularis* (FABRICIUS) タケトラカミキリ
菅谷: 1頭, 7.VIII.'86 (M. Sugita leg.); 1頭, 4.VII.'87 (M. Sugita leg.).

県内では記録も多く普通種のようなのであるが、筆者はどうも相性が悪いと見えて、全く採集したことがない。菅谷では杉田氏がオオムラサキの森周辺で採集した2頭を検する事が出来た。

9. *Cyrtoclytus caproides* BATES キスジトラカミキリ
菅谷: 1頭, 27.VI.'93; 1頭, 6.VI.'95. 他 越畑: 20頭, 17.VI.'95.

ケヤキの伐採木や切り株によく集まる。越畑 (おっぱた) の貯木場ではこの時100頭近い個体

が3本のケヤキ大木に見られた。

10. *Demonax notabilis* (PASCOE) キイロトラカミキリ
菅谷: 14頭, 14. VI. '94; 1頭, 5. VII. '94. 他 越畑: 10頭, 17. VI. '95.
11. *Rhaphuma diminuta* (BATES) ヒメクロトラカミキリ
菅谷: 7頭, 24. IV. '95; 4頭, 7. VI. '95. 他 大平山: 1頭, 22. IV. '95.
12. *R. xenisca* BATES ホソトラカミキリ
菅谷: 7頭, 14. VI. '94; 1頭, 27. VI. '94. 他
13. *Xylotrechus chinensis* CHEVOLAT トラフカミキリ
菅谷: 7頭, 24. VII. '94; 1頭, 20. VIII. '96 (H. Sekine leg.).
かつては嵐山町にも多くの桑畑が見られたが、年を追うごとに減少している。本種が見られたのは桑畑の跡に残ったクワの巨木である。
14. *Dere thoracica* WHITE ホタルカミキリ
菅谷: 2頭, 17. V. '94; 3頭, 14. VI. '94. 他
ネムノキの伐採木に見られる。
15. *Purpuricenus temminckii* (GUERIN-MENEVILLE) ベニカミキリ
菅谷: 1♂, 22. IV. '95; 2♀, 9. V. '95. 勝田: 1♂1♀, 28. V. '96. 鎌形: 1♀, 6. V. '95.
鎌形で得られた個体は上翅に黒紋が出ている。

Lamiinae フトカミキリ亜科

1. *Mesosa hirsuta hirsuta* BATES カタシロゴマフカミキリ
菅谷: 1♂, 14. VI. '94; 1♂, 28. VI. '95. 他 千手堂: 1♂1♀, 9. IX. '88 (M. Sugita leg.).
2. *M. myops myops* (DALMAN) ゴマフカミキリ
菅谷: 2♂♂1♀, 24. IV. '94; 1♀, 16. VI. '94. 他
極普通に見られ、冬でも樹皮下や落葉下で成虫越冬している様子が観察される。
3. *M. longipennis* BATES ナガゴマフカミキリ
菅谷: 1♂, 30. VI. '95.
4. *Ropica dorsalis* SCHWARZER タイリクフタホシサビカミキリ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
5. *Microlera ptinoides* BATES ヒシカミキリ
菅谷: 1頭, 15. VI. '95; 1頭, 19. VI. '95.
6. *Niphona furcata* (BATES) ハイイロヤハズカミキリ
菅谷: 1頭, 29. V. '93; 1頭, 15. VII. '93.
河川敷などにあるシノササのスイーピングで得られる。
7. *Pteroleptia granulata* (MOTSCHULSKY) アトモンサビカミキリ
菅谷: 2頭, 19. V. '94; 1頭, 30. VI. '95. 他
8. *P. zonata* (BATES) アトジロサビカミキリ
菅谷: 1♂1♀, 25. VI. '94; 1♀, 16. VI. '94.
9. *P. jugosa* BATES ナカジロサビカミキリ
菅谷: 2♂♂1♀, 29. IV. '95; 1♀, 11. VI. '95. 他
10. *P. annulata* CHEVOLAT ワモンサビカミキリ
菅谷: 1頭, 9. V. '95. 将軍沢: 2頭, 19. VI. '96.
フジのつるを切ったあとにゴマフカミキリなどと共によく付いている。
11. *P. caudata* BATES トガリシロオビサビカミキリ
菅谷: 1♂, 2. VIII. '95.
12. *Acalolepta fraudatrix fraudatrix* (BATES) ビロウドカミキリ
菅谷: 1♂, 25. VI. '94.
13. *Anoplophora malasiaca* (THOMSON) ゴマダラカミキリ
菅谷: 1♂1♀, 23-26. VI. '87 (M. Sugita leg.); 1♀, 17. VII. '95. 他
14. *Monochamus alternatus* HOPE マツノマダラカミキリ
菅谷: 1♂, 20. VIII. '81.
害虫扱いされるわりに記録の少ない種である。丘陵地から平地にかけて見られ、夜行性であるが光に集まりにくいようである。菅谷中学校の校庭に数本生えていたアカマツのうちの一本より得られたが、このマツは現在ではすべて枯れてしまった。やはりマツノザイセンチュウによるものなのだろうか？。嵐山町ではその後記録はない。
15. *M. subfasciatus subfasciatus* (BATES) ヒメヒゲナガカミキリ
菅谷: 1♂, 14. VI. '94; 1♀, 25. VI. '94. 他

16. *Psacotheta hilaris hilaris* (PASCOE) キボシカミキリ
菅谷: 1♀, 14. IX. '93; 1♂, 28. VII. '95. 他
17. *Uraecha bimaculata* THOMSON ヤハズカミキリ
菅谷: 1♂, 30. VII. '96.
18. *Batocera lineolata* CHEVROLAT シロスジカミキリ
菅谷: 1♂, 1. VIII. '81.
本種は1980年代初頭まではクリ畑などに普通に見られたが、石蔵(1998)のなかでも指摘されているように、最近ほとんど見られなくなった種である。筆者がここ10年程のうちに本種と出会えたのは、嵐山と小川の境の路上で自動車に引かれていた個体のみである。食痕はときどき見かけるので、おそらく人目に付きにくい場所でひっそりと生活しているのであろう。
19. *Apriona japonica* THOMSON クワカミキリ
菅谷: 1頭, 1♂, 24. VIII. '95.
筆者の自宅にあったイチジクより得られた。
20. *Pogonocherus seminiveus* BATES ネジロカミキリ
菅谷: 1頭, 12. III. '94.
本種の県内での記録は秩父方面に集中していくつか見られる程度である。低標高地での記録として興味を持たれる。早春に得られていることから、あるいは平野部では気温の低い時期に発生が見られるのかも知れない。
21. *Exocentrus galloisi* MATSUSHITA ガロアケシカミキリ
菅谷: 2頭, 14. VI. '94; 2頭, 5. VII. '94. 他 千手堂: 3頭, 4. VII. '96.
22. *E. guttulatus* BATES シラオビゴマフケシカミキリ
菅谷: 1頭, 25. VI. '94; 1頭, 11. VI. '95.
23. *E. lineatus* BATES アトモンマルケシカミキリ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94.
24. *Epiglenea comes* BATES ヨツキボシカミキリ
菅谷: 1頭, 4. V. '94; 1頭, 19. VI. '95.
春から初夏にかけて得られているが、菅谷では滅多に得られない種である。
25. *Glenea relictata relictata* PASCOE シラホシカミキリ
菅谷: 1頭, 11. V. '94; 2頭, 15. VI. '95; 他
ガマズミの葉を食べている個体が普通に見られる。
26. *Nupserha marginella* (BATES) ヘリグロリングカミキリ
菅谷: 1頭, 19. V. '92; 1頭, 31. VI. '95. 他 越畑: 1頭, 1. VI. '95.
アザミ類に普通に見られ、夕刻に林縁や草地を飛び回る。蝶の里公園ではアザミを多く植えたんだ所、毎年本種が大発生するようになった。
27. *Oberea japonica* (THUNBERG) リンゴカミキリ
菅谷: 1頭, 14. VII. '94.
サクラの葉に見られるが菅谷ではあまり得られていない。最近になり嵐山町中部から北部地域では普通に見られることがわかってきた。
28. *O. hebesceus* BATES ヒメリンゴカミキリ
塩山: 1頭, 24. V. '96.
29. *Phytoecia rufiventris* GAUTIER キクスイカミキリ
菅谷: 2頭, 9. V. '95; 1頭, 23. VI. '95. 他

Chrysomelidae ハムシ科

Bruchinae マメゾウムシ亜科

1. *Callosobruchus chinensis* (LINNAEUS) アズキマメゾウムシ
菅谷: 1頭, 22. X. '93.
小豆の害虫であるが野外で得られることは少ない。ヒメジョオンより採集。
2. *Bruchidius dorsalis* FAHRAEUS サイカチマメゾウムシ
菅谷: 1頭, 22. IV. '95.

Donaciinae ネクイハムシ亜科

1. *Plateumaris sericea* LINNAEUS スゲハムシ
塩山: 10頭, 25. V. '95; 20頭, 23. V. '96. 他

所沢市や秩父方面の高標高地にて記録があるが、周辺地域では嵐山町平沢に1ヶ所確認されているのみである。恐らく比企地域で最良の産地と思われる。かつてはモウセンゴケやムシト

リスミレなど5種類もの食虫植物が見られた湿原も、今は溜め池の周辺にスゲ植生をわずかに残すのみで危険な状態である。これらのスゲの花が咲く時期に本種が多く見られる。赤、青、金、黒と4パターン金属光沢をもつ個体群で、特に黒が多く見られることは珍しいようである。

Criocerinae クビボソハムシ亜科

1. *Crioceris quatuordecimpunctata* (SCÖPOLI) ジュウシホシクビナガハムシ
菅谷: 1頭, 19. V. '94. 鎌形: 17頭, 6. V. '95.
いずれも畑のアスパラガスに発生していたものである。鎌形では特に多く、小学校周辺の畑だけでもかなりの数が発生している。
2. *Lema decempunctata* GEBLER トホシクビボソハムシ
菅谷: 6頭, 2. VII. '92; 10頭, 22. IX. '92. 他 鎌形: 1頭, 26. V. '95.
3. *L. adamsii* BALY キベリクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 5. VII. '94. 他 鎌形: 1頭, 26. V. '95.
根岸: 1頭, 25. VII. '96.
4. *L. concinnipennis* BALY キバラルリクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 25. VI. '93.
5. *L. delicatula* BALY キオビクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 25. VI. '93.
6. *L. diversa* BALY アカクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 13. VI. '92; 2頭, 3. IX. '94. 他
7. *L. honorata* BALY ヤマイモハムシ
菅谷: 2頭, 14. VI. '91; 1頭, 25. VIII. '92. 他
8. *L. scutellaris* (KRAATZ) セアカクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 5. VII. '94.
9. *L. coronata* BALY トゲアシクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 16. VII. '96. 將軍沢: 1頭, 19. VI. '96.
10. *Liloceris rugata* (BALY) キイロクビナガハムシ
菅谷: 4頭, 29. IV. '95; 1頭, 15. VI. '95. 他
11. *Oulema dilutipes* (FAIRMAIRE) アワクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 14. VII. '94; 1頭, 14. VI. '92.
12. *O. tristis* (HERBST) キアシクビボソハムシ
菅谷: 1頭, 26. IV. '95.

Clytrinae ナガツツハムシ亜科

1. *Smaragdina semiaurantiaca* (FAIRMAIRE) ムナキルリハムシ
菅谷: 4頭, 24. IV. '94; 1頭, 18. V. '94. 他 根岸: 1頭, 24. IV. '96.
2. *S. nipponensis* (CHUJO) キイロナガツツハムシ
菅谷: 4頭, 1. V. '94; 1頭, 6. VI. '94. 他

Cryptocephalinae ツツハムシ亜科

1. *Adiscus lewisii* (BALY) タマツツハムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 15. VI. '95.
2. *Cryptocephalus approximatus* BALY バラルリツツハムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 1頭, 6. VI. '94. 他
3. *C. fortunatus* BALY キアシルリツツハムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 2頭, 18. V. '94. 他
4. *C. scitulus* BALY カシワツツハムシ
菅谷: 3頭, 27. VI. '91.
5. *C. signaticeps* BALY クロボシツツハムシ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 25. IV. '95. 他
6. *C. instabilis* BALY コヤツボシツツハムシ
菅谷: 1頭, 16. IV. '95.
7. *C. nobilis* KRAATZ ヨツモンクロツツハムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '95.

あまり多くない種である。コナラのスウィーピング等で得られる。

8. *Pachybrachis eruditus* (BALY) ハギツツハムシ
菅谷: 3頭, 25. VI. '93; 1頭, 25. VII. '96.

Chlamisinae コブハムシ亜科

1. *Chlamisus spilotus* (BALY) ムシクソハムシ
菅谷: 1頭, 24. III. '93; 2頭, 4. V. '93. 他

Lamprosomatinae ツヤハムシ亜科

1. *Oomorphoides cupreatus* (BALY) ドウガネツヤハムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他

Eumolpinae サルハムシ亜科

1. *Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii* (MOTSCHULSKY) アカガネサルハムシ
菅谷: 2頭, 19. VI. '87 (M. Sugita leg.); 1頭, 16. V. '95. 他 志賀: 1頭, 25. VII. '96.
2. *Basilepta fulvipes* (MOTSCHULSKY) アオバネサルハムシ
菅谷: 2頭, 6. VI. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他
3. *Colasposoma dauricum* MANNERHEIM イモサルハムシ
菅谷: 1頭, 3. V. '93; 3頭, 7. VII. '95. 他
4. *Demotina decorata* BALY チビカサハラハムシ
菅谷: 1頭, 4. V. '93.
5. *D. fasciculata* BALY マダラアラゲハムシ
菅谷: 5頭, 20. IV. '94; 1頭, 17. V. '94. 他
6. *D. modesta* BALY カサハラハムシ
菅谷: 2頭, 17. V. '94; 3頭, 18. VIII. '94. 他
7. *Lypesthes ater* (MOTSCHULSKY) コフキサルハムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94; 5頭, 12. V. '95. 他
リンゴヤクリなどの害虫として有名だが、菅谷館跡ではよくエゴノキに見られる。
8. *L. japonicus* OHNO ニホンケブカサルハムシ
菅谷: 1頭, 26. IV. '95. 遠山: 1頭, 25. IV. '96.
9. *Pagria signata* (MOTSCHULSKY) ヒメキバネサルハムシ
菅谷: 1頭, 17. VIII. '94.
10. *Scelodonta lewisii* BALY ドウガネサルハムシ
菅谷: 2頭, 25. VI. '93.
11. *Trichochrysea japana japana* (MOTSCHULSKY) トビサルハムシ
菅谷: 1頭, 23. IV. '93; 1頭, 1. V. '94. 他

Chrysomelinae ハムシ亜科

1. *Plagioderma versicolora* (LAICHARTING) ヤナギルリハムシ
菅谷: 9頭, 19. VI. '87 (M. Sugita leg.); 1頭, 24. VIII. '94. 他 鎌形: 9頭, 6. V. '95.
2. *Chrysolina aurichalcea* (MANNERHEIM) ヨモギハムシ
菅谷: 3頭, 18. V. '94; 2頭, 29. IX. '94. 他
3. *C. exanthematica* (WIEDEMANN) ハッカハムシ
菅谷: 1頭, 15. IX. '93; 1頭, 16. IV. '95. 他 志賀: 1頭, 20. IX. '94.
4. *Gastrophysa atrocyanea* MOTSCHULSKY コガタルリハムシ
菅谷: 5頭, 24. III. '93; 1頭, 6. VI. '94. 他
5. *Gastrolinoides japonica* (HAROLD) ズグロキハムシ
根岸: 1♂1♀, 24. IV. '94.

県内では武甲山周辺2ヶ所と両神山周辺2ヶ所の計4ヶ所でしか記録がない。奥秩父ではイヌシデやイヌブナ、ブナなどの新芽に普通で、わりと標高の高い場所に多く見受けられる種である。根岸地区から東松山市岩殿にかけての丘陵地帯には標高50mに満たない場所で山地性の植物が多く見受けられることから、それに付随して昆虫類も山地性の種が多く見られるといった傾向がある。本種もそうした種のひとつであろう。ちなみにこの個体はイヌシデの新芽より得られた。

6. *Goniocetena nigroplagiata* BALY ヤツボシハムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94; 1頭, 17. V. '95 (無紋型); 1頭, 15. VI. '95 (黒色型). 他

斑紋変異に富み、全くの無紋から紋が発達して真っ黒になってしまった個体まで見受けられ

る。サクラの葉に見られる。

7. *G. rubripennis* BALY フジハムシ

菅谷: 3頭, 23. IV. '93; 1頭, 14. VI. '94. 他

Galerucinae ヒゲナガハムシ亜科

1. *Agelastica coerulea* BALY ハンノキハムシ

菅谷: 1頭, 23. IV. '93; 3頭, 28. IV. '95.

普通種であるが、菅谷地区ではハンノキが極めて少ないことからほとんど見られなかった。

菅谷館跡の掘りに残る3本のハンノキの巨木より得られていたが、蝶の里公園の整備に伴って植栽されたハンノキに発生し始め、以後発生を繰り返している。なお、新たに植栽されたものより発生した個体は移入の可能性も大きいものと思われる。

2. *Atrachya menetriesi* (FALDERMANN) ウリハムシモドキ

菅谷: 1頭, 14. VI. '94; 1頭, 19. VI. '95. 他

3. *Aulacophora femoralis* (MOTSCHULSKY) ウリハムシ

菅谷: 1頭, 6. VII. '87 (M. Sugita leg.); 2頭, 20. IV. '94. 他

4. *A. nigripennis* MOTSCHULSKY クロウリハムシ

菅谷: 4頭, 19. IV. '94; 2頭, 18. VIII. '94. 他 根岸: 2頭, 23. IV. '96.

5. *Calomicrus cyaneus* (JACOBY) ハラグロヒメハムシ

菅谷: 1頭, 1. V. '94.

6. *Exosoma flaviventre* (MOTSCHULSKY) キバラヒメハムシ

菅谷: 1♂, 3. V. '93; 1♂3♀♀, 2. VIII. '95. 他

7. *Fleutiauxia armata* (BALY) クワハムシ

菅谷: 2頭, 24. VI. '94; 1頭, 17. VI. '94. 他

8. *Arthrotus niger* MOTSCHULSKY ムナグロツヤハムシ

菅谷: 1頭, 30. V. '95 (赤色). 大平山: 3頭, 29. IV. '95 (赤2, 胸黒1).

塩山: 1頭, 5. VI. '96 (黒色). 將軍沢: 1頭, 19. VI. '96 (赤色).

9. *Gallerucida bifasciata* MOTSCHULSKY イタドリハムシ

菅谷: 3頭, 24. III. '93; 1頭, 18. VI. '94. 他 大平山: 1頭, 29. IV. '95.

鎌形: 1頭, 5. IV. '96.

10. *Luperus moorii* BALY クロウスバハムシ

菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 14. VI. '94. 他

11. *Medythia nigrobilineata* (MOTSCHULSKY) フタスジヒメハムシ

菅谷: 1頭, 1. V. '94; 1頭, 13. X. '94. 鎌形: 1頭, 6. IV. '96.

湿地等に多く見られる。

12. *Monolepta dichroa* HAROLD ホタルハムシ

菅谷: 1頭, 21. IV. '94; 1頭, 11. IX. '94. 他 鎌形: 1頭, 27. X. '95.

13. *Paridea angulicollis* (MOTSCHULSKY) アトボシハムシ

菅谷: 2頭, 21. IV. '94; 2頭, 15. VI. '95. 他

14. *P. quadriplagiata* (BALY) ヨツボシハムシ

菅谷: 2頭, 30. XII. '93; 1頭, 18. V. '94. 他

15. *Pyrrhalta semifulva* (JACOBY) アカタデハムシ

菅谷: 4頭, 11. IV. '93; 1頭, 2. VIII. '95. 他

16. *P. tibialis* (BALY) エノキハムシ

菅谷: 1頭, 8. VII. '92.

17. *P. humeralis* (CHEN) サンゴジュハムシ

菅谷: 1頭, 2. VIII. '86 (M. Sugita leg.). 塩山: 1頭, 2. VIII. '96.

18. *P. annulicornis* (BALY) ブチヒゲケブカハムシ

菅谷: 1頭, 16. VI. '95. 根岸: 1頭, 25. VII. '96.

塩山の登山道脇に生えるガマズミより得られた。

19. *P. seminigra* (JACOBY) カエデハムシ

菅谷: 8頭, 16. IV. '95; 1頭, 6. V. '95. 他

20. *Stenoluperus nipponensis* (LABOISSIERE) ヒゲナガウスバハムシ

菅谷: 1頭, 4. V. '94.

Alticinae ノミハムシ亜科

1. *Altica viridicyanea* (BALY) コカミナリハムシ

- 菅谷: 1♂, 17. VIII. '94.
2. *Aphthona perminuta* BALY ツブノミハムシ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 3頭, 2. V. '94. 他
3. *A. strigosa* BALY サメハダツブノミハムシ
菅谷: 1頭, 3. IV. '93; 1頭, 20. IV. '94. 他
4. *Aphthona angustata* (BALY) ホソリトビハムシ
菅谷: 1頭, 17. V. '94. 根岸: 2頭, 4. VI. '96.
アケビの新芽に見られる.
5. *Chaetocnema bicolorata* KIMOTO フタイロヒサゴトビハムシ
菅谷: 1頭, 17. VIII. '94.
6. *C. ingenua* (BALY) ヒサゴトビハムシ
菅谷: 1頭, 17. VIII. '94.
7. *Crepidodera japonica* BALY ミドリトビハムシ
菅谷: 1頭, 17. V. '94.
8. *Liprus punctatostriatus* MOTSCHULSKY ナガトビハムシ
菅谷: 2頭, 17. V. '94. 根岸: 5頭, 23. IV. '96. 大平山: 2頭, 25. IV. '96.
ギボウシの葉の付け根あたりに良く見られる. 色彩は橙色から黒色まで様々であるが, これは成熟の度合いによるもののようである.
9. *Longitarsus succineus* (FOUDRAS) ヨモギトビハムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他
10. *L. holsaticus* (LINNAEUS) イヌノフグリトビハムシ
菅谷: 1頭, 16. VI. '94.
溜め池の土手や日当たりの良い草地にあるイヌノフグリに多く見られる.
11. *Luperomorpha funesta* (BALY) クワノミハムシ
菅谷: 1頭, 3. IX. '94.
12. *Lythraria salicariae* (PAYKULL) トラノオトビハムシ
菅谷: 1頭, 18. VIII. '94.
13. *Argopus punctipennis* MOTSCHULSKY アカイロマルノミハムシ
菅谷: 1頭, 30. V. '95.
14. *Argopistes biplagiata* MOTSCHULSKY テントウノミハムシ
菅谷: 1頭, 16. IV. '95. 志賀: 1頭, 25. VII. '96.
スギ林の林床や人家の庭先にあるヒイラギの新芽に極普通に見られる.
15. *Sphaeroderma nigricolle* JACOBY アカバナタマノミハムシ
菅谷: 1頭, 28. IV. '95.
16. *Nonarthra cyanea* BALY ルリマルノミハムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 1頭, 13. X. '94. 他
17. *N. tibialis* JACOBY コマルノミハムシ
菅谷: 2頭, 10. IV. '94; 2頭, 2. VIII. '95. 他
18. *Orthocrepis adamsii* (BALY) ヒメトビハムシ
菅谷: 4頭, 24. XII. '94 (他多数目撃).
19. *Philopona vibex* (ERICHSON) タマアシトビハムシ
菅谷: 1頭, 3. IX. '94; 1頭, 3. X. '94. 他 将軍沢: 3頭, 16. X. '96.
斑紋は変異があるが, 嵐山町で得られるのは胸赤に上翅が黒色のタイプのみである.
20. *Phygasia fulvipennis* (BALY) チャバネツヤハムシ
菅谷: 4頭, 26. IV. '95; 1頭, 8. V. '95. 他
21. *Sangariola punctatastriata* MOTSCHULSKY カタクリハムシ
菅谷: 1頭, 22. IV. '96. 将軍沢: 3頭, 4. V. '96. 塩山: 1頭, 24. V. '96.
ホトトギスに付いている個体が見受けられる. 将軍沢の個体はカタクリより得られたものである. サルトリイバラやウバユリにも付くようである.
22. *Psylliodes bretinghami* BALY ルリナガスネトビハムシ
菅谷: 1頭, 29. IX. '94.
23. *P. angusticollis* BALY ナスナガスネトビハムシ
菅谷: 1頭, 2. XII. '94.
24. *Zipanginia obscura* (JACOBY) ガマズミトビハムシ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94.
25. *Phyllotreta striolata* (FABRICIUS) キスジノミハムシ

菅谷: 2頭, 1. VIII. '95.

Hispinæ トゲハムシ亜科

1. *Dactylispa angulosa* (SOLSKY) ヒメキベリトゲハムシ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 17. V. '94. 他
2. *D. subquadrata* (BALY) カタバロトゲハムシ
菅谷: 1頭, 6. VIII. '92; 1頭, 18. IV. '96. 他

Cassidinae カメノコハムシ亜科

1. *Aspidomorpha indica* BOHEMAN ジンガサハムシ
菅谷: 1頭, 23. IX. '92; 2頭, 23. IV. '93. 他
2. *Cassida nebulosa* LINNAEUS カメノコハムシ
菅谷: 2頭, 16. VII. '92; 1頭, 6. VI. '95.
3. *C. piperata* HOPE ヒメカメノコハムシ
菅谷: 1頭, 2. VII. '92; 1頭, 23. IV. '93. 他
4. *C. versicolor* (BOHEMAN) セモンジンガサハムシ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他
5. *Thlaspidia cribrata* (BOHEMAN) イチモンジカメノコハムシ
菅谷: 2頭, 21. IV. '94; 1頭, 18. V. '94. 他

Anthribidae ヒゲナガゾウムシ科

Anthribinae ヒゲナガゾウムシ亜科

1. *Opanthribus tessellatus* (BOHEMAN) マダラヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 15. VII. '94; 1頭, 25. VI. '94. 越畑: 1頭, 19. VI. '95.
 2. *Euparius oculatus* (SHARP) キノコヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 5. VII. '94; 2頭, 25. VII. '96 (内1個体は黒色型).
 3. *Phloeobius gibbosus* ROELOFS セマルヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1♂, 29. IV. '95.
 4. *Platystomos sellatus* (ROELOFS) シロヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1♂4♀, 6. VI. '95; 1♂, 11. VI. '95. 千手堂: 1♂, 9. IX. '88 (M. Sugita leg.).
 5. *Litocerus securus* (BOHEMAN) アカミヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94.
- 本種は埼玉県昆虫誌には記録がないが, アセス資料で鳩山町熊井より記録されている.
6. *Sphinctotropis laxus* (SHARP) カオジロヒゲナガゾウムシ
菅谷: 10頭, 24. IV. '94; 3頭, 30. VI. '95. 他
 7. *Autotropis distinguenda* (SHARP) スネアカヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 9. V. '95; 6頭, 11. VI. '95. 他
 8. *Exechesops leucopsis* (JORDAN) エゴヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1♂, 16. VII. '92; 1♂, 30. VII. '95. 他
 9. *Rhaphitropis guttifer guttifer* (SHARP) コモンヒメヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94.
 10. *Aphaulimia debilis* (SHARP) キスジヒゲナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 6. VI. '95.

Attelabidae オトシブミ科

Attelabinae オトシブミ亜科

1. *Apoderus erythrogaster* SNELLEN van Vollenhoven ヒメクロオトシブミ
菅谷: 3頭, 20. IV. '94; 1頭, 18. IX. '94. 他
 2. *Cynotrachelus roelofsi* (HAROLD) エゴツルクビオトシブミ
菅谷: 1♂, 15. VII. '94.
 3. *Paracentrocorynus nigricollis* (ROELOFS) アカクビナガオトシブミ
菅谷: 1♂, 29. VII. '96.
 4. *Phymatopoderus pavens* VOSS ヒメコブオトシブミ
大平山: 2頭, 12. VI. '95. 志賀: 1頭, 25. VII. '96.
- 町内では山沿いでのみ, カラムシの葉上に見られる. .
5. *Euops konoii* SAWADA et MORIMOTO ナラルリオトシブミ

菅谷: 2頭, 20. IV. '94.

6. *E. splendidus* VOSS カシルリオトシブミ
菅谷: 2♂2♀, 21. IV. '94; 1♂1♀, 16. VII. '94. 他
7. *E. polita* (ROELOFS) ケシルリオトシブミ
菅谷: 1♀, 27. IV. '95.

県内では藤多(1995)の飯能市長沢での記録が唯一であった。コナラより採集。

Rhynchitidae チョッキリゾウムシ科

1. *Auletobius uniformis* (ROELOFS) クロケシツブチョッキリ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94; 1頭, 14. VI. '94. 他
2. *Byctiscus lacunipennis* (JEKEL) ブドウハマキチョッキリ
菅谷: 2頭, 17. V. '94; 1頭, 18. VIII. '94. 他
菅谷から千手堂にかけてのノブドウが多い場所に普通である。
3. *B. puberulus* (MOTSCHULSKY) ドロハマキチョッキリ
遠山: 1頭, 25. IV. '96.
遠山地区では遠山寺裏のイタヤカエデの新芽より得られた。
4. *B. fausti* SHARP ファウストハマキチョッキリ
菅谷: 1頭, 17. IV. '96.
カエデ類やサクラ等の新芽を束ねて巻く。菅谷館跡ではカエデの新芽より得られた。
5. *Aderorhinus crioceroides* (ROELOFS) チャイロチョッキリ
菅谷: 10頭, 14. VI. '94; 5頭, 5. VII. '94. 他
6. *Notocyrtus assimilis* (ROELOFS) カシルリチョッキリ
菅谷: 2頭, 20. IV. '94.
7. *Involvulus pilosus* (ROELOFS) ヒメケブカチョッキリ
菅谷: 8頭, 30. V. '92; 1頭, 25. XII. '92. 他
8. *I. placidus* (SHARP) グミチョッキリ
菅谷: 30頭, 20. IV. '94; 3頭, 16. IV. '95. 他
菅谷館跡では散策路沿いに植栽されたグミに発生している。
9. *I. plumbeus* (ROELOFS) クチナガチョッキリ
菅谷: 1頭, 4. VII. '96; 1頭, 13. VII. '96.
ツツジの新芽につく。散策路沿いのツツジをスワイプして得られた。
10. *I. cylindricollis* (SCHILSKY) ツツムネチョッキリ
菅谷: 2頭, 27. IV. '95.
ウメチョッキリは本種のシノニムとされる。小指の先ほどもないウメの若い実につき、穴を開けているのを見かける。菅谷館跡内にあるウメの木にて毎年見られる。
11. *Mechoris ursulus* (ROELOFS) ハイイロチョッキリ
菅谷: 20頭, 5. VII. '94; 1頭, 2. VIII. '95. 他
12. *Deporaus minimus* KONO チビイクビチョッキリ
菅谷: 2頭, 24. IV. '94.
13. *Chonostropheus chujoi* VOSS マルムネチョッキリ
菅谷: 5頭, 21. IV. '96.
菅谷館跡内に植えられたカツラで、新芽を切って巻いているのが見られる。
14. *Chokkirius truncatus* SHARP シリプトチョッキリ
遠山: 2頭, 25. IV. '96.

Apionidae ホソクチゾウムシ科

Apioninae ホソクチゾウムシ亜科

1. *Apion semisericeum* WAGNER コゲチャホソクチゾウムシ
菅谷: 1頭, 24. IV. '94.
2. *A. collare* SCHILSKY マメホソクチゾウムシ
菅谷: 1頭, 3. IV. '93.
3. *A. pallidirostre* ROELOFS アカクチホソクチゾウムシ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94; 1頭, 26. IV. '95.
4. *A. griseopubescens* ROELOFS ケブカホソクチゾウムシ
菅谷: 1頭, 11. IV. '93; 1頭, 18. VIII. '94.
5. *A. hilleri* SCHILSKY ヒレルホソクチゾウムシ

菅谷: 5頭, 11. IV. '93; 1頭, 21. IV. '96.

6. *A. praecarium* FAUST ヒメケブカホソクチゾウムシ

菅谷: 2頭, 3. V. '93; 3頭, 18. V. '94.

7. *A. japonicum* ROELOFS アザミホソクチゾウムシ

菅谷: 19頭, 27. IV. '95.

アザミの葉に多数の個体が見られる。県内では意外に記録が少ない。

8. *A. placidum* FAUST ヒゲナガホソクチゾウムシ

菅谷: 1頭, 29. IV. '95.

Curculionidae ゾウムシ科

Otiorynchinae クチブトゾウムシ亜科

1. *Phyllobius incompus* SHARP ツチイロヒゲボソゾウムシ

菅谷: 2頭, 20. IV. '94; 2頭, 17. V. '94. 他

2. *P. intrusus* KONO ヒラズネヒゲボソゾウムシ

菅谷: 1頭, 30. V. '92.

3. *Hyperstylus pallipes* ROELOFS チビアオゾウムシ

※菅谷: 2頭, 17. VI. '94.

歴史資料館駐車場脇のコナラより得られたが、以後再三にわたるコナラのピーティングでも採集できない。

4. *Macrocorynus elegantulus* ROELOFS ウスアオクチブトゾウムシ

菅谷: 1頭, 18. VII. '92.

5. *M. variabilis* (ROELOFS) オオクチブトゾウムシ

菅谷: 3頭, 16. VII. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他

6. *Myllocerus nigromaculatus* ROELOFS クロホシクチブトゾウムシ

菅谷: 1頭, 16. VII. '94; 1頭, 2. VIII. '95. 他

コナラの葉上に見られるが極めて少ない。

7. *M. griseus* ROELOFS カシワクチブトゾウムシ

菅谷: 4頭, 18. VII. '92; 4頭, 18. IV. '94. 他

8. *M. nipponensis* ZUMPT ツンブトクチブトゾウムシ

菅谷: 5頭, 20. IV. '94; 1頭, 16. VI. '94. 他

9. *Oedophrys hilleri* (FAUST) ヒレルクチブトゾウムシ

菅谷: 3頭, 18. IV. '94; 2頭, 15. VII. '94. 他

10. *Anosimus decoratus* ROELOFS トゲアシゾウムシ

菅谷: 1頭, 30. VI. '91.

11. *Arrhaphogaster pilosa* ROELOFS ケブカヒメカタゾウムシ

※菅谷: 1♂1♀, 2. V. '94; 2♀♀, 16. VI. '94(落葉へ付). 他

12. *Episomus turritus* (GYLLENHAL) シロコブゾウムシ

菅谷: 1♀, 18. V. '94; 1♂1♀, 14. VI. '94. 他

ハギの茎に普通に見られる。菅谷館跡では散策路脇に植えてあるハギに多い。

13. *Dermatoxenus caesicollis* (GYLLENHAL) ヒメシロコブゾウムシ

菅谷: 1♀, 30. V. '92.

14. *Pseudocneorhinus bifasciatus* ROELOFS スグリゾウムシ

菅谷: 3頭, 2. V. '94; 1頭, 14. VI. '94. 他

15. *P. obesus* ROELOFS カキノウムシ

菅谷: 1頭, 27. VI. '91.

16. *Scepticus griseus* ROELOFS サビヒョウタンゾウムシ

菅谷: 1頭, 3. X. '94.

Sitoninae チビコフキノウムシ亜科

1. *Eugnathus distinctus* ROELOFS コフキノウムシ

菅谷: 2頭, 14. VI. '94; 1頭, 13. IX. '94. 他

2. *Sitona hispidulus* (FABRICIUS) ケチビコフキノウムシ

菅谷: 1頭, 1. XI. '92.

Hyperinae タコゾウムシ亜科

1. *Listroderes costirostris* SCHOENHERR ヤサイゾウムシ

菅谷: 1頭, 19.V.'94; 2頭, 3.IX.'94. 他

河原の石下や荒地地の草の根元などに多い。都幾川河川敷では極普通に見られる。

2. *Hypera basalis* (Voss) ハコベタコゾウムシ
菅谷: 1頭, 18.VII.'92. 根岸: 1頭, 26.I.'96.

Cleoninae カツオゾウムシ亜科

1. *Lixus acutipennis* (ROELOFS) ハスジカツオゾウムシ
菅谷: 2頭, 2.VII.'92; 1頭, 23.IX.'92. 他
2. *L. impressiventris* ROELOFS カツオゾウムシ
菅谷: 1頭, 24.V.'95.
3. *L. maculatus* ROELOFS アイノカツオゾウムシ
菅谷: 1頭, 29.V.'93; 1頭, 13.VIII.'93.

都幾川河川敷のヨモギが群生する場所にて多くのハスジカツオゾウムシと共に得られた。個体数が少ないのであろうか、採集しにくい種である。

Mecysolobinae アシナガゾウムシ亜科

1. *Mecysolobus piceus* (ROELOFS) カシアシナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 7.IX.'87 (M. Sugita leg.); 1頭, 24.IV.'94. 他
2. *M. erro* (PASCOE) ホホジロアシナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 3.VI.'95; 1頭, 20.VI.'96. 塩山: 2頭, 24.V.'96.
ヌルデの新芽に見られ、茎部を切って産卵する。塩山の稜線付近にて多数の個体が見られ、スギ林の林縁に生えるヌルデの若木で新芽を加害していた。
3. *Mesalcidodes trifidus* (PASCOE) オジロアシナガゾウムシ
菅谷: 1頭, 17.V.'94; 1頭, 17.VI.'94. 他

Erirhininae イネゾウムシ亜科

1. *Dorytomus maculipennis* ROELOFS モンイネゾウモドキ
※菅谷: 1♀, 18.II.'94.

Bagoinae カギアシゾウムシ亜科

1. *Lissorhoptrus oryzophilus* KUSCHEL イネミズゾウムシ
菅谷: 1頭, 20.IV.'94 (落葉リター) 5頭, 15.X.'94 (落葉リター). 他
田んぼに多く見られイネの害虫として知られるが、実は雑木林のリター採集でも得られる。特に冬場には落葉中の個体数が増加することから、周辺の湿地環境や田んぼから多くの個体が集まり越冬場所としているのではないかと思われる。

Cioninae タマゾウムシ亜科

1. *Cionus helleri* REITTER クロタマゾウムシ
遠山: 7頭, 4.VII.'96.

キリの若い葉を表面をかじるように食べる。大平山登山口付近の道脇にあるキリより得られた。記録が少ないようであるが、キリの葉が穴だらけになっているので本種がいればすぐにそれと解るであろう。一本の木につく個体数は決して多くない。

Rhynchaeninae ノミゾウムシ亜科

1. *Ixalma okadai* KONO オカダノコギリゾウムシ
根岸: 1頭, 23.IV.'96; 2頭, 24.IV.'96.
アワブキの新芽に見られる。県内では名栗村と秩父市でわずかに記録があるのみである。町内ではアワブキはあまり多くはないが、根岸や菅谷、大平山などの地域では沢沿いにわずかに見られることから、これらの地域を春先に探せばさらに見つかるであろう。また山地では平地に比べやや芽吹きが遅いことから、注意して探せばもっと見つかるであろう。気配に敏感で近づくとすぐに落ちてしまうのは他のノコギリゾウムシ類と同様である。
2. *Rhamphus pulicarius* (HERBST) リンゴノミゾウムシ
菅谷: 1頭, 18.V.'94; 1頭, 26.IV.'95. 他
3. *Rhynchaenus galloisi* (KONO) ガロアノミゾウムシ
菅谷: 5頭, 20.IV.'94; 1頭, 17.VIII.'94. 他
コナラの葉上についていることが多い。

4. *R. hustachei* KLIMA ヤドリノミゾウムシ
菅谷: 1頭, 20. IV. '94; 1頭, 24. XII. '94. 他
冬季採集でケヤキ樹皮下より得られる事が多い。活動期には得られにくい種である。
5. *R. japonicus* (HUSTACHE) カシワノミゾウムシ
菅谷: 2頭, 24. III. '93; 1頭, 17. VIII. '94. 他
6. *R. sanguinipes* (ROELOFS) アカアシノミゾウムシ
菅谷: 2頭, 6. VI. '94; 2頭, 24. XII. '94. 他
7. *R. variegatus* (ROELOFS) ウスモンノミゾウムシ
遠山: 3頭, 25. IV. '96.

Acalyptinae デオゾウムシ亜科

1. *Acalyptus carpini* (FABRICIUS) チビデオゾウムシ
菅谷: 1頭, 14. VI. '94.

Tychiinae コガタゾウムシ亜科

1. *Demimaea fascicularis* (ROELOFS) タバゲササラゾウムシ
菅谷: 1頭, 2. VII. '92; 1頭, 27. VI. '93. 他
2. *D. mori* KONO クワササラゾウムシ
菅谷: 1頭, 16. VII. '92.
菅谷館跡にてクワの幼木より得られた。

Anthonominae ハナゾウムシ亜科

1. *Anthonomus bisignifer* SCHENKLING イチゴハナゾウムシ
菅谷: 3頭, 23. IV. '93; 3頭, 18. V. '94. 他
2. *A. rectirostris* (LINNE) オビモンハナゾウムシ
※菅谷: 1頭, 19. V. '92; 1頭, 4. VII. '96.
3. *Tachypterellus dorsalis* VOSS et CHUJO コブハナゾウムシ
菅谷: 1頭, 18. IV. '94; 1頭, 2. V. '94. 他
県内では他に所沢市での記録があるのみで、全国的にも稀な種である。
4. *Bradybatus sharpi* TOURNIER クロナガハナゾウムシ
※大平山: 1頭, 27. IV. '96.

Curculioninae シギゾウムシ亜科

1. *Curculio pictus* (ROELOFS) ジュウジチビシギゾウムシ
菅谷: 2頭, 20. IV. '94; 3頭, 26. XII. '94(落葉リター). 他
コナラ等の樹上に見られる。冬季は落葉下や樹皮下で越冬するようで、12月のリター採集でも得られている。
2. *C. roelofsi* (HELLER) レロフチビシギゾウムシ
菅谷: 1♀, 20. IV. '94.
3. *C. sikkimensis* (HELLER) クリシギゾウムシ
菅谷: 1♂, 13. VIII. '93; 1♂, 26. IX. '93. 他
4. *C. styracis* ROELOFS エゴシギゾウムシ
菅谷: 1頭, 12. V. '95; 1頭, 11. VI. '95.
珍しい種のように県内でも記録に乏しいが、菅谷ではエゴノキが多い事もあってかわりと見かけることが多いように感じる。

Baridinae ヒメゾウムシ亜科

1. *Baris deplanata* ROELOFS クワヒメゾウムシ
菅谷: 3頭, 26. VII. '92; 3頭, 14. IX. '93. 他
2. *B. ezoana* KONO エゾヒメゾウムシ
菅谷: 1頭, 19. V. '94.
3. *B. pilosa* ROELOFS オオハッカヒメゾウムシ
菅谷: 3頭, 20. VII. '96.

嵐山町の本種の記録については、『庭先に植えてあるレモンバームより得られたもの』が吉武(1998)で既に報告されている。現在も筆者宅で発生中であるが、このレモンバームはタネから育てたものなので、恐らく付近の草地に生える別のシソ科植物より飛来したものが繁殖して

いるのであろう。

4. *B. rubricata* HUSTACHE タテスジアカヒメゾウムシ

菅谷: 1頭, 3. V. '93.

県内では4ヶ所, いずれも平野部の記録である。とても珍しい種で嵐山町では菅谷にて1頭得られたが, 以後再三に渡る採集でも見たことがない。

5. *B. orientalis* ROELOFS マダラヒメゾウムシ

菅谷: 1頭, 17. VI. '95.

6. *Barinomorpha similis* MORIMOTO ニセヒシガタヒメゾウムシ

塩山: 1♀, 24. V. '96.

7. *Orchidophilus aterrimus* (WATERHOUSE) オオランヒメゾウムシ

※菅谷: 1♂, 18. V. '94.

雑木林に生えるササバギンランより得られた。温室栽培のランに多く見られるようであるが, 野外での観察例として貴重であろう。

Ceutorhynchinae サルゾウムシ亜科

1. *Phytobius quadricornis roelofsi* HUSTACHE マメサルゾウムシ

菅谷: 1頭, 17. V. '94.

2. *Rhinoncus jakovlevi* FAUST ギシギシクチブトサルゾウムシ

菅谷: 1頭, 17. V. '94.

3. *Ceuthorhynchidius albosuturalis* (ROELOFS) ダイコンサルゾウムシ

菅谷: 5頭, 20. IV. '94; 2頭, 16. VIII. '94(落葉リター). 他

4. *Scleropteroides hypocrita* (HUSTACHE) キイチゴトゲサルゾウムシ

菅谷: 1頭, 25. VIII. '92; 1頭, 4. VII. '96. 將軍沢: 1頭, 31. VII. '95. 他

5. *Homorosoma aterrimum* (HUSTACHE) クロトゲサルゾウムシ

菅谷: 1頭, 2. VII. '92.

Zygopinae クモゾウムシ亜科

1. *Metialma cordata* MARSHALL トゲハラヒラセクモゾウムシ

菅谷: 1♂, 17. V. '94.

Carciliinae ツツゾウムシ亜科

1. *Carcilia tenuistriata* HELLER コゲチャツツゾウムシ

菅谷: 1頭, 25. VI. '94; 1頭, 17. VIII. '94. 他

弱ったモミジ類の枝や幹についているのを見かける。発生時期には非常に多い。

Acicnemidinae カレキゾウムシ亜科

1. *Acicnemis dorsonigrita* VOSS アトジロカレキゾウムシ

菅谷: 1頭, 25. VI. '94.

2. *A. palliata* PASCOE ウスモンカレキゾウムシ

菅谷: 3頭, 11. VI. '95; 2頭, 15. VI. '95.

3. *A. suturalis* ROELOFS ナカスジカレキゾウムシ

菅谷: 9頭, 11. VI. '95; 1頭, 15. VI. '95. 他

伐採されたフジのつるによく見られる。木の肌そっくりの保護色が見事である。

Hyllobiinae アナアキノウムシ亜科

1. *Dyscerus exsculptus* (ROELOFS) クリアアナキノウムシ

菅谷: 1頭, 18. IX. '92; 1頭, 29. VIII. '93.

2. *D. elongatus* ROELOFS ホソアナキノウムシ

菅谷: 1頭, 16. IV. '95.

3. *D. shikokuensis* (KONO) リンゴアナキノウムシ

菅谷: 1頭, 9. VIII. '87.

菅谷館跡にてサクラの若い株に付いていたものと記憶している。筆者が小学生の時に採集したものであるが, 以後1頭も得られていない。県内では他に北本市石戸宿でわずかに1例が知られている。

4. *Kobuzo rectirostris* (ROELOFS) アカコブコブゾウムシ

菅谷: 1頭, 18. VII. '92.

本種は埼玉県昆虫誌に所沢市, 滑川町, 大滝村の3例が記録されている。

Cryptorhynchinae クチカクシゾウムシ亜科

1. *Catarrhinus umbrosus* ROELOFS ヒメクチカクシゾウムシ
菅谷: 1頭, 11. V. '94.
2. *Ectatorhinus adamsii* PASCOE マダラアシゾウムシ
菅谷: 1頭, 17. VII. '95.
樹液に集まるが決して多くはない。
3. *Orochlesis takaosanus* KONO タカオマルクチカクシゾウムシ
菅谷: 1頭, 9. V. '95.
4. *Cryptorhynchinae* Gen. spp. クチカクシゾウムシ亜科の一種
菅谷: 2頭, 20. IV. '94(照葉リター); 3頭, 16. VIII. '94(照葉リター). 他
照葉樹林のリター採集でのみ得られる。背中に瘤を持つ特異な種である。本種の季節消長はリター採集の箇所を表1に示した。

Cossoninae キクイゾウムシ亜科

1. *Stenoscelis gracilitarsis* WOLLASTON マツクチブトキクイゾウムシ
※菅谷: 1頭, 15. XII. '92.
枯れたマツの樹皮下に見られる。県内の丘陵地では普通種であると思われる。
2. *Pseudocossonus brevitarsis* WOLLASTON カグヤヒメキクイゾウムシ
菅谷: 1頭, 26. VI. '87(M. Sugita leg.); 1頭, 4. VII. '87(M. Sugita leg.).

Rhynchophoridae オサゾウムシ科

Dryophthorinae ホソキクイサビゾウムシ亜科

1. *Dryophthorus japonicus* KONISHI スギキクイサビゾウムシ
※菅谷: 1頭, 27. II. '94.

Stromboscerinae キクイサビゾウムシ亜科

1. *Sipalinus gigas* (FABRICIUS) オオゾウムシ
菅谷: 1頭, 2. V. '94; 1頭, 20. IX. '94. 他
樹液に集まってきているのが観察される他, スギ林のなかでも得られる。

Rhynchophorinae オサゾウムシ亜科

1. *Aplotes roelofsi* (CHEVROLAT) トホシオサゾウムシ
菅谷: 1頭, 15. VI. '95; 2頭, 30. VI. '95. 志賀: 1頭, 25. VII. '96. 他
ツユクサの葉上によく見られる。
2. *Diocalandra sasa* MORIMOTO ササコクゾウムシ
菅谷: 1頭, 21. IV. '94; 1頭, 4. V. '94. 他
シノザサのスイーピングで得られる。

Scolytidae キクイムシ科

Ipinae 亜科

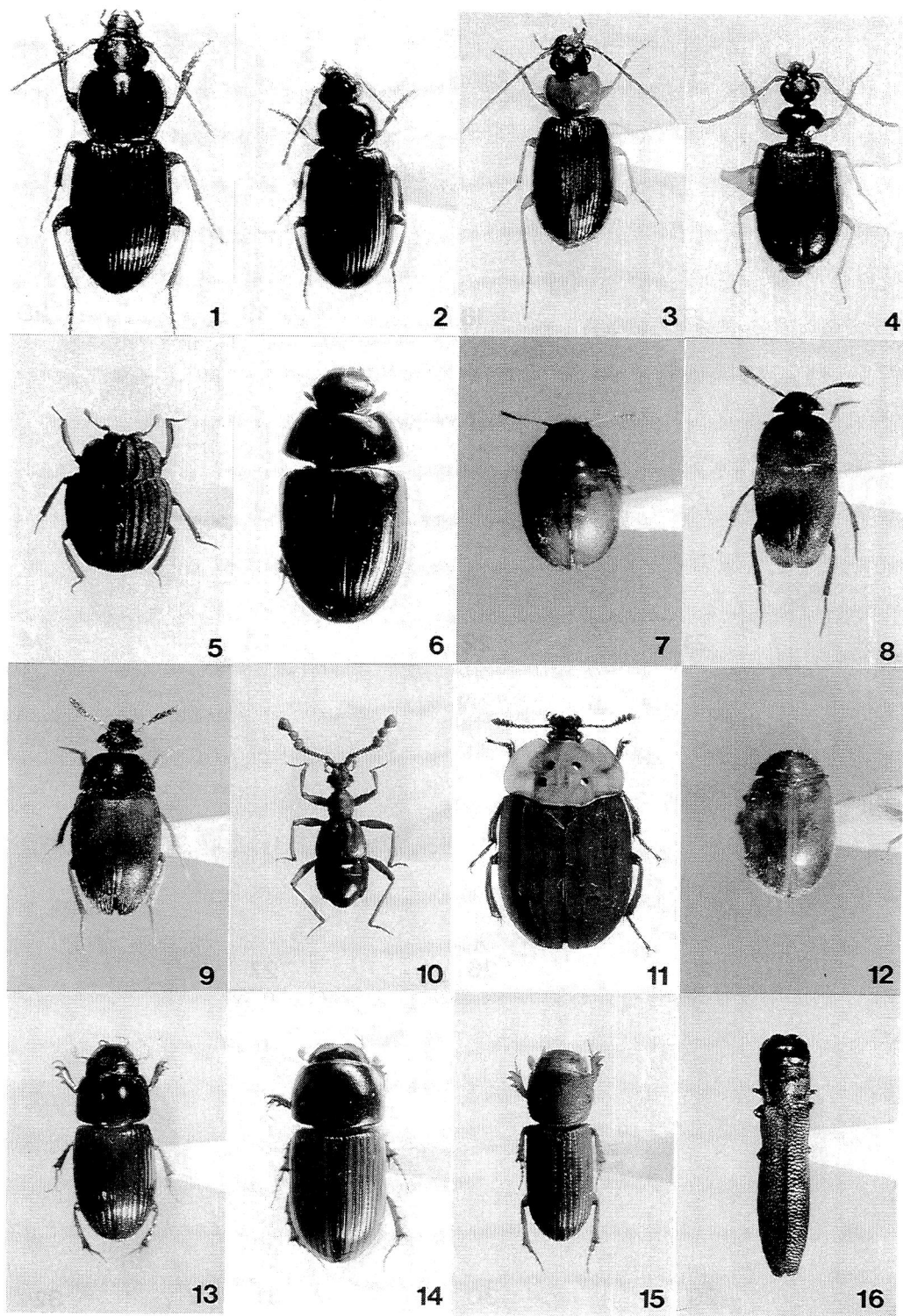
1. *Indocryphalus pubipennis* (BLANDFORD) カナクギノキクイムシ
遠山: 1頭, 25. IV. '96.

Hylesininae 亜科

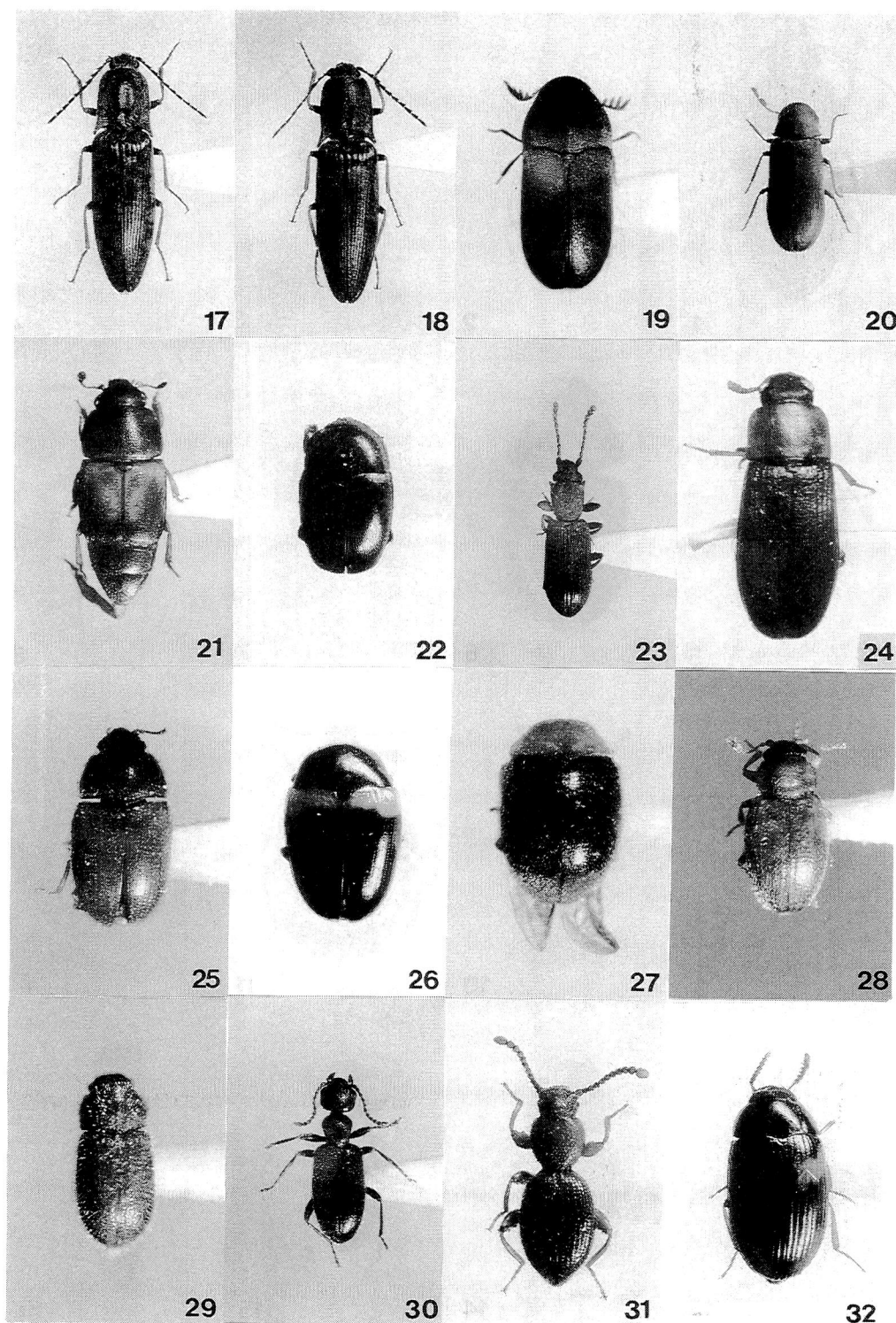
1. *Phloeosinus perlatus* (HAPUIS) ヒバノキクイムシ
※菅谷: 5頭, 21. III. '95.

他にキクイムシ科の種が数種類得られているが, 同定が困難なため今回は記録を見送った。

図版 1



図版 2



図版 3

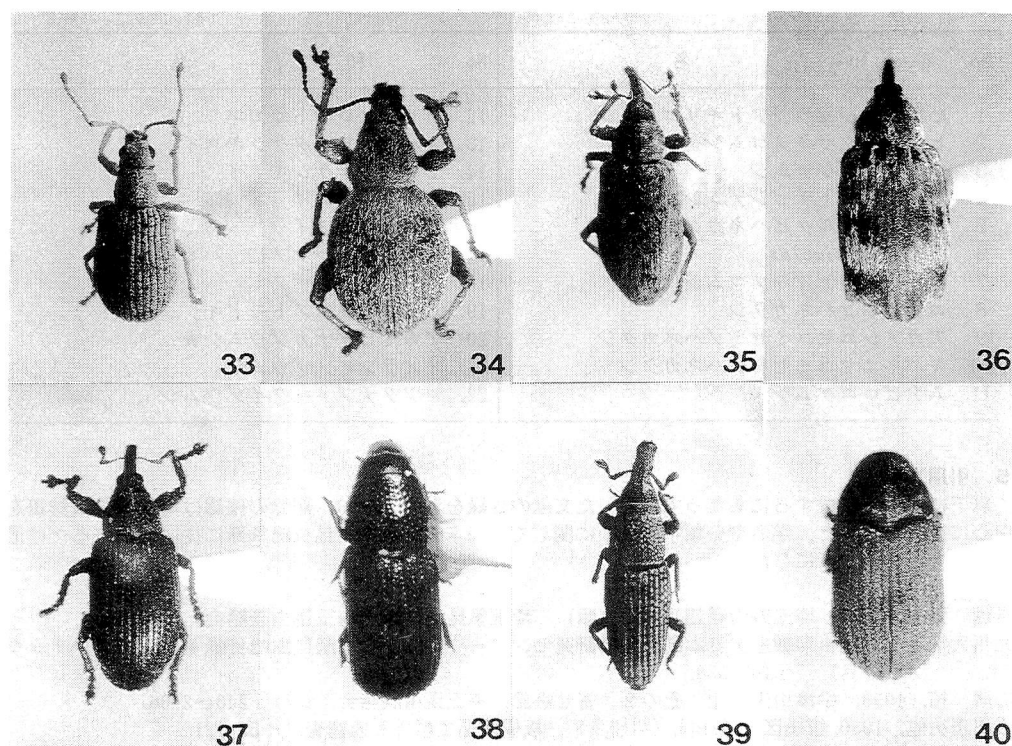


図 埼玉県嵐山町で記録された県内初記録及び埼玉県昆虫誌未記録の甲虫・40種
(無印：埼玉県初記録，★：埼玉県昆虫誌未記録)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. ニッコウヒメナガゴミムシ★ | 21. ルイスデオキノコムシ |
| 2. コクロヒメゴモクムシ | 22. トゲナシホソチビケシキスイ |
| 3. チビカタキバゴミムシ | 23. ヒメフタトゲホソヒラタムシ★ |
| 4. クロツブゴミムシ★ | 24. ヒラタコクヌストモドキ |
| 5. シナノセスジエンムシ | 25. ムナビロムクゲキスイ |
| 6. コマルガムシ | 26. ネアカチビオオキノコ |
| 7. オチバヒメクマキノコムシ | 27. ニセツマアカヒメテントウ |
| 8. ハギニセチビシヂムシ★ | 28. トフシケシマキムシ |
| 9. ホソムネコチビシヂムシ★ | 29. ポリアヒメツツキノコムシ |
| 10. ヒゲカタアリヅカムシ | 30. コクロホソアリモドキ |
| 11. クロボシヒラタシヂムシ | 31. チビヒサゴゴミムシダマシ★ |
| 12. オゼチビマルハナノミ | 32. ヨツモンツヤゴミムシダマシ |
| 13. マキバマグソコガネ | 33. チビアオゾウムシ |
| 14. エゾマグソコガネ | 34. ケブカヒメカタゾウムシ |
| 15. トゲマグソコガネ | 35. モンイネゾウムモドキ |
| 16. アラメホソツツタムシ | 36. オビモンハナゾウムシ |
| 17. ホソシモフリヒラタコメッキ | 37. クロナガハナゾウムシ |
| 18. チサバネシモフリヒラタコメッキ | 38. マツクチブトククイゾウムシ |
| 19. オオギシバンムシ | 39. スギクイサビゾウムシ |
| 20. フルホンシバンムシ | 40. ヒバノククイムシ |

図版で示さなかった県内初記録及び埼玉県昆虫誌未記録の甲虫・22種

(無印：埼玉県初記録 ★：埼玉県昆虫誌未記録)

No.	和 名	No.	和 名
1.	ヒコサンジュウジアトクリゴミムシ	12.	ハラゲビロウドコガネ
2.	ヒサゴムクゲキノコムシ	13.	キバナガヒラタケシキスイ
3.	オオクチビシデムシ	14.	セダカカクケシキスイ
4.	オオヒゲブトチビシデムシ	15.	ホソデオネスイ
5.	クロチビマルクビハネカクシ	16.	ヒゲブトキスイ
6.	<i>Falagria simplex</i>	17.	コイケヒメハナノミ
7.	コカメノコデオキノコムシ	18.	セグロヒメハナノミ
8.	コチビホソハネカクシ	19.	ヒラタコクヌストモドキ
9.	アカアシニセユミセミゾハネカクシ	20.	アカミヒゲナガゾウムシ★
10.	キバネニセユミセミゾハネカクシ	21.	オオランヒメゾウムシ
11.	ムナビロコケムシ	22.	マツクチブトキクイゾウムシ

5. 引用文献

以下に本稿を作成するにあたって引用した文献の目録を示す。なお、記録の確認は埼玉県昆虫誌Ⅲを中心に行った。また、学名や分類学的扱いに関しては基本的に日本産昆虫総目録に従い、出来るだけ最新のものを扱うようにした。

- 吉越 肇他, 1998. 埼玉県の鞘翅目(甲虫類). 埼玉県昆虫誌Ⅲ, 埼玉昆虫談話会. : 93-340.
九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター, 1989. 日本産昆虫総目録Ⅰ(23. コウチュウ目). : 197-538.
石蔵 拓, 1998. 中津川天牛記 その2. 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (85) : 2404-2406.
石田正明他, 1986. 板橋区の昆虫類(鞘翅目). 板橋区昆虫類等実態調査. : 53-121.
大原昌宏, 1996. 日本産エンマムシ上科概説Ⅱ. 甲虫ニュース, 日本鞘翅学会. (114) : 1-5.
荏部治紀他, 1996. 愛川町で採集された注目すべき甲虫について. 神奈川自然誌資料. (17) : 39-42.
杉田正之, 1989. オオムラサキの森周辺の蝶. 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (54) : 978-979.
豊田浩二, 1998-A. 嵐山町の甲虫類(中間報告). 嵐山町博物誌調査報告第3集, 嵐山町教育委員会. : 35-46.
豊田浩二, 1998-B. 埼玉県における甲虫類の記録 1994~'96. 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (86) : 2440-2459.
NOMURA, S., 1996. A Revision of the Tychine Pselaphids (Coleoptera, Pselaphidae) of Japan and its Adjacent Regions. *Elytra, Tokyo*, 24(2). : 245-278.
平野幸彦他, 甲虫類〜ゾウムシ類. 丹沢大山自然環境総合調査報告書丹沢山地動植物目録, 神奈川県. : 123-256. (各グループごとにNo 8~16まで内容が分かれている)
藤多文雄, 1995. 埼玉県産オトシブミ科既知種目録. 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (74) : 1793-1796.
牧林 功, 1995. 北本市の甲虫類. 北本の動植物誌, 北本市教育委員会. : 195-246.
MORITA, S., 1993. A Note on *Chlaenius noguchii formosanus* HABU (Coleoptera, Carabidae). *Elytra, Tokyo*, 21(1). : 161-164.
吉越 肇, 1994. 嵐山町におけるベニバハナカミキリの記録. 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (72) : 1690.
吉越 肇, 1997. 埼玉県昆虫誌基礎資料(Ⅲ). 寄せ蛾記, 埼玉昆虫談話会. (83) : 2335-2339.
吉武 啓, 1998. 埼玉県におけるオオハッカヒメゾウムシの記録. 甲虫ニュース, 日本鞘翅学会. (122) : 12.

(とよだ こうじ 〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷686)

寄せ蛾記89号 目次

豊田浩二：埼玉県嵐山町における甲虫相の研究・・・2583—2646

1. はじめに	2583	Lampyridae ホタル科	2615
2. 謝辞	2583	Cantharidae ジョウカイボン科	2615
3. 調査方法について概要	2584	Derodontidae マキムシモドキ科	2615
(1) 春から秋にかけての採集	2584	Dermestidae カツオブシムシ科	2616
1) 昼間の採集	2584	Ptinidae ヒョウホンムシ科	2616
a. 樹林での採集	2584	Anobiidae シバナムシ科	2616
b. 草地、湿地での採集	2584	Bostrychidae ナガシクイムシ科	2616
c. 河川、沼沢地での採集	2584	Trogossitidae コクヌスト科	2616
2) 夕方・夜間の採集	2585	Melyridae ジョウカイモドキ科	2617
a. ライトトラップ	2585	Nitidulidae ケシキスイ科	2617
3) 腐食物等集まるものの採集	2585	Rhizophagidae ネスイムシ科	2618
a. ベイトトラップ	2585	Phalacridae ヒメハナムシ科	2618
(2) 冬季採集	2585	Cucujidae ヒラタムシ科	2619
1) 土中に越冬する虫の採集	2585	Silvanidae ホソヒラタムシ科	2619
2) 朽ち木での採集	2585	Cryptophagidae キスイムシ科	2619
3) 生木での採集	2586	Helotidae オオキスイムシ科	2620
4) その他の採集	2586	Byturidae キスイモドキ科	2620
(3) リター採集	2586	Biphyllidae ムクゲキスイムシ科	2620
4. 調査結果と考察	2586	Languriidae コメツキモドキ科	2620
(1) 嵐山町で得られた甲虫類について		Erotylidae オオキノコムシ科	2620
一種類数による他の地域との比較	2586	Cerylonidae カクホソカタムシ科	2621
(2) リター調査と甲虫類	2587	Crylophidae ミジンムシ科	2621
(3) 甲虫相の種類構成からみた嵐山町の		Endomychidae テントウムシダマシ科	2621
自然環境の特徴	2589	Coccinellidae テントウムシ科	2621
(4) 今後の調査で実施してゆきたいこと	2590	Discolomidae ミジンムシダマシ科	2623
(5) 嵐山町産甲虫類の目録について	2590	Lathridiidae ヒメマキムシ科	2623
【目録内容】	2590	Colydiidae ホソカタムシ科	2623
【凡例】	2590	Mycetophagidae コキノコムシ科	2623
(6) 嵐山町の甲虫類目録	2590	Ciidae ツツキノコムシ科	2623
Cupedidae ナガヒラタムシ科	2590	Melandryidae ナガクチキムシ科	2624
Cicindelidae ハンミョウ科	2590	Mordellidae ハナノミ科	2624
Carabidae オサムシ科	2591	Synchroidae ヒラタナガクチキムシ科	2624
Brachinidae ホソクビゴミムシ科	2600	Oedemeridae カミキリモドキ科	2624
Grinidae ミズスマシ科	2600	Pyrochroidae アカハナムシ科	2624
Dytiscidae ゲンゴロウ科	2601	Meloidae ツチハンミョウ科	2625
Histeridae エンマムシ科	2601	Anthicidae アリモドキ科	2625
Hydrophilidae ガムシ科	2602	Aderidae ニセクビボソムシ科	2625
Ptiliidae ムクゲキノコムシ科	2603	Scraptiidae ハナノミダマシ科	2625
Leiodidae タマキノコムシ科	2603	Salpingidae チビキカワムシ科	2625
Staphylinidae ハネカクシ科	2603	Lagriidae ハムシダマシ科	2626
Silphidae シデムシ科	2606	Alleculidae クチキムシ科	2626
Scydmaenidae コケムシ科	2607	Tenebrionidae ゴミムシダマシ科	2626
Eucinetidae マルハナノミダマシ科	2607	Cerambycidae カミキリムシ科	2628
Helodidae マルハナノミ科	2607	Chrysomelidae ハムシ科	2631
Lucanidae クワガタムシ科	2607	Anthribidae ヒゲナガゾウムシ科	2636
Trogidae コブスジコガネ科	2608	Attelabidae オトシブミ科	2636
Geotrupidae センチコガネ科	2608	Rhynchitidae チョッキリゾウムシ科	2637
Scarabaeidae コガネムシ科	2608	Apionidae ホソクチゾウムシ科	2637
Ptilodactylidae ナガハナノミ科	2611	Curculionidae ゾウムシ科	2638
Psephenidae ヒラタドロムシ科	2611	Scolytidae キクイムシ科	2642
Buprestidae タマムシ科	2611	図版1～3	2643
Eucnemidae コメツギダマシ科	2613	県内初記録及び埼玉県昆虫誌未記録40種	2645
Elateridae コメツキムシ科	2613	図版で示さなかった	
Troscidae ヒゲトコメツギ科	2614	県内初記録及び埼玉県昆虫誌未記録22種	2646
Lycidae ベニボタル科	2614	【引用文献】	2646
		編集後記	2646